

村吏員之ヲ管理ス

第三條 市町村長ノ指名シタル市町村吏員ノ管理スル投票所ニ關シテハ府縣制第十六條第十九條及第二十條ノ規定ヲ準用ス

第四條 投票ヲ終リタルトキハ市町村長ノ指名シタル管理者ハ其ノ指定シタル投票立會人ト共ニ直ニ投票函及投票録ヲ市町村長ノ管理スル投票所ニ送致スヘシ
町村長ニ於テ前項ノ送致ヲ受ケタルトキハ其ノ管理ニ係ル投票函及投票録ト共ニ之ヲ選舉會場ニ送致スヘシ

第五條 二箇以上ノ投票所ヲ設ケタル市東京市京都市大阪府市ニ在テハ區ニ於テハ投票函ノ總テ到達スルニ非サレハ選舉會ヲ開クコトヲ得ス

第六條 本令ニ規定スル市長ノ職務ハ東京市京都市大阪市ニ在テハ區長之ヲ行ヒ町村長ノ職務ハ町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ戶長之ヲ行フ

第七條 本令ニ規定スルモノノ外必要ナル事項ハ府縣知事之ヲ定ム

○島嶼ノ府縣會議員選舉ニ關スル件 明治三十二年六月六日(改正三十九年勅令第二百二十七號)

朕島嶼ノ府縣會議員選舉ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 町村制ヲ施行セサル島嶼ハ府縣會議員ノ一選舉區トス

第二條 左ノ要件ヲ具備スル者ハ府縣會議員ノ選舉權ヲ有ス

一 帝國臣民ニシテ公權ヲ有スル滿二十五歳以上ノ男子

二 一戸ヲ構ヘ二年以來町村内ニ住所ヲ有シ其ノ町村ノ負擔ヲ分任シ及其ノ町村内ニ於テ地租ヲ納メ若ハ直接國稅年額二圓以上ヲ納ムル者

三 其ノ府縣内ニ於テ一年以來直接國稅年額三圓以上ヲ納ムル者

左ニ掲クル者ハ府縣會議員ノ選舉權ヲ有セス

一 治産ノ禁ヲ受ケタル者

一 公權停止中ノ者

一 【明治二十八年法律第七十號ニ依リ】刑ノ執行ヲ猶豫セラレ其ノ猶豫期間中ノ者(三十九年勅令一五六號)

一 租稅滯納處分中ノ者

一 公費ヲ以テ貧民救助ヲ受ケタル後二年ヲ經サル者

一 家資分散若ハ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ復權ノ決定アルマテノ者

一 公權剝奪若ハ停止ヲ附加スヘキ重罪輕罪ノ爲公判ニ付セラレタルトキヨリ其ノ裁判ノ確定ニ至ルマテノ者

一 陸海軍ノ現役ニ服スル者又ハ現役以外ノ兵役ニ在ル者ニシテ戰時若ハ事變ニ際シ召集中ノ者

第三條 府縣會議員ノ選舉權ヲ有シ且其ノ府縣内ニ於テ一年以來直接國稅年額十圓以上ヲ納ムル者ハ府縣會議員ノ被選舉權ヲ有ス

第四條 府縣會議員ハ他ノ町村ニ其ノ住所ヲ移スモ其ノ住所同府縣内ニ在ルトキハ之カ爲其ノ職ヲ失フコトナシ

第五條 島嶼ノ府縣會議員ノ選舉ニ關シテハ一戶長役場管轄區域ヲ以テ一町村ト看做ス

第六條 本令ニ定ムルモノヲ除ク外島嶼ヨリ選出スル府縣會議員ノ選舉ニ關シテハ總テ府縣制ノ規定ニ依ル

附則

本令ハ明治三十二年七月一日ヨリ施行ス

○改選後ノ府縣會議長選舉會ノ件 明治四十年十月二十一日 內務省令第二十六號
改選後ノ府縣會ニ於テ始メテ議長ヲ選舉スル場合ニハ會議ノ決議ニ依ルニ非サレハ其ノ日ノ會議ヲ閉チ又ハ中止スルコトヲ得ス
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○市部會郡部會等ノ特例ニ關スル件 明治三十二年六月二十日 勅令第二百八十五號

朕市部會郡部會等ノ特例ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

- 第一條 從來市部郡部ノ經濟ヲ分別シタル府縣ニ於テハ內務大臣ハ其ノ區域ニ依リ市部郡部ノ經濟ヲ分別シ市部會郡部會市部參事會郡部參事會ヲ設ケシムルコトヲ得
- 第二條 市部會郡部會ハ各市部郡部ニ於テ選出シタル府縣會議員ヲ以テ之ヲ組織ス
市部又ハ郡部ニ於テ選出スヘキ府縣會議員ノ數十二名ニ滿タサルトキハ府縣制第五條ノ定員ニ拘ラ

ス之ヲ十二名トス

第三條 府縣會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ府縣會ノ議決ヲ經ヘキ事件ト市部會郡部會ノ議決ヲ經ヘキ事件トノ分別ハ府縣會ノ議決ヲ經內務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム若許可スヘカラスト認ムルトキハ內務大臣之ヲ定ム

第四條 市部會郡部會ヲ設ケタル縣ニ於テハ名譽職參事會員ノ定員ヲ八名トス
市部會郡部會ヲ設ケタル府縣ノ名譽職參事會員ハ各會ニ於テ其ノ定員ノ半數ヲ選舉ス
市部參事會郡部參事會ハ府縣知事府縣高等官參事會員及各部會ニ於テ選舉シタル府縣名譽職參事會員ヲ以テ之ヲ組織ス

第五條 府縣費ニ關スル市部郡部ノ分擔及收入ノ割合ハ府縣會ノ議決ヲ經內務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム若許可スヘカラスト認ムルトキハ內務大臣之ヲ定ム

第六條 第三條第五條ノ事件ニ付テハ議員定員ノ五分ノ四以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

第七條 本令ニ規定スルモノヲ除ク外總テ府縣制ノ規定ヲ準用ス

第八條 市部會又ハ郡部會解散ヲ命セラレタルトキハ其ノ議員ハ府縣會議員ノ職ヲ失フ

附則

第九條 本令ニ依リ市部會郡部會ヲ設クル府縣ニ於テハ從來市部若ハ郡部ニ關スル事件及市郡部連帶ニ關スル事件ハ本令ニ於テモ亦其ノ效力ヲ有ス

第十條 本令ハ明治三十二年七月一日ヨリ施行ス

○市部會郡部會市部參事會郡部參事會ヲ設クヘキ府縣

明治三十二年六月二十一日
內務省令第二十五號

本年勅令第二百八十五號ニ依リ左ノ府縣ニ於テハ從來ノ區域ニ依リ市部郡部ノ經濟ヲ分別シ市部會郡部會市部參事會郡部參事會ヲ設クヘシ

東京府 京都府 大阪府 神奈川縣 兵庫縣 愛知縣 廣島縣

○沖繩縣ニ關スル府縣制特例ノ件

明治四十二年三月十一日
勅令第二十號

朕沖繩縣ニ關スル府縣制特例ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 府縣制第三百三十八條第三項ノ規定ニ依リ沖繩縣ニ關シ以下數條ノ特例ヲ設ク

第二條 縣會議員ノ選舉區ハ郡、區及島嶼ノ區域ニ依ル

第三條 縣會議員ノ選舉ハ郡及島嶼ニ於テハ町村會議員、區ニ於テハ區會議員之ヲ行フ

第四條 縣會議員ハ郡及島嶼ニ於テハ町村會議員ノ選舉權、區ニ於テハ區公民ニシテ區會議員ノ選舉權ヲ有シ且縣内ニ於テ一年以來直接國稅年額五圓以上ヲ納ムル者ヨリ之ヲ選舉ス

縣會議員ハ住所ヲ移シタル爲區公民權又ハ町村會議員ノ選舉權ヲ失フコトアルモ其ノ住所縣内ニ在ルトキハ之カ爲其ノ職ヲ失フコトナシ

第五條 選舉會ハ郡役所、島廳、區役所又ハ郡長、島司若ハ區長ノ指定シタル場所ニ於テ之ヲ開ク

第六條 縣參事會ハ之ヲ置カス

縣參事會ノ權限ニ屬スヘキ事項ハ知事之ヲ行フ

前項ノ場合ニ於テ知事ノ決定又ハ裁決ニ不服アルモノハ各法令ノ規定ニ準シ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第七條 府縣制第十三條中二十日ハ三十日、第十五條中五日ハ十日、第三十一條中十日ハ二十日、二十日ハ三十日、第三十四條及第五十一條中十四日ハ二十五日トス

第八條 選舉人名簿ニ關スル規定ハ之ヲ適用セス

第九條 府縣制中市制ハ區制、市ハ區、市長ハ區長、市吏員ハ區吏員、市會ハ區會、市稅ハ區稅トス

附則

本令ハ沖繩縣ニ府縣制施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

府縣制ノ施行ニ依リ縣費ヲ以テ費用ノ支辨ヲ爲スヘキ國有ノ土地、建物、其ノ他ノ物件ハ府縣制施行ノ際ニ限リ之ヲ沖繩縣ノ所有ニ移スコトヲ得

○島嶼ニ關スル府縣行政ノ特例ニ關スル件

明治三十二年六月六日
勅令第二百二十八號

朕島嶼ニ關スル府縣行政ノ特例ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 島嶼ノ經濟ト所屬本地ノ經濟トハ府縣會ノ議決ヲ經內務大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ分別スルコトヲ得

市部會郡部會市部參事會郡部參事會ヲ設クヘキ府縣 沖繩縣ニ關スル府縣制特例ノ件
島嶼ニ關スル府縣行政ノ特例ニ關スル件

第二條 東京府下伊豆七島及小笠原島ニ於ケル府税ノ賦課及府會議員ノ選舉ニ關シテハ當分従前ノ例ニ依ル

附則

本令ハ明治三十二年七月一日ヨリ施行ス

○府縣出納吏及郡出納吏ノ身元保證並賠償責任ニ關スル件

明治三十三年五月二十六日
勅令第二百四十八號 (改正 三九年勅 一八九號)

朕府縣出納吏及郡出納吏ノ身元保證並賠償責任ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 府縣出納吏ハ府縣ニ對シ郡出納吏ハ郡ニ對シ其ノ管掌ニ屬スル現金、證券及物品ノ亡失毀損ニ付賠償ノ責任ヲ有ス

第二條 府縣出納吏、郡出納吏前條ノ現金、證券又ハ物品ヲ亡失毀損シタルトキハ府縣出納吏ニ對シテハ府縣知事、郡出納吏ニ對シテハ郡長ニ於テ期間ヲ指定シ其ノ賠償ヲ命スヘシ但シ避クヘカラサル事故ニ原因シタルトキ又ハ其ノ亡失毀損シタル物品府縣知事、郡長ノ定ムル所ニ依リ府縣郡官吏以下ノ使用ニ供シタルモノニシテ合規ノ監督ヲ怠ラサル場合ニ在テハ府縣出納吏ニ付テハ府縣參事會、郡出納吏ニ付テハ郡參事會ノ議決ヲ經テ其ノ賠償ノ責任ヲ免除スヘシ(三九年勅 二八九號)
本條郡長ノ處分ニ不服アル郡出納吏ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル郡出納吏及府縣知事ノ處分ニ不服アル府縣出納吏ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

前項ノ訴願ハ命令書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル翌日ヨリ起算シ十四日以内ニ之ヲ提起スヘシ

第三條 賠償金ノ徵收ニ關シテハ府縣ニ在テハ府縣制第十六條第二項乃至第六項、郡ニ在テハ郡制第九十四條ノ例ニ依ル

第四條 府縣出納吏、郡出納吏ニ對シ身元保證ヲ徵スルノ必要アリト認メタルトキハ府縣知事ニ於テ其ノ種類、程度其ノ他身元保證ニ關シ必要ナル規定ヲ定ムルコトヲ得

第五條 (三九年勅 二八九號) 府縣出納吏、郡出納吏以外ノ吏員ニシテ其ノ執務上必要ナル物品ノ交付ヲ受ケタル者其ノ物品ヲ故意又ハ怠慢ニ因リ亡失毀損シタルトキハ府縣知事、郡長ハ之ニ對スル賠償ヲ命スヘシ

○府縣郡ヨリ給料給與ヲ受クル吏員職員ニ對シ退隱料退職給與

金遺族扶助料ノ支給ニ關スル規定ヲ設クルノ件 明治三十三年四月六日 內務省令第十四號

府縣郡ヨリ給料給與ヲ受クル吏員職員ニ對シ府縣郡ニ於テ退隱料退職給與金遺族扶助料ノ支給ニ關スル規定ヲ設クルノ必要アルトキハ法律命令中別段ノ規定アルモノヲ除クノ外府縣ニ在テハ府縣會、郡ニ在テハ郡會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

○府縣郡吏員服務紀律 明治三十五年二月十四日 內務省令第三號

府縣郡吏員服務紀律左ノ通定ム

府縣郡吏員服務紀律

第一條 府縣郡吏員ハ法令ニ從ヒ忠實ニ其ノ職務ヲ盡スヘシ

府縣出納吏及郡出納吏ノ身元保證並賠償責任ニ關スル件 府縣郡ヨリ給料給與ヲ受クル吏員職員ニ對シ退隱料退職給與金遺族扶助料ノ支給ニ關スル規定ヲ設クルノ件 府縣郡吏員服務紀律 中卷 一八九

府縣郡吏員ハ其ノ職務ニ付指揮監督者ノ命令ヲ遵守スヘシ

第二條 府縣郡吏員ハ職務ノ内外ヲ問ハズ職權ヲ濫用シ廉恥ヲ破リ其ノ他品位ヲ傷フノ所爲アルヘカラス

第三條 府縣郡吏員ハ總テ公務ニ關スル機密ヲ私ニ漏洩シ又ハ未發ノ事件若ハ文書ヲ私ニ漏示スルコトヲ得ス其ノ職ヲ退クノ後ニ於テモ亦同シ但裁判所ノ召喚ニ依リ職務上ノ祕密ニ付訊問ヲ受ケタル場合ニ於テ指揮監督者ノ許可ヲ得タル事件ニ付テハ此限ニ在ラス

第四條 府縣郡吏員ハ職務ノ爲出張ヲ命セラレタル場合ヲ除ク外指揮監督者ノ許可ヲ受クルニ非サレハ其ノ職務ノ地ヲ離ルルコトヲ得ス

第五條 府縣郡吏員ハ其ノ職務ニ關シ直接ト間接トヲ問ハズ自己若ハ其ノ他ノモノノ爲ニ贈與其ノ他ノ利益ヲ供給セシムルノ約束ヲ爲スコトヲ得ス

府縣郡吏員ハ指揮監督者ノ許可ヲ受クルニ非サレハ其ノ職務ニ關シ直接ト間接トヲ問ハズ自己若ハ其ノ他ノモノノ爲ニ贈與其ノ他ノ利益ヲ受クルコトヲ得ス

第六條 左ニ掲クル者ト直接ニ關係ノ職務ニ在ル府縣郡吏員ハ其ノ者又ハ其ノ者ノ爲ニスルモノノ經燕ヲ受クルコトヲ得ス

- 一 府縣郡ノ爲ニ工事又ハ物件調達ノ請負ヲ爲ス者
- 二 府縣郡ニ屬スル金錢ノ出納保管ヲ擔任スル者
- 三 府縣郡ヨリ補助金又ハ利益ノ保證ヲ受クル起業者
- 四 府縣郡ト土地物件ノ賣買贈與貸借若ハ交換ノ契約ヲ爲ス者
- 五 其ノ他府縣郡ヨリ現ニ利益ヲ得又ハ得ントスル者

第七條 有給ノ府縣郡吏員ハ指揮監督者ノ許可ヲ受クルニ非サレハ營業ヲ爲シ若ハ家族ヲシテ營業ヲ爲サシメ又ハ給料若ハ報酬ヲ受クヘキ他ノ事務ヲ行フコトヲ得ス

第八條 本令ニ於テ指揮監督者ト稱スルハ府縣吏員ニ付テハ府縣知事、郡吏員ニ付テハ郡長ヲ謂フ

第九條 郡組合ノ吏員ニ關シテハ郡吏員ニ關スル規定ヲ準用ス

○府縣稅家屋稅ニ關スル件 明治三十二年六月十六日 勅令第二百七十六號

朕府縣稅家屋稅ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

府縣ハ其ノ府縣ノ全部若ハ一部ノ地ニ於ケル家屋ニ對シ家屋稅ヲ賦課スルコトヲ得但シ家屋稅賦課ノ地ニ於テハ戸數割ヲ賦課スルコトヲ得ス
前項ニ依リ新ニ家屋稅ヲ賦課セントスルトキハ府縣會ノ議決ヲ經內務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クヘシ

附則

本令ハ明治三十二年七月一日ヨリ施行ス

○府縣費ノ分賦及不均一賦課ニ關スル件 明治三十二年六月二十八日 勅令第三百十六號
朕府縣費ノ分賦及不均一賦課ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 府縣ハ臨時少額ノ費用ノ爲特ニ賦課徴收ヲ爲スヲ要スル場合ニ於テハ其ノ費用ヲ府縣内市町村ニ分賦スルコトヲ得

前項ニ依リ分賦スヘキ費用ノ限度ハ内務大臣之ヲ定ム

第一項分賦ノ割合ハ豫算ノ屬スル年度ノ前前年度ニ於ケル市町村ノ直接國稅府縣稅ノ徴收額ニ依ル但シ本條ノ分賦方法ニ依リ難キ事情アルトキハ府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ特別ノ分賦方法ヲ設クルコトヲ得

第二條 市部會郡部會ヲ設ケタル府縣ニ於テハ府縣會ノ議決ヲ經テ其ノ市部ニ屬スル部分ヨリ徴收スヘキ額ヲ市ニ分賦スルコトヲ得

第三條 法律命令中別ニ規定アルモノヲ除ク外市部會郡部會ヲ設ケタル府縣ニ於テハ府縣ノ費用ヲ以テ支辨スヘキ事件ニシテ其ノ市部ト郡部ト利益ノ程度ヲ異ニシ均一ノ賦課ヲ爲シ難キ事情アルトキハ其ノ費用ニ限り不均一ノ賦課ヲ爲スコトヲ得

附則

第四條 本令ハ明治三十二年七月一日ヨリ施行ス

○府縣ニ於テ市町村ニ分賦シ得ヘキ費用ノ限度 明治三十二年六月三十日

本年勅令第三百十六號第一條ニ依リ府縣ニ於テ市町村ニ分賦スルコトヲ得ヘキ費用ノ限度ハ當該年度ノ府縣稅既定豫算額ノ十分ノ一トス

○府縣稅徴收ニ關スル件 明治三十三年三月二十九日(改正三五年勅)

朕府縣稅徴收ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 市町村ハ其ノ市町村内ノ府縣稅ヲ徴收シ之ヲ府縣ニ納入スルノ義務ヲ負フ

前項府縣稅ノ徴收ニ關シテハ地租ノ附加稅ヲ除クノ外徴收金額百分ノ四ヲ其ノ市町村ニ交付スヘシ

第二條 市町村ハ避クヘカラサル災害ニ因リ既收ノ稅金ヲ失ヒタルトキハ其ノ稅金納入義務ノ免除ヲ府縣知事ニ申請スルコトヲ得

第三條 府縣知事前條ノ申請ヲ受ケタルトキハ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル者ハ決定書ノ交付ヲ受ケタル翌日ヨリ起算シ十四日以内ニ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

前項ノ決定ニ關シテハ府縣知事ヨリモ亦訴願ヲ提起スルコトヲ得

第四條 府縣稅ヲ徴收セムトスルトキハ府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員ハ市町村ニ對シ徵稅令書ヲ發シ市町村長ハ徵稅令書ニ依リ徵稅傳令書ヲ調製シ之ヲ納稅人ニ交付スヘシ

府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員ハ直ニ納稅人ニ對シ徵稅令書ヲ發スルコトヲ得

第五條 徵稅傳令書ヲ受ケタル納稅人ハ其ノ稅金ヲ市町村ノ收入役ニ拂込ミ其ノ領收證ヲ得テ納稅ノ義務ヲ了ス

徵稅令書ヲ受ケタル納稅人ハ其ノ稅金ヲ府縣金庫ニ拂込ミ其ノ領收證ヲ得テ納稅ノ義務ヲ了ス

市町村ハ其ノ徴收シタル府縣稅ヲ府縣金庫ニ拂込ミ其ノ領收證ヲ得テ稅金納入ノ義務ヲ了ス

第六條(三五年勅) 徵稅傳令書ヲ受ケタル納稅人納期内ニ稅金ヲ完納セザルトキハ市町村長ハ其ノ滯納

ノ税目、金額及滞納人ノ住所氏名其ノ他必要ナル事項ヲ記載シ之ヲ徵稅令書ヲ發シタル官吏吏員ニ報告スヘシ

徵稅令書ヲ發シタル官吏吏員前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ督促狀ヲ發スヘシ徵稅令書ヲ受ケタル納稅人納期內ニ税金ヲ完納セサルトキ亦同シ

督促狀ニハ府縣知事ノ定メタル期間內ニ於テ相當ノ期限ヲ指定スヘシ

第七條(同上) 督促狀ヲ發シタルトキハ手数料ヲ徵收ス

手数料ノ額ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム

市町村長ヲシテ督促狀ヲ發セシメタルトキハ手数料ハ之ヲ其ノ市町村ニ交付スヘシ

第八條(同上) 納稅人左ノ場合ニ該當スルトキハ徵稅令書又ハ徵稅傳令書ヲ交付シタル府縣稅ニ限り納期前ト雖之ヲ徵收スルコトヲ得

一 國稅徵收法ニ依ル滞納處分ヲ受クルトキ

二 強制執行ヲ受クルトキ

三 破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ

四 競賣ノ開始アリタルトキ

五 法人カ解散ヲ爲シタルトキ

六 納稅人脫稅又ハ遁稅ヲ謀ルノ所爲アリト認ムルトキ

第九條(同上) 相續開始ノ場合ニ於テハ府縣稅、督促手数料及滞納處分費ハ相續財團又ハ相續人ヨリ之ヲ徵收ス但シ戶主ノ死亡以外ノ原因ニ依リ家督相續ノ開始アリタルトキハ被相續人ヨリモ之ヲ徵收スルコトヲ得

國籍喪失ニ因ル相續人又ハ限定承認ヲ爲シタル相續人ハ相續ニ因リテ得タル財産ヲ限度トシテ府縣稅、督促手数料及滞納處分費ヲ納付スルノ義務ヲ有ス

第十條(同上) 共有物、共同事業又ハ共同事業ニ因リ生シタル物件ニ係ル府縣稅、督促手数料及滞納處分費ハ納稅者連帶シテ其ノ義務ヲ負擔ス

第十一條(同上) 同一年度ノ府縣稅ニシテ既納ノ税金過納ナルトキハ爾後ノ納期ニ於テ徵收スヘキ同一税目ノ税金ニ充ツルコトヲ得

第十二條(同上) 納稅義務者納稅地ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ納稅ニ關スル事項ヲ處理セシムル爲メ納稅管理人ヲ定メ郡長又ハ市長ニ申告スヘシ其ノ納稅管理人ヲ變更シタルトキ亦同シ

第十三條(同上) 徵稅令書、徵稅傳令書、督促狀及滞納處分ニ關スル書類ハ名宛人ノ住所又ハ居所ニ送達ス名宛人カ相續財團ニシテ財産管理人アルトキハ財産管理人ノ住所又ハ居所ニ送達ス

納稅管理人アルトキハ納稅ノ告知及督促ニ關スル書類ニ限り其ノ住所又ハ居所ニ送達ス

第十四條(同上) 書類ノ送達ヲ受クヘキ者其ノ住所又ハ居所ニ於テ書類ノ受取ヲ拒ミタルトキ若ハ其住所、居所共ニ不明ナルトキハ書類ノ要旨ヲ公告シ公告ノ初日ヨリ七日ヲ經過シタルトキハ書類ノ送達アリタルモノト看做ス

第十五條 府縣稅ノ徵收期ハ府縣知事之ヲ定ム

第十六條 市制町村制ヲ施行セサル地ニ於ケル府縣稅ノ徵收ニ關シテハ本令ノ規定ヲ準用ス其ノ準用シ難キ事項ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム

第十七條 本令ニ關スル細則ハ府縣知事之ヲ定ム

附則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○地方税規則

明治三十三年四月八日(改正一三年布二六四八號一四年布五八號)(府縣制第四百四十六條參看)

大政官布告第十六號

(改正一五年二六九號一七年一三二九號)

(十一條參看)

明治十一年七月第十九號布告地方税規則左ノ通改正候條此旨布告候事

第一條 地方税ハ左ノ目ニ從ヒ徵收ス

一 地租三分一以内(一三年布四八號)

一 營業税並雜種税

一 戸數割

第二條 營業税雜種税ノ種類ハ別段ノ布告ヲ以テ之ヲ定ム(一五年布二號)

第三條(一五年布二號) 地方税ヲ以テ支辨スヘキ費目左ノ如シ(同上)

警察費

警察廳舎建築修繕費

土木費

區町村土木補助費

府縣會議諸費

衛生及病院費

教育費

區町村教育補助費

一 郡區廳舎建築修繕費

一 郡區吏員給料旅費及廳中諸費

一 教育費

一 浦役場及難破船諸費

一 諸達書及揭示諸費

一 勸業費

一 戸長以下給料旅費(一七年布三號)

一 地方税取扱費(府縣廳ニ屬スル爲替方給料爲替手数料現金送送等ノ費用)

一 府縣廳舎建築修繕費

一 府縣監獄費

一 府縣監獄建築修繕費

一 以上費目互ニ流用スルコトヲ許サス

一 豫備費(豫算外ニ生シタル事件ノ費途(一五年布六九號)及豫算ノ臨時不足ニ充ル者(六九號))

右ノ外特ニ費目ノ増加ヲ要スルトキハ府縣會ノ決議ヲ經テ府知事縣令ヨリ内務大藏兩卿ニ具狀シ政

府ノ裁可ヲ受クヘシ

第四條 其年四月ヨリ翌年三月迄ヲ一週年度トナシ府知事縣令ハ前年十月迄ニ地方税ヲ以テ支辨スヘ

キ經費ノ豫算並地方税徵收ノ豫算ヲ立テ翌年度ノ定額トナシ其府縣會ノ議決ヲ取り其年二月ヲ以テ

内務卿及大藏卿ニ報告スヘシ(一七年布二九號)

地方税ヲ以テ支辨スヘキ事件數年ヲ期シテ施行スルモノハ初年ニ於テ其年期間各年度ノ經費豫算ヲ

定メ府縣會ノ議決ヲ取り府知事縣令ヨリ内務卿ニ具狀シ認可ヲ得テ其年期間之ヲ施行スルコトヲ得
(一五年布 六九號)

第五條 非常ノ費用ハ 豫算ニ立ツルヲ得サル天災時變ノ費用豫備費ヲ以テ給足セサルモノナシ 別ニ賦課スルヲ得ルト雖モ其府縣會ノ議決ヲ取り
内務卿及大藏卿ニ報告スヘシ (一四年 布五號)

前年度經費決算ノ場合ニ於テ已ムヲ得サル事故アリテ費目中不足ヲ生スルモノアルトキハ府知事
縣令ハ府縣會ノ議決ヲ取り其補充費ヲ徵收スルコトヲ得 (一五年布 六九號)

第六條 地方稅徵收ノ期限ハ府知事縣令適宜ニ之ヲ定ムヘシ

第七條 (一四年 布五號) 府知事縣令ハ一週年度間ノ出納ヲ計査シ精算帳及計表ヲ製シ翌年通常會議ノ初メニ於
テ之ヲ府縣會ニ報告シ然ル後内務卿及大藏卿ニ報告スヘシ

第八條 (同上)

第九條 島嶼ノ地方稅ニ係ル經費ハ府縣會ノ決議ヲ經テ府知事縣令ヨリ内務卿ニ具狀シ其裁定ヲ得テ
本屬府縣ノ經費ト之ヲ分別スルコトヲ得

第十條 (一三年布二六號 一四年布八號)

○地方稅中營業稅雜種稅ノ種類及制限 明治十三年四月八日 太政官布告第十七號 (改正一五年 布三號)
明治十一年 十二月二十九號 布告地方稅中營業稅雜種稅ノ種類及制限左ノ通告正候條此旨布告候事
第一條 (一五年 布三號) 營業稅ヲ課スヘキ種類左ノ如シ但國稅アルモノハ課稅ノ限ニアラス

商業

工業
第二條 (同上) 雜種稅ヲ課スヘキ種類左ノ如シ
料理屋待合茶屋遊船宿芝居茶屋飲食店ノ類

湯屋

理髮人

傭人受宿
遊藝師匠遊藝稼人相撲俳優間藝妓ノ類

市場
演劇其他興行遊覽所

遊技所 玉突大弓揚弓 射的吹矢ノ類

人寄席
船 輕漁船川船及五車 馬車人力車荷發馬車荷發大七 十石未満海船 八車荷積中小車荷積牛車ノ類

水車

乘馬
屠畜

漁業採藻ノ類
但漁業稅採藻稅ハ各地從來ノ慣例ニ依リ之ヲ徵收スヘシ若シ其慣例ヲ改正シ又ハ新稅ヲ賦課セシ
トスルモノハ府縣會ノ議決ヲ經テ府知事縣令ヨリ内務大藏兩卿ニ具狀シ政府ノ裁可ヲ受クヘシ

第三條(同上)

第四條 府知事縣令ハ府縣會ノ決議ヲ以テ第一條第二條類目中ニ於テ賦課スル者ヲ取捨スルコトヲ得

第五條 府知事縣令ハ其賦課スヘキ各業ノ盛衰ヲ視察シ府縣會ノ決議ヲ以テ各個ノ稅額ヲ査定スヘシ

(一五年布 第三號)

第六條(同上)

第七條(同上)

第八條 第四條第五條ニ於テ確定シタル課目課額ハ府知事縣令ヨリ內務大藏兩卿ニ報告スヘシ

第九條 第一條第二條課稅種類ノ外地方特別ノ課稅ヲ要スルモノハ府縣會ノ決議ヲ經テ府知事縣令ヨリ內務大藏兩卿ニ具狀シ政府ノ裁可ヲ受クヘシ(同上)

○貸座敷引手茶屋娼妓ノ賦金編入及警察機密費檢査費支辨方

明治二十一年八月七日(改正二二年閣 閣令第十二號)

貸座敷引手茶屋娼妓ノ賦金ハ府縣知事ニ於テ適宜ニ之ヲ賦課シ地方稅雜收入ニ編入スヘシ(二二年閣 警察機密費(高等警察ニ屬ス)ハ警察費中ノ一科目トシ檢査費ハ衛生病院費中ノ一科目トシ地方稅ヨリ支辨スヘシ)

○地方稅ニ關スル寄附及雜收入ノ件

明治二十年十一月四日 勅令第五十六號

朕地方稅ニ關スル寄附及雜收入ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

- 第一條 地方稅ヲ以テ支辨スヘキ事業ニ關シ寄附スル金穀物件ハ府縣會ノ議決ヲ經テ寄附者ノ指定シタル費途又ハ使用ニ充ツヘシ
- 第二條 地方稅ノ雜收入ハ他ノ收入豫算ト同シク府縣會ノ議定ニ付スヘシ
- 第三條 本令ハ明治二十一年度ヨリ施行ス

○地方稅ノ支辨ニ係ル道路ノ並木枯損木拂代金及寄附金品整理方

明治二十年十一月五日 內務省令第三號

- 一 地方稅ノ支辨ニ係ル道路ノ並木枯損木拂代金ハ明治二十一年度ヨリ該年度地方稅土木費雜入ニ組入レ並木植續費ハ該土木費ヨリ支出ス可シ
- 一 地方稅ヲ以テ支辨ス可キ事業ニ關スル寄附金ノ支出豫算議案及精算報告書式ハ明治二十一年度ヨリ警察費國庫下渡金ノ例ニ準シ寄附者指定ノ費目ニ於テ地方稅ト寄附金ト內譯ヲ爲メ可シ
- 一 物件ノ寄附又ハ年賦寄附等ニシテ通常豫算ニ編入シ難キモノハ便宜別議案ヲ以テ議定ニ附スルコトヲ得
- 一 明治十五年^{十二}月 內務大藏兩省乙第七十二號遠地方稅收入豫算議案並精算報告書式中戸數割ノ次合計以下明治二十一年度ヨリ左ノ通改正ス(書式略ス)

貸座敷引手茶屋娼妓ノ賦金編入及警察機密費檢査費支辨方 地方稅ニ關スル寄附及雜收入ノ件 地方稅ノ支辨ニ係ル道路ノ並木枯損木拂代金及寄附金品整理方

○地方税又ハ區町村費ノ支辨ニ係ル堤塘使用料等取扱方

明治二十一年七月十七日
内務省訓令第十七號

府 縣 沖繩縣
ヲ除ク

地方税又ハ區町村費ノ支辨ニ係ル堤塘使用料及道路並木布貨渡料其他同上ノ並木及堤塘道路用惡水路土居布等ニ屬スル竹木拂代金ハ左項ニ準シテ取扱フヘシ
但本文ニ牴觸セシ從前ノ指令訓令ハ取消ス

- 一 修繕費ノ全部ヲ地方税ヨリ支辨スル箇所ノ收入ハ地方税ヘ其區町村費ヨリ支辨スル箇所ノ收入ハ區町村費ヘ毎年度ニ於テ編入セシムヘシ
- 一 修繕ハ區町村費ノ主擔ニシテ地方税ノ補助ニ係ル箇所ノ收入ハ區町村費ヘ編入セシムヘシ
- 一 地方税ト區町村費ト修繕ノ主擔ヲ定メヌシテ分擔支辨ニ係ル箇所ノ收入ハ其支出金額ノ歩合ニ隨ヒ編入セシムヘシ
- 一 地方税ト區町村費ト年年修繕負擔ヲ異ニスル箇所ノ收入ハ該年度負擔ノ方ニ編入セシムヘシ
- 一 區町村費ノ支辨ニ係ル堤塘道路用惡水路土居敷修繕費及並木植繼及保護費ハ區町村費中土木費ヨリ支出セシムヘシ
- 一 前各項ノ收入金ニシテ府縣廳ヘ積置タル分ハ前各項ニ準據シ本年度中悉皆交付スヘシ

○請願ニ依ル巡查配置ノ件

明治十四年四月十八日
内務省達乙第二十二號

警視廳 府縣 東京府
ヲ除ク

銀行又ハ諸會社又ハ町村協議或ハ人民一己ヨリ其費用ヲ納メ巡查ノ配置ヲ請願スル者ハ自今聞届請願ノ場所ヘ配置不苦候條【該費收支方ハ國庫下渡金地方税等ニ連帶セス別ニ其帳簿ヲ調製シ毎年地方税收出精算書ト同時ニ報告スヘシ】此旨相達候事
但本文配置ノ巡查ハ一般ノ成規ニ從ヒ異同無之様取計フ可シ

○請願ニ依ル巡查配置及其費用徴收支出方

明治二十三年十月二十三日
内務省訓令第三十八號

警視廳 府縣 沖繩縣
ヲ除ク

明治十四年四月 内務省乙第二十二號達銀行又ハ諸會社其他ヨリ請願ニ依リ配置スル巡查ハ地方税支辨ニ屬スル巡查ヲ以テ之ニ充テ其請願者ヨリ納ムヘキ費用ハ府縣會ノ決議ヲ經其額ヲ定メテ徴收シ地方税雜收入ニ編入警察費ニ支出スヘシ

○府縣警察費ニ對スル國庫下渡金ノ割合

明治二十一年八月六日
勅令第六十一號

朕地方税中警察費ニ對スル國庫下渡金改定ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

明治十四年二月 第十六號布告府縣警察費ニ對スル國庫下渡金ノ割合左ノ通改定ス

第一條 地方税中警察費及警察廳舎建築修繕費ニ對スル國庫下渡金ノ割合ハ東京府ハ其總高ノ拾分ノ

地方税又ハ區町村費ノ支辨ニ係ル堤塘使用料等取扱方 請願ニ依ル巡查配置ノ件
請願ニ依ル巡查配置及其費用徴收支出方府縣警察費ニ對スル國庫下渡金ノ割合

四トシ其他ノ府縣〔沖繩縣ヲ除ク〕ハ六分ノ一トス
 第二條 前條割合ノ外警察官吏並ニ之ニ進スヘキ備内外國人ノ諸給與警視廳ノ應費ハ從前ノ通國庫ヨリ支給ス
 第三條 本令ハ明治二十二年度ヨリ施行ス

○各府縣下ニ存在スル公共財產等ニ關スル件 明治二十二年一月二十四日 內務省令第一號

第一條 從來各府縣下ニ存在スル公共ノ財產ニシテ府縣會區町村會及水利土功會ノ議定ニ付セサルモノハ其管理方法又ハ名義ノ如何ニ拘ラス府縣知事ニ於テ其管理者又ハ關係者ノ意見ヲ聞キ其所屬ヲ定メ自今府縣會若クハ區町村會ノ議定ヲ經テ府縣知事若クハ郡區長戸長ニ於テ之ヲ管理スヘシ
 第二條 前條ノ財產ニシテ地方稅又ハ區町村費ト經濟ヲ異ニスルノ必要アルモノハ議會ノ決議ニヨリ別ニ經濟ヲ立ツルコトヲ得
 第三條 公益ニ供スル爲メ有志人民ノ協力ヲ以テ設立シタル學校病院ノ類ハ府縣立ノ名義ヲ附シ府縣知事ニ於テ之ヲ管理スルモ本令第一條ニ據ルノ限ニ在ラス

○府縣委托金ヲ地方稅經濟ニ移スノ件 明治二十三年三月二十七日 勅令第六十六號

朕府縣委托金ヲ地方稅經濟ニ移スノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 從來府縣廳ニ存在スル府縣委托金及之ニ屬スル財產ハ明治二十三年三月三十一日ノ現況ヲ以テ其府縣ノ地方稅經濟ニ下付スヘシ
 第二條 府縣委托金ニ關シ從前府縣知事ニ於テ契約シタルモノハ其契約ヲ繼續シ從前府縣知事ヨリ發シタル命令ハ之ヲ履行スヘシ府縣會ノ議決ニ依ルモ內務大藏農商務三大臣ノ認許ヲ經ルニ非サレハ之カ命令ヲ變更スルコトヲ得ス
 第三條 元金ハ務メテ之ヲ保存スヘシ府縣會ノ議決ニ依ルモ內務大藏農商務三大臣ノ認許ヲ經ルニ非サレハ之ヲ支消スルコトヲ得ス
 第四條 元金ヨリ生スル利子ハ府縣會ノ議決ニ依リ公共ノ勸業費途ニ充用シ又ハ之ヲ蓄積スルコトヲ得
 第五條 府縣委托金中獻金又ハ寄附金等ヨリ成立ツモノニシテ當初使用ノ途ヲ指定シタルモノハ將來ト雖モ其使用ノ途ヲ變スルコトヲ得ス
 第六條 府縣委托金ノ種類ハ大藏大臣之ヲ府縣ニ達スヘシ

○小笠原島地方費ノ件 明治二十三年五月二十一日 法律第三十七號
 朕沖繩縣及小笠原島地方費ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

【沖繩縣及】小笠原島ノ地方經濟ニ屬スル費用ハ其地方人民ノ負擔スルモノヲ除クノ外從前ノ通國庫ヨリ之ヲ支辨ス

各府縣下ニ存在スル公共財產等ニ關スル件 府縣委托金ヲ地方稅經濟ニ移スノ件 中卷 二〇五
 小笠原島地方費ノ件

○災害土木費國庫補助規定 明治三十二年四月二十一日 勅令第六十號

朕災害土木費國庫補助規定ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

災害土木費國庫補助規定

- 第一條 府縣ノ災害土木費ニシテ其ノ地租年額ノ十分ノ三ヲ超過スルトキハ國庫ハ其ノ超過額ノ地租額ニ等シキ額ニ達スル迄ハ十分ノ四以內地租額ヲ超過スルトキハ其ノ超過ノ部分ニ對シテハ十分ノ五以內ヲ補助スルコトヲ得
- 第二條 二箇年以上引續キ地租額以上ノ災害土木費ヲ要スル災害アリタル府縣ニ對シテハ前條補助ノ歩合ニ依リ算出シタル補助額ノ十分ノ三以內ヲ増加スルコトヲ得
- 第三條 前二條ノ地租額ハ其ノ年一月一日ニ於ケル土地臺帳面記載ノ地租額ニ依ル
- 第四條 災害土木費ノ範圍及計算方法並郡市町村其ノ他公共團體ノ災害土木費負擔ニ關スル方法等ハ内務大臣之ヲ定ム

○災害土木費國庫補助規定施行細則 明治三十二年四月二十二日 (改正三八年省)

災害土木費國庫補助規定施行細則左ノ通定ム
災害土木費國庫補助規定施行細則

- 第一條 災害ニ因リテ必要ヲ生シタル土木工事ニシテ國庫ヨリ補助スヘキモノハ府縣、郡、市、町村、町村組合、水利組合、水利土功會及市町村ノ一部ノ負擔ニ屬スル工事ナルコトヲ要ス
- 第二條 災害ニ因リテ必要ヲ生シタル土木工事ニシテ國庫ヨリ補助スヘキモノハ大體ニ於テ被害工事ノ原形ニ復スルヲ以テ目的トス但シ原形ニ復シ難キ場合其ノ他特別ノ理由アル場合ニ於テハ増築、改築又ハ之ニ代ルヘキ必要ノ施設ヲ爲スコトヲ妨ケス(三八年省一號)
- 第三條 左ノ各號ニ該當スル工事ニ付キテハ特別ノ理由アル場合ヲ除ク外國庫ヨリ補助ヲ與ヘサルモノトス
 - 一 河川港灣ノ埋塞ニ基因スル工事但シ川成變更ノ場合ヲ除ク
 - 二 幅六尺未満ノ道路及其附屬物ノ工事
 - 三 車馬ノ交通ニ妨ケナキ道路ノ上流レ又ハ崩土堆積ニ基因スル工事
 - 四 投架橋及飛石渡ノ工事
 - 五 直高三尺以下ノ小堤ノ工事
 - 六 溪流ニ於ケル直高六尺以下ノ石垣板柵類ノ工事
 - 七 溜池用惡水路並其ノ附屬物ノ工事
 - 八 砂防工事
 - 九 直チニ破壊スルノ虞ナク又他ニ危害ヲ及ボスヘキ恐ナキ石張石垣等ノ差狂又ハ缺脱ニ基因スル工事
 - 十 一箇所ノ工費五拾圓未満ノ工事
 - 十一 利害關係ノ小ナリト認ムル工事

十二 後年ニ譲リテ害ナシト認ムル工事

第四條 災害ニ因リテ必要ヲ生シタル土木工事ノ所屬ハ國庫ノ補助ニ關シテハ災害ノ當時定リタル所屬ニ依ル

第五條 郡、市、町村、町村組合、水利組合及水利土功會ハ左ノ割合ヲ以テ其ノ工費ヲ負擔スルモノトシテ計算ス

郡、町村組合、水利組合及水利土功會ハ其ノ地租年額十分ノ二
町村ハ其ノ地租年額十分ノ四

市ハ其ノ地租年額十分ノ七但シ東京市京都市大阪市ハ其ノ地租年額ニ等シキ額

郡、市、町村、町村組合、水利組合及水利土功會ハ其ノ工費ヨリ前項負擔額ヲ控除シタル殘額ノ十分ノ三ヲ負擔スルモノトシテ計算ス

水利組合又ハ水利土功會ニシテ其ノ區域一市町村内ニ止マルモノ及市町村ノ一部ノ負擔スヘキ工費ハ其ノ市町村ノ工費ニ算入ス

本條ノ地租額ハ其ノ年一月一日ニ於ケル土地臺帳面記載ノ地租額ニ依ル

第六條 郡、市、町村、町村組合、水利組合及水利土功會ニ於テ前條ニ依リ負擔ヲ爲シ其ノ不足スル金額ハ府縣ヨリ補助スルモノトシテ計算ス

第七條 府縣ノ負擔ニ屬スル工事ノ費用及前條ニ依レル補助費ニ雜費ヲ加ヘタル金額ヲ以テ府縣災害土木費トス

雜費ハ府縣ノ負擔ニ屬スル工事ノ費用及前條ニ依レル補助費ヲ合セタル金額ニシテ貳拾萬圓マテハ其ノ百分ノ五以內、其ノ以上五拾萬圓マテハ貳拾萬圓ヲ超過スル部分ノ百分ノ三以內、五拾萬圓ヲ

超過スル部分ハ總テ百分ノ二以內ヲ以テ算出ス

第八條 府縣ニ於テ同一年度内二回以上災害ニ遭遇シタルトキハ其ノ災害ニ因リテ必要ヲ生シタル未著手工事ノ費用ハ之ヲ併算スルコトヲ得

前項ニヨリ併算スヘキ工事ノ種類及其ノ工費額並併算スヘキ工事ノ原因タル災害ノ程度等ハ内務大臣ノ認定ニヨリ之ヲ定ム

第九條 府縣ニ於テ國庫ノ補助ヲ受ケタル災害工事ノ經營中更ニ國庫ノ補助ヲ受ケル災害ニ遭遇シタル場合ニ於テ前災害工事ニシテ後ノ災害ニ罹ラサルモノハ前災害工事ノ經營ニ屬スルモノトシ其ノ後ノ災害ニ罹リタルモノハ之ヲ後ノ災害工事ノ經營ニ屬スルモノトス

前項ニ依リ前災害工事ニシテ後ノ災害工事ノ經營ニ屬スル場合ニ於テハ其ノ未成工事ニ付キテハ災害前ノ出來形ニ依リ既成工費ト未成工費トヲ區分シ其ノ未成工費ヲ後ノ災害工事設計額ヨリ控除シ未著手工事ニ付キテハ其未著手工費ヲ後ノ災害工事設計額ヨリ控除ス

第十條(三八年) 府縣知事ニ於テ災害土木費ニ對シ國庫ノ補助ヲ請ハントスルトキハ災害工事ノ目論見帳ヲ調製シ内務大臣ニ検査ヲ申請スヘシ

第十一條 府縣知事ニ於テ前條検査ノ結果ニ付通知ヲ受ケタルトキハ補助申請見込額ノ上申ヲ爲シ補助内定額ノ通知ヲ受クヘシ(三八年) (省七號)

府縣知事ハ前項ノ通知ニ依リ豫算ヲ調製シ府縣會ノ決議ヲ經テ國庫補助ノ申請ヲ爲スヘシ
第十二條 國庫ノ補助ヲ受ケタル府縣災害土木費ニ關スル會計ノ事務ハ府縣ニ於テ分別シテ之ヲ整理スヘシ

第十三條 府縣ハ検査ヲ受ケタル災害工事ノ實施ニ際シテハ河川法ニ關スル規程及明治三十八年三月内

十二 後年ニ讓リテ害ナシト認ムル工事

第四條 災害ニ因リテ必要ヲ生シタル土木工事ノ所屬ハ國庫ノ補助ニ關シテハ災害ノ當時定リタル所屬ニ依ル

第五條 郡、市、町村、町村組合、水利組合及水利土功會ハ左ノ割合ヲ以テ其ノ工費ヲ負擔スルモノトシテ計算ス

郡、町村組合、水利組合及水利土功會ハ其ノ地租年額十分ノ二
町村ハ其ノ地租年額十分ノ四

市ハ其ノ地租年額十分ノ七但シ東京市京都市大阪市ハ其ノ地租年額ニ等シキ額
郡、市、町村、町村組合、水利組合及水利土功會ハ其ノ工費ヨリ前項負擔額ヲ控除シタル殘額ノ十分ノ三ヲ負擔スルモノトシテ計算ス

水利組合又ハ水利土功會ニシテ其ノ區域一市町村内ニ止マルモノ及市町村ノ一部ノ負擔スヘキ工費ハ其ノ市町村ノ工費ニ算入ス

第六條 郡、市、町村、町村組合、水利組合及水利土功會ニ於テ前條ニ依リ負擔ヲ爲シ其ノ不足スル金額ハ府縣ヨリ補助スルモノトシテ計算ス

第七條 府縣ノ負擔ニ屬スル工事ノ費用及前條ニ依レル補助費ニ雜費ヲ加ヘタル金額ヲ以テ府縣災害土木費トス

雜費ハ府縣ノ負擔ニ屬スル工事ノ費用及前條ニ依レル補助費ヲ合セタル金額ニシテ貳拾萬圓マテハ其ノ百分ノ五以內、其ノ以上五拾萬圓マテハ貳拾萬圓ヲ超過スル部分ノ百分ノ三以內、五拾萬圓ヲ

超過スル部分ハ總テ百分ノ二以內ヲ以テ算出ス

第八條 府縣ニ於テ同一年度内ニ回以上災害ニ遭遇シタルトキハ其ノ災害ニ因リテ必要ヲ生シタル未著手工事ノ費用ハ之ヲ併算スルコトヲ得

前項ニヨリ併算スヘキ工事ノ種類及其ノ工費額並併算スヘキ工事ノ原因タル災害ノ程度等ハ内務大臣ノ認定ニヨリ之ヲ定ム

第九條 府縣ニ於テ國庫ノ補助ヲ受ケタル災害工事ノ經營中更ニ國庫ノ補助ヲ受クル災害ニ遭遇シタル場合ニ於テ前災害工事ニシテ後ノ災害ニ罹ラサルモノハ前災害工事ノ經營ニ屬スルモノトシ其ノ後ノ災害ニ罹リタルモノハ之ヲ後ノ災害工事ノ經營ニ屬スルモノトス

前項ニ依リ前災害工事ニシテ後ノ災害工事ノ經營ニ屬スル場合ニ於テハ其ノ未成工事ニ付キテハ災害前ノ出來形ニ依リ既成工費ト未成工費トヲ區分シ其ノ未成工費ヲ後ノ災害工事設計額ヨリ控除シ未著手工事ニ付キテハ其未著手工費ヲ後ノ災害工事設計額ヨリ控除ス

第十條 (三八年 省七號) 府縣知事ニ於テ災害土木費ニ對シ國庫ノ補助ヲ請ハントスルトキハ災害工事ノ目論見帳ヲ調製シ内務大臣ニ検査ヲ申請スヘシ

第十一條 府縣知事ニ於テ前條検査ノ結果ニ付通知ヲ受ケタルトキハ補助申請見込額ノ上申ヲ爲シ補助内定額ノ通知ヲ受クヘシ (三八年 省七號)

府縣知事ハ前項ノ通知ニ依リ豫算ヲ調製シ府縣會ノ決議ヲ經テ國庫補助ノ申請ヲ爲スヘシ
第十二條 國庫ノ補助ヲ受ケタル府縣災害土木費ニ關スル會計ノ事務ハ府縣ニ於テ分別シテ之ヲ整理スヘシ

第十三條 府縣ハ検査ヲ受ケタル災害工事ノ實施ニ際シテハ河川法ニ關スル規程及明治三十八年三月内

務省訓令第五號ノ手續ヲ經ルコトヲ要ス(同上)

府縣ハ災害工事ノ實施ニ際シ必要アリト認ムルトキハ検査ヲ受ケタル工事ノ設計ヲ變更シ又ハ施工箇所ノ變更ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テモ亦前項ニ同シ

前項ノ變更ニシテ河川法ニ關スル規程及明治二十八年三月内務省訓令第五號ノ手續ヲ經ルコトヲ要セサルモノハ其ノ都度土木局長ニ通知スヘシ(同上)

第十四條 府縣ニ於テ國庫ノ補助ヲ受ケタル災害工事ノ經營ヲ完了シタルトキハ内務大臣ニ其ノ經營完了ノ認定ヲ申請スヘシ(同上)

前項ノ場合ニ於テ災害土木費ニ剩餘ヲ生シタルトキハ府縣ハ其ノ處分方法ヲ定メ内務大臣ノ認可ヲ受クヘシ(同上)

府縣ニ於テ國庫ノ補助ヲ受ケタル災害土木費ニ對シ特別ノ増加ヲ爲シタルトキハ前項ノ剩餘金ハ其ノ歩合ニ依リ之ヲ定ム

○郡制 明治三十二年三月十五日
法律第六十五號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル郡制改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

郡制

- 第一章 總則
- 第二章 郡會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限及處務規程

第三章 郡參事會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限及處務規程

第四章 郡行政

第一款 郡吏員ノ組織及任免

第二款 郡官吏郡吏員ノ職務權限及處務規程

第三款 給料及給與

第五章 郡ノ財務

第一款 財產營造物及郡費

第二款 歲入出豫算及決算

第六章 郡組合

第七章 郡行政ノ監督

第八章 附則

郡制

第一章 總則

第一條 郡ハ從來ノ區域ニ依リ町村ヲ包括ス

第二條 郡ハ法人トシ官ノ監督ヲ承ケ法律命令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務並法律勅令ニ依リ郡ニ屬

郡制

スル事務ヲ處理ス

第三條 郡ノ廢置分合又ハ境界變更ヲ要スルトキハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

郡ノ境界ニ涉リテ市町村境界ノ變更アリタルトキハ郡ノ境界モ亦自ラ變更ス町村ヲ變シテ市ト爲シ若ハ市ヲ變シテ町村ト爲シ又ハ所屬未定地ヲ町村ノ區域ニ編入シタルトキ亦同シ
本條ノ處分ニ付財產處分ヲ要スルトキハ內務大臣ハ關係アル府縣郡市參事會及町村會ノ意見ヲ徵シテ之ヲ定ム但シ特ニ法律ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二章 郡會

第一款 組織及選舉

第四條 郡會議員ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス

選舉區ハ町村ノ區域ニ依ル但シ事情ニ依リ郡長ハ郡會ノ議決ヲ經府縣知事ノ許可ヲ得テ數町村ノ區域ニ依リ選舉區ヲ設クルコトヲ得

町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部ヲ共同處理スルモノハ之ヲ一町村ト看做ス

第五條 郡會議員ノ員數ハ十五人以上三十人以下トス

郡ノ狀況ニ依リ內務大臣ノ許可ヲ得テ前項ノ員數ヲ四十人マテ増加スルコトヲ得

郡會議員ノ定數及各選舉區ニ於テ選舉スヘキ郡會議員ノ數ハ郡會ノ議決ヲ經府縣知事ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム

前項議員ノ配當方法ニ關スル必要ナル事項ハ內務大臣之ヲ定ム

第六條 郡内ノ町村公民ニシテ町村會議員ノ選舉權ヲ有シ且其ノ郡内ニ於テ一年以來直接國稅年額二圓以上ヲ納ムル者ハ郡會議員ノ選舉權ヲ有ス

郡内ノ町村公民ニシテ町村會議員ノ選舉權ヲ有シ且其ノ郡内ニ於テ一年以來直接國稅年額五圓以上ヲ納ムル者ハ郡會議員ノ被選舉權ヲ有ス

家督相續ニ依リ財產ヲ取得シタル者ハ其ノ財產ニ付被相續人ノ爲シタル納稅ヲ以テ其ノ者ノ納稅シタルモノト看做ス

郡會議員ハ住所ヲ移シタル爲町村ノ公民權ヲ失フコトアルモ其ノ住所同郡内ニ在ルトキハ之カ爲其ノ職ヲ失フコトナシ

郡會議員ノ選舉權及被選舉權ノ要件中其ノ年限ニ關スルモノハ府縣郡市町村ノ廢置分合若ハ境界變更ノ爲中斷セララルコトナシ

左ニ掲クル者ハ郡會議員ノ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後一箇月ヲ經過セサル者亦同シ

一 所屬府縣ノ官吏及有給吏員

二 其ノ郡ノ官吏及有給吏員

三 檢事警察官吏及收稅官吏

四 神官僧侶其ノ他諸宗教師

五 小學校教員

前項ノ外ノ官吏ニシテ當選シ之ニ應セントスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受クヘシ

選舉事務ニ關係アル吏員ハ其ノ選舉區ニ於テ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後一箇月ヲ經過セサル者亦同シ

郡ノ爲請負ヲ爲ス者又ハ郡ノ爲請負ヲ爲ス法人ノ役員ハ其ノ郡ノ郡會議員ノ被選舉權ヲ有セス

第七條 郡會議員ハ名譽職トス

郡會議員ノ任期ハ四年トス

議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲又ハ議員ノ配當ヲ更正シタル爲解任ヲ要スル者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第八條 郡會議員中關員アルトキ及郡會議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲又ハ議員ノ配當ヲ更正シタル爲議員ノ選舉ヲ要スルトキハ三箇月以内ニ之ヲ行フヘシ

補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

補闕議員ヲ除ク外本條第一項ニ依リ選舉セラレタル議員ハ次ノ改選期マテ在任ス

第九條 郡會議員ノ選舉ハ郡長ノ告示ニ依リ之ヲ行フ其ノ告示ニハ選舉ヲ行フヘキ選舉區投票ヲ行フヘキ日時及選舉スヘキ議員ノ員數ヲ記載シ新ニ選舉人名簿ヲ調製シテ選舉ヲ行フ場合ニ於テハ少クトモ七十日前其ノ他ノ場合ニ於テハ少クトモ十四日前ニ之ヲ發スヘシ

第十條 郡會議員ノ選舉ハ町村長之ヲ管理ス但シ數町村ヲ以テ一選舉區ト爲シタル場合ニ於テハ郡長ノ指定シタル町村長之ヲ管理ス

第十一條 町村長ハ選舉期日前六十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スヘシ但シ數町村ノ區域ニ依リ選舉區ヲ設ケタル場合ニ於テハ選舉ヲ管理スル町村長ニ之ヲ送付スヘシ

選舉人其ノ住所ヲ有スル町村外ニ於テ直接國稅ヲ納ムルトキハ前項ノ期日マテニ當該行政廳ノ證明ヲ得テ其ノ住所地ノ町村長ニ届出ツヘシ其ノ期限内ニ届出ヲ爲ササルトキハ其ノ納稅ハ選舉人名簿ニ記載セラルヘキ要件ニ算入セス

選舉ヲ管理スル町村長ハ選舉前五十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ七日間町村役場又ハ其ノ他ノ場所ニ於テ選舉人名簿ヲ關係者ノ縦覽ニ供スヘシ若關係者ニ於テ異議アルトキ又ハ正當ノ事故ニ依リ前項ノ手

續ヲ爲スコト能ハスシテ名簿ニ登錄セラレサルトキハ縦覽期限内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ町村長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ之ヲ決定スヘシ

前項町村長ノ決定ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ關シテハ府縣知事郡長町村長ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得

町村長ハ第三項異議ノ決定ニ依リ又ハ第四項訴願ノ裁決確定シ若ハ訴訟ノ判決ニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ選舉ノ期日前七日マテニ修正ヲ加ヘテ確定名簿ト爲スヘシ

本條ニ依リ確定シタル名簿ハ郡内ノ各選舉區ニ涉リ同時ニ調製シタルモノハ確定シタル日ヨリ一年以内ニ於テ行フ選舉ニ之ヲ適用ス其ノ郡内一部ノ選舉區限リ調製シタルモノハ確定シタル日ヨリ一年以内ニ該選舉區ニ於テノミ行フ選舉ニ之ヲ適用ス但シ名簿確定後訴願ノ裁決若ハ訴訟ノ判決ニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ選舉ノ期日前七日マテニ修正スヘシ

選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ直ニ其ノ要領ヲ告示スヘシ

確定名簿ニ登錄セラレサル者ハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ選舉人名簿ニ登錄セラルヘキ確定裁決書若ハ判決書ヲ所持シ選舉ノ當日選舉會場ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラス

確定名簿ニ登錄セラレタル者選舉權ヲ有セサルトキハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ名簿ハ之ヲ修正スル限ニ在ラス

異議ノ決定若ハ訴願ノ裁決確定シ又ハ訴訟ノ判決アリタルニ依リ名簿無効ト爲リタルトキハ更ニ名簿ヲ調製スヘシ其ノ名簿調製ノ期日縦覽修正及確定ニ關スル期限等ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム

第十二條 選舉會ハ町村役場若ハ選舉ヲ管理スル町村長ノ指定シタル場所ニ於テ之ヲ開クヘシ
數町村ヲ以テ一選舉區ト爲シタルトキハ選舉ヲ管理スル町村長ハ選舉ノ日ヨリ少クトモ四日前ニ選
舉會ノ場所ヲ定メ關係町村長ニ通知スヘシ

選舉會ノ場所ハ選舉ノ日ヨリ少クトモ三日前町村長ニ於テ之ヲ告示スヘシ

特別ノ事情アル地ニ於テハ命令ヲ以テ選舉分會ヲ設ケ其ノ選舉ニ關シ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第十三條 選舉ヲ管理スル町村長ハ臨時ニ選舉人中ヨリ二名乃至四名ノ選舉立會人ヲ選任シ其ノ町村
長ハ選舉長トナル

選舉立會人ハ名譽職トス

第十四條 選舉人ノ外選舉會場ニ入ルコトヲ得ス但シ選舉會場ノ事務ニ從事スル者選舉會場ヲ監視ス
ル職權ヲ有スル者ハ此ノ限ニ在ラス

選舉人ハ選舉會場ニ於テ協議又ハ勸誘ヲ爲スコトヲ得ス

第十五條 選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

選舉人ハ選舉ノ當日自ラ選舉會場ニ到リ選舉人名簿ノ對照ヲ經投票簿ニ捺印シ投票スヘシ

選舉人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人一名ノ氏名ヲ記載シテ投函スヘシ

投票用紙ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得ス

自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

投票用紙ハ郡長ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用ウヘシ

第十六條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

一 成規ノ用紙ヲ用キサルモノ

二 一投票中二人以上ノ被選舉人ヲ記載シタルモノ

三 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ

四 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

五 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモ
ノハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 投票ノ拒否並効力ハ選舉立會人之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ選舉長之ヲ決スヘシ

第十八條 郡會議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス投票ノ數相同キトキハ年長
者ヲ取り同年月ナルトキハ選舉長抽籤シテ其ノ當選者ヲ定ム

同時ニ補闕員數名ヲ選舉スルトキハ投票ノ數多キ者、投票ノ數相同キトキハ年長者ヲ以テ殘任期ノ
長キ前任者ノ補闕ト爲シ同年月ナルトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ム

第十九條 選舉長ハ選舉録ヲ製シテ選舉ノ顛末ヲ記載シ選舉ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選舉立會人二名
以上ト共ニ之ニ署名シ投票選舉人名簿其ノ他關係書類ト共ニ選舉ノ効力確定スルニ至ルマテ之ヲ保
存スヘシ

第二十條 選舉ヲ終リタルトキハ選舉長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ同時ニ選舉録ノ寫ヲ添ヘ當
選者ノ住所氏名ヲ郡長ニ報告スヘシ

當選者當選ノ告知ヲ受ケタルトキハ五日以内ニ其ノ當選ヲ承諾スルヤ否ヲ郡長ニ申立ツヘシ

一人ニシテ數選舉區ノ選舉ニ當リタルトキハ最終ニ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ何レノ
選舉ニ應スヘキカヲ郡長ニ申立ツヘシ

定期改選増員選舉補闕選舉等ヲ同時ニ行ヒタル場合ニ於テ一人ニシテ其ノ數選舉ニ當リタルトキハ前項ノ例ニ依ル

前三項ノ申立ヲ其ノ期限内ニ爲ササルトキハ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

第六條第七項ノ官吏ニシテ當選シタル者ニ關シテハ本條ニ定ムル期間ヲ二十日以内トス

第二十一條 郡會議員ノ當選ヲ辭シタル者アルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ

二人以上投票同數ニシテ年長ニ由テ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シタルトキハ年少ニ由テ當選セサリシ者ヲ以テ當選トス但シ年少ニ由テ當選セサリシ者二人以上アルトキハ年長者ヲ取り同年月ナルトキハ選舉長抽籤シテ其ノ當選者ヲ定ム

二人以上投票同數ニシテ抽籤ニ依テ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シタルトキハ抽籤ノ爲當選セサリシ者ヲ以テ當選トス但シ抽籤ノ爲當選セサリシ者二人以上アルトキハ選舉長抽籤シテ其ノ當選者ヲ定ム

第二十二條 當選者其ノ當選ヲ承諾シタルトキハ郡長ハ直ニ當選證書ヲ付與シ及其ノ住所氏名ヲ告示スヘシ

第二十三條 選舉人選舉若ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ノ日ヨリ十四日以内ニ之ヲ郡長ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議ハ之ヲ郡參事會ノ決定ニ付スヘシ

郡長ニ於テ選舉若ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ第一項申立ノ有無ニ拘ラス第二十條第一項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ郡參事會ノ決定ニ付スルコトヲ得

本條郡參事會ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴

スルコトヲ得

前項ノ決定及裁決ニ關シテハ府縣知事郡長選舉ヲ管理スル町村長ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二十四條 選舉ノ規定ニ違背スルコトアルトキハ其ノ選舉ヲ無効トス但シ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞ナキモノハ此ノ限ニ在ラス

當選者ニシテ被選舉權ヲ有セサルトキハ其ノ當選ヲ無効トス

第二十五條 選舉若ハ當選無効ト確定シタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ但シ得票數ノ查定ニ錯誤アリタル爲又ハ選舉ノ際被選舉權ヲ有セサル爲當選無効ト確定シタルトキハ第十八條及第二十條ノ例ニ依ル

第二十六條 郡會議員ニシテ被選舉權ヲ有セサル者ハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選舉權ニ關スル異議ハ郡參事會之ヲ決定ス

郡會ニ於テ其ノ議員中被選舉權ヲ有セサル者アリト認ムルトキハ之ヲ郡長ニ通知スヘシ但シ議員ハ自己ノ資格ニ關スル會議ニ於テ辯明スルコトヲ得ルモ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

郡長ハ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ郡參事會ノ決定ニ付スヘシ郡長ニ於テ被選舉權ヲ有セサル者アリト認ムルトキ亦同シ

本條郡參事會ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ決定及裁決ニ關シテハ府縣知事郡長ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得

郡會議員ハ其ノ被選舉權ヲ有セストスル決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アルマテハ會議ニ列席シ及發

言スルノ權ヲ失ハス

第二十七條 本款ニ規定スル異議ノ決定及訴願ノ裁決ハ其ノ決定書若ハ裁決書ヲ交付シタルトキ直ニ之ヲ告示スヘシ

第二十八條 郡會議員ノ選舉ニ付テハ市町村會議員選舉ニ關スル罰則ヲ準用ス

第二款 職務權限及處務規程

第二十九條 郡會ノ議決スヘキ事件左ノ如シ

- 一 歳入出豫算ヲ定ムル事
- 二 決算報告ニ關スル事
- 三 法律命令ニ定ムルモノヲ除ク外使用料手数料及夫役現品ノ賦課徴收ニ關スル事
- 四 不動産ノ處分並買取受讓受ニ關スル事
- 五 積立金穀等ノ設置及處分ニ關スル事
- 六 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲ス事
- 七 財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事但シ法律命令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 八 其ノ他法律命令ニ依リ郡會ノ權限ニ屬スル事項

第三十條 郡會ハ其ノ權限ニ屬スル事項ヲ郡參事會ニ委任スルコトヲ得

第三十一條 郡會ハ法律命令ニ依リ選舉ヲ行フヘシ

第三十二條 郡會ハ郡ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ郡長若ハ監督官廳ニ呈出スルコトヲ得

第三十三條 郡會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スヘシ

郡會ノ意見ヲ徵シテ處分ヲ爲スヘキ場合ニ於テ郡會招集ニ應セス若ハ成立セス又ハ意見ヲ呈出セザ

ルトキハ當該官廳ハ其ノ意見ヲ俟タスシテ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得

第三十四條 郡會議員ハ選舉人ノ指示若ハ委囑ヲ受クヘカラス

第三十五條 郡會ハ議員中ヨリ議長副議長各一名ヲ選舉スヘシ

議長副議長ハ議員ノ定期改選毎ニ之ヲ改選スヘシ

第三十六條 議長故障アルトキハ副議長之ニ代リ議長副議長共ニ故障アルトキハ臨時ニ議員中ヨリ假議長ヲ選舉スヘシ

第三十七條 郡長及其ノ委任若ハ囑託ヲ受ケタル官吏吏員ハ會議ニ列席シテ議事ニ參與スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ス

前項ノ列席者ニ於テ發言ヲ求ムルトキハ議長ハ直ニ之ヲ許スヘシ但シ之カ爲議員ノ演說ヲ中止セシムルコトヲ得ス

第三十八條 郡會ハ通常會及臨時會トス

通常會ハ毎年一回之ヲ開ク其ノ會期ハ十四日以内トス臨時會ハ必要アル場合ニ於テ其ノ事件ニ限リ之ヲ開ク其ノ會期ハ五日以内トス

臨時會ニ付スヘキ事件ハ豫メ之ヲ告示スヘシ但シ其ノ開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ郡長ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得

第三十九條 郡會ハ郡長之ヲ招集ス

招集ハ開會ノ日ヨリ少クトモ十日日前ニ告示スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

郡會ハ郡長之ヲ開閉ス

第四十條 郡會ハ議員定員ノ半数以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

第四十一條 郡會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第四十二條 議長及議員ハ自己若ハ父母祖父母妻子孫兄弟姊妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ郡會ノ同意ヲ得ルニ非サレハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス

第四十三條 法律命令ノ規定ニ依リ郡會ニ於テ選舉ヲ行フトキハ一名毎ニ匿名投票ヲ爲シ有效投票ノ過半數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス若過半數ヲ得タル者ナキトキハ最多數ヲ得タル者二名ヲ取リ之ニ就キ決選投票ヲ爲サシム其ノ二名ヲ取ルニ當リ同數者アルトキハ年長者ヲ取リ同年月ナルトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム此ノ決選投票ニ於テハ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス若同數ナルトキハ年長者ヲ取リ同年月ナルトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム其ノ他ハ第十五條乃至第十七條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ選舉ニ付テハ郡會ハ其ノ議決ヲ以テ指名推選若ハ連名投票ノ法ヲ用ウルコトヲ得其ノ連名投票ノ法ヲ用ウル場合ニ於テハ前項ノ例ニ依ル

第四十四條 郡會ノ會議ハ公開ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

- 一 郡長ヨリ傍聽禁止ノ要求ヲ受ケタルトキ
- 二 議長若ハ議員二名以上ノ發議ニ依リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ

前項議長若ハ議員ノ發議ハ討論ヲ須ヒス其ノ可否ヲ決スヘシ

第四十五條 議長ハ會議ノ事ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第四十六條 郡會議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用キ又ハ他人ノ身上ニ涉リ言論スルコトヲ得ス

第四十七條 會議中此ノ法律若ハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ル議員アルトキハ議長ハ之ヲ

制止シ若ハ發言ヲ取消サシメ命ニ從ハサルトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ終ルマテ發言ヲ禁止シ又ハ議場ノ外ニ退去セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉ツルコトヲ得

第四十八條 傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧嘩ニ涉リ其ノ他會議ノ妨害ヲ爲ストキハ議長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ退場セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第四十九條 議場ノ秩序ヲ紊リ又ハ會議ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議員若ハ第三十七條ノ列席者ハ議長ノ注意ヲ喚起スルコトヲ得

第五十條 郡會ニ書記ヲ置キ議長ニ隸屬シテ庶務ヲ處理セシム

書記ハ議長之ヲ任免ス

第五十一條 議長ハ書記ヲシテ會議錄ヲ製シ會議ノ顛末並出席議員ノ氏名ヲ記載セシムヘシ會議錄ハ議長及議員二名以上之ニ署名スルヲ要ス其ノ議員ハ郡會ニ於テ之ヲ定ムヘシ

議長ハ會議錄ヲ添ヘ會議ノ結果ヲ郡長ニ報告スヘシ

第五十二條 郡會ハ會議規則及傍聽人取締規則ヲ設ケ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

會議規則ニハ此ノ法律並會議規則ニ違背シタル議員ニ對シ郡會ノ議決ニ依リ三日以内出席ヲ停止スル規定ヲ設クルコトヲ得

第三章 郡參事會

第一款 組織及選舉

第五十二條 郡ニ郡參事會ヲ置キ左ノ職員ヲ以テ之ヲ組織ス

- 一 郡長
- 二 名譽職參事會員 五名

第五十四條 名譽職參事會員ハ郡會ニ於テ議員中ヨリ之ヲ選舉スヘシ

郡會ハ名譽職參事會員ト同數ノ補充員ヲ選舉スヘシ

名譽職參事會員中闕員アルトキハ郡長ハ補充員ノ中ニ就キ之ヲ補闕ス其ノ順序ハ選舉同時ナルトキハ投票數ニ依リ投票同數ナルトキハ年長者ヲ取り同年月ナルトキハ抽籤ニ依リ選舉ノ時ヲ異ニスルトキハ選舉ノ前後ニ依ル仍闕員ヲ生シタル場合ニ於テハ臨時補闕選舉ヲ行フヘシ

補充員ハ前任者ノ殘任期間在任ス

名譽職參事會員及其ノ補充員ハ郡會議員ノ定期改選毎ニ之ヲ改選スヘシ但シ名譽職參事會員ハ後任者就任ノ日マテ在任ス

第五十五條 郡參事會ハ郡長ヲ以テ議長トス郡長故障アルトキハ出席會員中ヨリ臨時議長ヲ互選スヘシ

第二款 職務權限及處務規程

第五十六條 郡參事會ノ職務權限左ノ如シ

- 一 郡會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル事
- 二 郡會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ郡長ニ於テ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキ郡會ニ代テ議決スル事
- 三 郡長ヨリ郡會ニ提出スル議案ニ付郡長ニ對シ意見ヲ述フル事

四 郡會ノ議決シタル範圍内ニ於テ財産及營造物ノ管理ニ關シ重要ナル事項ヲ議決スル事

五 郡費ヲ以テ支辨スヘキ工事ノ執行ニ關スル規定ヲ議決スル事但シ法律命令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

六 郡ニ係ル訴訟訴訟及和解ニ關スル事項ヲ議決スル事

七 其ノ他法律命令ニ依リ郡參事會ノ權限ニ屬スル事項

第五十七條 郡參事會ハ名譽職參事會員中ヨリ委員ヲ選舉シ之ヲシテ郡ニ係ル出納ヲ檢查セシムルコトヲ得

前項ノ檢查ニハ郡長又ハ其ノ指名シタル官吏若ハ吏員之ニ立會フコトヲ要ス

第五十八條 第三十二條第三十三條第三十七條及第五十條ノ規定ハ郡參事會ニ之ヲ準用ス

第五十九條 郡參事會ハ郡長之ヲ招集ス若名譽職參事會員半數以上ノ請求アル場合ニ於テ相當ノ理由アリト認ムルトキハ郡長ハ郡參事會ヲ招集スヘシ

郡參事會ノ會期ハ郡長之ヲ定ム

第六十條 郡參事會ノ會議ハ傍聽ヲ許サス

第六十一條 郡參事會ハ議長及名譽職參事會員定員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

第五十六條第二ノ議決ヲ爲ストキハ郡長ハ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

郡參事會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル會議ノ顛末ハ之ヲ會議録ニ記載シ議長及名譽職參事會員二名以上之ニ署名スヘシ

第六十二條 第四十二條ノ規定ハ郡參事會員ニ之ヲ準用ス但シ同條ノ規定ニ依リ會員ノ數減少シテ前

條第一項ノ數ヲ得サルトキハ郡長ハ補充員ニシテ其ノ事件ニ關係ナキ者ヲ以テ第五十四條第三項ノ順序ニ依リ臨時之ニ充テ仍其ノ數ヲ得サルトキハ郡會議員ニシテ其ノ事件ニ關係ナキ者ヲ臨時ニ指名シ其ノ闕員ヲ補充スヘシ

第四章 郡行政

第一款 郡吏員ノ組織及任免

第六十三條 郡ニ有給ノ郡吏員ヲ置クコトヲ得其ノ定員ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム
前項ノ郡吏員ハ府縣知事之ヲ任免ス

第六十四條 郡ニ郡出納吏ヲ置キ官吏吏員ノ中ニ就キ郡長之ヲ命ス

第六十五條 郡ハ郡會ノ議決ヲ經府縣知事ノ許可ヲ得テ臨時若ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得

委員ハ名譽職トス

委員ノ組織選任任期等ニ關スル事項ハ郡會ノ議決ヲ經府縣知事ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム

第二款 郡官吏郡吏員ノ職務權限及處務規程

第六十六條 郡長ハ郡ヲ統轄シ郡ヲ代表ス

郡長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

- 一 郡費ヲ以テ支辨スヘキ事件ヲ執行スル事
- 二 郡會及郡參事會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニ付其ノ議案ヲ發スル事
- 三 財産及營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者アルトキハ其ノ事務ヲ監督スル事
- 四 收入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スル事
- 五 證書及公文書類ヲ保管スル事

六 法律命令又ハ郡會若ハ郡參事會ノ議決ニ依リ使用料手数料郡費及夫役現品ヲ賦課徵收スル事

七 其ノ他法律命令ニ依リ郡長ノ職權ニ屬スル項查

第六十七條 郡長ハ議案ヲ郡會ニ提出スル前之ヲ郡參事會ノ審査ニ付シ若シ郡參事會ト其ノ意見ヲ異ニスルトキハ郡參事會ノ意見ヲ議案ニ添ヘ郡會ニ提出スヘシ

第六十八條 郡長ハ郡ノ行政ニ關シ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ町村吏員ニ補助執行セシメ若ハ委任スルコトヲ得

郡長ハ郡ノ行政ニ關シ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ郡吏員ニ臨時代理セシムルコトヲ得

第六十九條 郡會若ハ郡參事會ノ議決若ハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ法律命令ニ背クト認ムルトキハ郡長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ直ニ其ノ議決若ハ選舉ヲ取消シ又ハ議決ニ付テハ再議ニ付シタル上仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ之ヲ取消スヘシ

前項取消處分ニ不服アル郡會若ハ郡參事會ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ關シテハ府縣知事郡長ヨリモ亦訴願ヲ提起スルコトヲ得

郡會若ハ郡參事會ノ議決公益ニ害アリト認ムルトキハ郡長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ府縣知事ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ

前項府縣知事ノ處分ニ不服アル郡會若ハ郡參事會ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第七十條 郡會若ハ郡參事會ニ於テ郡ノ收支ニ關シ不適當ノ議決ヲ爲シタルトキハ郡長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ府縣知

事ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ但シ場合ニ依リ再議ニ付セスシテ直ニ府縣知事ノ指揮ヲ請フコトヲ得

前項府縣知事ノ處分ニ不服アル郡會若ハ郡參事會ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第七十一條 郡長ハ期日ヲ定メテ郡會ノ停會ヲ命スルコトヲ得

第七十二條 郡會若ハ郡參事會招集ニ應セス又ハ成立セサルトキハ郡長ハ府縣知事ニ具狀シテ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ得第四十二條第六十二條ノ場合ニ於テ會議ヲ開クコト能ハサルトキ亦同シ

郡會若ハ郡參事會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セス又ハ郡會ニ於テ其ノ招集前告示セラレタル事件ニ關シ議案ヲ議了セサルトキハ前項ノ例ニ依ル

郡參事會ノ決定若ハ裁決スヘキ事項ニ關シテハ本條第一項第二項ノ例ニ依ル此ノ場合ニ於ケル郡長ノ處分ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得

本條ノ處分ハ次ノ會期ニ於テ之ヲ郡長若ハ郡參事會ニ報告スヘシ

第七十三條 郡參事會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ郡長ニ於テ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ郡長ハ專決處分シ次ノ會期ニ於テ其ノ處分ヲ郡參事會ニ報告スヘシ

第七十四條 郡參事會ノ權限ニ屬スル事項ハ其ノ議決ニ依リ郡長ニ於テ專決處分スルコトヲ得

第七十五條 官吏ノ郡行政ニ關スル職務關係ハ此ノ法律中規定アルモノヲ除ク外國ノ行政ニ關スル其ノ職務關係ノ例ニ依ル

第七十六條 郡出納吏ハ出納事務ヲ掌ル

第七十七條 郡吏員ハ郡長ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

第七十八條 委員ハ郡長ノ指揮監督ヲ承ケ財產若ハ營造物ヲ管理シ其ノ他郡行政事務ノ一部ヲ調査シ又ハ一時ノ委託ニ依リ事務ヲ處辨ス

第七十九條 郡ノ事務ニ關スル處務規程ハ郡長之ヲ定ム

第三款 給料及給與

第八十條 有給郡吏員ノ給料額並旅費額及其ノ支給方法ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム

第八十一條 郡會議員名譽職參事會員其ノ他名譽職員ハ職務ノ爲要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

費用辨償額及其ノ支給方法ハ郡會ノ議決ヲ經府縣知事ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム若之ヲ許可スヘカラスト認ムルトキハ府縣知事之ヲ定ム

第八十二條 有給郡吏員ノ退職料退職給與金遺族扶助料及其ノ支給方法ハ郡會ノ議決ヲ經內務大臣ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム若シ許可スヘカラスト認ムルトキハ內務大臣之ヲ定ム

第八十三條 退職料退職給與金遺族扶助料及費用辨償ノ給與ニ關シ異議アルトキハ之ヲ郡長ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議ハ之ヲ郡參事會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ決定及裁決ニ關シテハ府縣知事郡長ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第八十四條 給料旅費退職料退職給與金遺族扶助料費用辨償其ノ他諸給與ハ郡ノ負擔トス

第五章 郡ノ財務 第一款 財產營造物及郡費

第八十五條 郡ハ積立金穀等ヲ設クルコトヲ得

第八十六條 郡ハ營造物若ハ公共ノ用ニ供シタル財産ノ使用ニ付使用料ヲ徵收シ又ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第八十七條 此ノ法律中別ニ規定アルモノヲ除ク外使用料手数料ニ關スル細則ハ郡會ノ議決ヲ經府縣知事ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム其ノ細則ニハ過料二圓以下ノ罰則ヲ設クルコトヲ得
過料ニ處シ及之ヲ徵收スルハ郡長之ヲ掌ル其ノ處分ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ關シテハ府縣知事郡長ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第八十八條 郡ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ寄附若ハ補助ヲ爲スコトヲ得

第八十九條 郡ハ其ノ必要ナル費用及法律勅令ニ依リ郡ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ
前項ノ負擔ハ財産ヨリ生スル收入及其ノ他ノ收入ヲ以テ充ツルモノ、外之ヲ郡内各町村ニ分賦スヘシ

第九十條 郡費分賦ノ割合ハ其ノ豫算ノ屬スル年度ノ前前年度ニ於ケル各町村ノ直接國稅府縣稅ノ徵收額ニ依ル但シ本條ノ分賦方法ニ依リ離キ事情アルトキハ郡長ハ郡會ノ議決ヲ經內務大臣ノ許可ヲ得テ特別ノ分賦方法ヲ設クルコトヲ得

第九十一條 郡内ノ一部ニ對シ特ニ利益アル事件ニ關シテハ內務大臣ノ定ムル所ニ依リ不均一ノ賦課ヲ爲スコトヲ得

第九十二條 郡ハ其ノ必要ニ依リ夫役及現品ヲ郡内一部ノ町村ニ賦課スルコトヲ得但シ學藝美術及手工ニ關スル勞役ヲ課スルコトヲ得ス

夫役及現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外金額ニ算出シテ賦課スヘシ

夫役又ハ現品ヲ賦課セラレタル町村ハ急迫ノ場合ヲ除ク外金額ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第九十三條 使用料手数料ノ徵收ニ關シ告知ヲ受ケタル者其ノ告知ニ違法若ハ錯誤アリト認ムルトキハ告知書ノ交付後三箇月以内ニ郡長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

郡費ノ分賦ニ關シ町村ニ於テ其ノ分賦ニ違法若ハ錯誤アリト認ムルトキハ其ノ告知ヲ受ケタル時ヨリ三箇月以内ニ郡長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ異議ハ之ヲ郡參事會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ決定及裁決ニ關シテハ府縣知事郡長町村吏員ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十四條 使用料手数料過料其ノ他郡ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘシ

本條ニ記載スル徵收金ハ府縣ノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ追徵還付及時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

本條第一項ノ場合ニ於テ町村吏員ノ處分ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ郡長ノ處分ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ關シテハ府縣知事郡長町村吏員ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得

本條第一項ノ處分ハ其ノ確定ニ至ルマテ執行ヲ停止ス
第九十五條 郡ハ其ノ負債ヲ償還スル爲又ハ郡ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ要スル爲又ハ天災事變等ノ爲必要アル場合ニ限リ郡會ノ議決ヲ經テ郡債ヲ起スコトヲ得

郡債ヲ起スニ付郡會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ヘシ

郡ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲本條ノ例ニ依ラス郡參事會ノ議決ヲ經テ一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得
第二款 歳入出豫算及決算

第九十六條 郡長ハ毎會計年度歳入出豫算ヲ調製シ年度開始前郡會ノ議決ヲ經ヘシ
郡ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ
豫算ヲ郡會ニ提出スルトキハ郡長ハ併セテ財産表ヲ提出スヘシ

第九十七條 郡長ハ郡會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加若ハ更正ヲ爲スコトヲ得

第九十八條 郡費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ郡會ノ議決ヲ經テ其ノ年期間各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第九十九條 豫算外ノ支出若ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クヘシ但シ郡會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第一百條 豫算ハ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ府縣知事ニ報告シ並其ノ要領ヲ告示スヘシ

第一百一條 郡長ハ郡會ノ議決ヲ經テ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第一百二條 決算ハ翌翌年ノ通常會ニ於テ之ヲ郡會ニ報告スヘシ

郡長ハ決算ヲ郡會ニ報告スル前郡參事會ノ審査ニ付スヘシ若郡長ト郡參事會ト意見ヲ異ニスルトキハ郡長ハ郡參事會ノ意見ヲ決算ニ添ヘ郡會ニ提出スヘシ
決算ハ之ヲ府縣知事ニ報告シ並其ノ要領ヲ告示スヘシ

第一百三條 豫算調製ノ式並費目流用其ノ他財務ニ關スル必要ナル規定ハ内務大臣之ヲ定ム

第一百四條 郡吏員ノ身元保證及賠償責任ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六章 郡組合

第一百五條 特定ノ事務ヲ共同處理セシムル必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル郡參事會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ郡組合ヲ設置スルコトヲ得郡組合ノ廢止若ハ變更ニ付テモ亦同シ

第一百六條 郡組合ヲ設置スルトキハ府縣知事ハ關係アル郡參事會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ郡組合會ノ組織事務ノ管理方法並其ノ費用ノ支辨方法其ノ他必要ナル事項ヲ定ムヘシ

第一百七條 郡組合ハ法人トス

郡組合ニ關シテハ本章中規定スルモノヲ除ク外此ノ法律ノ規定ヲ準用ス但シ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルモノハ此ノ限ニ在ラス

第七章 郡行政ノ監督

第一百八條 郡ノ行政ハ第一次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第二次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス

第一百九條 此ノ法律中別段ノ規定アル場合ヲ除ク外郡ノ行政ニ關スル府縣知事ノ處分ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

此ノ法律ニ規定スル異議若ハ訴願ハ處分ヲ爲シ又ハ決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル翌日ヨリ起算シ十四日以内ニ之ヲ提起スヘシ但シ此ノ法律中別ニ期限ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス
此ノ法律ニ規定スル行政訴訟ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル翌日ヨリ起算シ二十一日以内ニ之ヲ提起スヘシ

決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケサル者ニ關シテハ前二項ノ期間ハ告示ノ翌日ヨリ起算ス
行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

此ノ法律ニ規定スル異議ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ付スヘシ
前項異議ノ決定書ハ之ヲ申立人ニ交付スヘシ

此ノ法律ニ規定スル異議ノ申立若ハ訴願ノ提起ニ關スル期間ノ計算竝天災事變ノ場合ニ於ケル特例
ニ付テハ民事訴訟法ノ規定ヲ準用ス

異議ヲ申立テ又ハ訴願訴訟ヲ提起スル者アルトキハ行政廳及行政裁判所ハ其ノ職權ニ依リ又ハ關係
者ノ請求ニ依リ必要ト認ムル場合ニ限リ處分ノ執行ヲ停止スルコトヲ得

第一百十條 監督官廳ハ郡行政ノ法律命令ニ背戾セサルヤ又ハ公益ヲ害セサルヤ否ヲ監視スヘシ監督官
廳ハ之カ爲行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ書類帳簿ヲ徴シ竝實地ニ就キ事務ヲ視察シ出納ヲ檢閲
スルノ權ヲ有ス

監督官廳ハ郡行政ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲スノ權ヲ有ス

第一百十一條 監督官廳ハ郡ノ豫算中不適當ト認ムルモノアルトキハ之ヲ削減スルコトヲ得

第一百十二條 内務大臣ハ郡會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

郡會解散ノ場合ニ於テハ三箇月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ

解散後始メテ郡會ヲ招集スルトキハ郡長ハ第三十八條第二項ノ規定ニ拘ラス府縣知事ノ許可ヲ得テ
別ニ會期ヲ定ムルコトヲ得

第一百十三條 郡吏員ノ服務紀律ハ内務大臣之ヲ定ム

第一百十四條 左ニ掲クル事件ハ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

- 一 學藝美術又ハ歷史上貴重ナル物件ヲ處分シ若ハ大ナル變更ヲ爲ス事
- 二 使用料手數料ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事
- 第一百十五條 郡債ヲ起シ竝起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ若ハ之ヲ變更スルトキハ内務大
臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス但シ第九十五條末項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス
- 第一百十六條 左ニ掲クル事件ハ府縣知事ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス
 - 一 積立金穀等ノ設置及處分ニ關スル事
 - 二 寄附若ハ補助ヲ爲ス事
 - 三 不動産ノ處分ニ關スル事
 - 四 第九十二條ニ依リ夫役及現品ヲ賦課スル事但シ急迫ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス
 - 五 繼續費ヲ定メ若ハ變更スル事
 - 六 特別會計ヲ設クル事
- 第一百十七條 郡ノ行政ニ關シ監督官廳ノ許可ヲ要スヘキ事項ニ付テハ監督官廳ハ許可申請ノ趣旨ニ反
セスト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ許可ヲ與フルコトヲ得
- 第一百十八條 郡ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スヘキ事項中其ノ輕易ナルモノハ勅令ノ規定ニ依リ
其ノ職權ヲ府縣知事ニ委任スルコトヲ得
- 第一百十九條 府縣知事ハ郡吏員ニ對シ懲戒處分ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責二十五圓以下ノ過
怠金及解職トス
- 府縣知事ハ郡吏員ノ懲戒處分ヲ行ハントスル前其ノ吏員ノ停職ヲ命シ竝給料ヲ支給セサルコトヲ
得

懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間其ノ郡ノ公職ニ選舉セラレ若ハ任命セララルコトヲ得ス
第八章 附則

第二百十條 此ノ法律ハ明治二十三年法律第三十六號郡制ヲ施行シタル府縣ニハ明治三十二年七月一日ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ府縣ニ關スル施行ノ時期ハ府縣知事ノ具申ニ依リ内務大臣之ヲ定ム

第二百十一條 郡内總町村ニ屬スル事業並其ノ財産營造物ハ小學校ヲ除ク外此ノ法律施行ノ日ヨリ郡ニ移ルモノトス

第二百十二條 此ノ法律ノ規定ニ依リ府縣知事府縣參事會ノ職權ニ屬スル事件ニシテ數府縣ニ涉ルモノアルトキハ關係府縣知事ノ具狀ニ依リ内務大臣ニ於テ其ノ事件ヲ管理スヘキ府縣知事及府縣參事會ヲ指定スヘシ

第二百十三條 島嶼ニ關シテハ別ニ勅令ヲ以テ其ノ制ヲ定ムルコトヲ得
前項ノ島嶼ハ勅令ヲ以テ之ヲ指定ス

第二百十四條 明治二十三年法律第三十六號郡制ノ規定ニ依リ選舉セラレタル郡會議員郡參事會員ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ其ノ職ヲ失フ

本法發布後施行ノ日ニ至ルマテノ間ニ明治二十三年法律第三十六號郡制ヲ施行シタル府縣ニ於テハ郡會議員ノ改選ヲ要スルコトアルモ其ノ改選ヲ行ハス議員ハ本法施行ノ日マテ在任ス

第二百十五條 此ノ法律施行ノ際郡會及郡參事會ノ職務ニ屬スル事項ニシテ急施ヲ要スルモノハ其ノ成立ニ至ルマテノ間郡長之ヲ行フ

第二百十六條 此ノ法律ニ定ムル府縣參事會ノ職務ハ府縣制ヲ施行シ府縣參事會ノ成立ニ至ルマテノ間府縣知事之ヲ行フ

第二百十七條 此ノ法律ニ定ムル直接税ノ種類ハ内務大臣及大藏大臣之ヲ告示ス
第二百十八條 明治十一年第十七號布告郡區町村編制法其ノ他此ノ法律ニ牴觸スル法規ハ此ノ法律施行ノ地ニ於テハ其ノ效力ヲ失フ
第二百十九條 此ノ法律ヲ施行スル爲必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

○郡歳入歳出豫算調製式 明治二十四年四月十三日 (改正二四年省) 内務省令第二號

郡制第六十五條第三項ニ依リ郡歳入歳出豫算調製ノ式ヲ定メ並ニ費目流用ノ規定ヲ設ク

第一條 郡歳入歳出豫算ハ經常臨時ノ二部ニ大別シ各部中ニ於テ之ヲ款項ニ區分シ第一號ノ式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二條 歳入歳出豫算ニハ郡會參考ノ爲各項ヲ各目ニ區別シ各其豫算ノ基ク所ヲ詳記シタルモノヲ添付スヘシ

第三條 歳年繼續費郡制第六十六條第二項ノ年期及支出方法ハ第二號ノ式ニ依ルヘシ
夫役現品ヲ増課スル場合ニ在テハ第三號ノ式ニ依ルヘシ

第四條 歳入歳出中更ニ科目ヲ設クルコトヲ要スルトキ其款項ハ此書式ニ依準スルモノトス
第五條 各款ノ豫算金額ハ彼此流用スルヲ得サルモノトス(二四年省)
【各項目豫算金額ニシテ不得已流用ヲ要スルノ必要アルトキハ郡參事會ノ決議ヲ經テ之ヲ流用スルコトヲ得(同上)】

(第一號)

明治何年度某府縣某郡歲入歲出豫算書

歲入	
經常部	
第一款	財產收入 金
第一項	不動產收入 金
第二項	動產收入 金
第二款	雜收入 金
第一項	授業料 金
第二項	物品賣拂代 金
第三款	各町村分賦額 金
第一項	各町村分賦額 金
經常部合計金	
臨時部	
第一款	繰越金 金
第一項	前年度繰越金 金
第二款	府縣補助金 金
第一項	某費補助金 金
第二項	某費補助金 金
第三款	寄附金 金

第一項	某費寄附金 金
第二項	某費寄附金 金
第四款	財產賣拂代 金
第一項	公債證書賣拂代 金
第五款	郡債 金
第一項	郡債 金
臨時部合計金	
歲入總計金	

歲出	
經常部	
第一款	會議費 金
第一項	郡會議費 金
第二項	郡參事會諸費 金
第二款	郡吏員費 金
第一項	吏員費 金
第二項	委員費 金
第三款	土木費 金
第一項	道路橋梁費 金

郡歲入歲出豫算調製式

第二項	治水堤防費	金
第三項	港灣費	金
第四款	教育費	金
第一項	某學校費	金
第二項	衛生及病院費	金
第三項	衛生費	金
第四項	某病院費	金
第五項	救助費	金
第六項	養育費	金
第七款	勸業費	金
第一項	勸業會費	金
第二項	植物試驗費	金
第三項	財產費	金
第四項	維持費	金
第五項	管理費	金
第六項	豫備費	金
第七項	豫備費	金
經常部合計金		金

11210

臨時部		
第一款	土木費	金
第一項	道路橋梁費	金
第二項	某費本年度支出額	金
第三項	某費內某費本年度支出額	金
第二款	郡債費	金
第一項	元金償還	金
第二項	郡債利子	金
第三項	雜費	金
臨時部合計金		金

某府縣某郡長 氏名印

(第二號)
 自明治何何年度
 至同何何年度
 某府縣某郡某費繼續年期及支出方法
 一金
 內譯
 某費中
 某費

明治何何年度支出額
 同何何年度支出額

郡歲入歲出豫算製式

右云々(議決ヲ要スヘキ事業ノ大要ヲ記載ス)

明治何年何月何日提出

某府縣某郡長 氏名印

(第三號)

明治何年度某府縣某郡夫役現品増課方法

一 土木費中某費夫役

若干人

此見積金

内譯

若干人

某町

此見積金

若干人

某村

此見積金

一同現品

若干

此見積金

内譯

若干

某村

此見積金

若干

某村

此見積金

明治何年何月何日提出

某府縣某郡長 氏名印

○郡會議員選舉ニ關スル件

明治三十二年五月二十日
内務省令第二十號

本年法律第六十五號郡制第十二條第四項ニ依リ郡會議員選舉ニ關スル件左ノ通定ム

第一條 郡制第十二條第四項ニ依リ選舉分會ヲ設クルコトヲ要スルトキハ郡長之ヲ定ム

第二條 選舉分會ハ郡制第十條ニ依リ選舉ヲ管理スル町村長ノ指命シタル町村長其ノ他町村吏員之ヲ管理ス

選舉分會ニ於ケル選舉立會人及投票ノ拒否ニ關シテハ郡制第十三條及第十七條ノ規定ヲ準用ス

第三條 選舉分會ノ管理者ハ選舉錄ヲ製シテ投票ノ顛末ヲ記載シ投票ヲ終リタル後選舉立會人二名以上ト共ニ之ニ署名スヘシ

第四條 前條ノ手續ヲ終リタルトキハ選舉分會ノ管理者ハ其ノ指定シタル選舉立會人ト共ニ直ニ投票函及選舉錄ヲ選舉本會ニ送致スヘシ

第五條 選舉本會ニ於テハ選舉分會ノ投票函ノ總テ到達スルニ非サレハ投票ノ點檢ヲ爲スコトヲ得ス

第六條 島嶼其ノ他交通不便ノ地ニ於ケル選舉分會ニ付テハ郡長ハ適宜ニ其ノ選舉期日ヲ定メ選舉本會ノ期日マテニ其ノ投票函ヲ送致セシムルコトヲ得

第七條 本令ニ規定スルモノノ外必要ナル事項ハ府縣知事之ヲ定ム

○郡費分賦ノ件ニ關スル法

明治三十五年四月四日
法律第四十號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル郡費分賦ノ件ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
郡制第九十條ニ依リ郡費分賦ノ割合ヲ定ムルニ當リ當該年度ノ直接國稅府縣稅ノ徵收額前前年度ニ比シ四分ノ一以上ヲ増減スヘキ事故ヲ生シタル町村アルトキハ其ノ増減額ヲ加除シタル額ヲ以テ割合ヲ定ムヘシ

○水利組合法 明治四十一年四月十一日 法律第五十號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル水利組合法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

水利組合法

第一章 總則

- 第一條 水利土功ニ關スル事業ニシテ特別ノ事情ニ依リ府縣其ノ他ノ地方公共團體ノ事業ト爲スコトヲ得サルモノアル場合ニ於テハ水利組合ヲ設置スルコトヲ得
- 第二條 水利組合ハ法人トス
- 第三條 水利組合ハ組合規約ヲ設ケ組合ニ關スル重要ノ事項ヲ規定スヘシ
- 第四條 水利組合ハ分チテ左ノ二種トス
 - 一 普通水利組合

二 水害豫防組合

- 第五條 普通水利組合ハ灌溉排水ニ關スル事業ノ爲設置スルモノトス
 - 第六條 普通水利組合ハ組合事業ノ爲利益ヲ受クル土地ヲ以テ區域トシ其ノ區域内ニ於テ土地ヲ所有スル者ヲ以テ組合員トス但シ舊慣アルモノハ其ノ舊慣ニ依リ區域ヲ畫スルコトヲ得
 - 第七條 水害豫防組合ハ水害防禦ニ關スル事業ノ爲設置スルモノトス
 - 第八條 水害豫防組合ハ水害ヲ受クヘキ土地ヲ以テ區域トシ其ノ區域内ニ於テ土地、家屋及組合規約ニ指定スル工作物ヲ所有スル者ヲ以テ組合員トス但シ舊慣アルモノハ其ノ舊慣ニ依リ區域ヲ畫スルコトヲ得
 - 第九條 水害豫防組合ニ於テ其ノ區域全部ニ涉リ灌溉排水ニ關スル事業ノ必要アルトキハ組合會ノ議決ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ得テ其ノ事業ヲ兼營スルコトヲ得
 - 前項ノ場合ニ於テ灌溉排水ノ事業ニ關スル部分ニ付テハ普通水利組合ノ規定ヲ準用ス
- 第二章 組合ノ設置及廢止
- 第十條 水利組合ヲ設置セムトスルトキハ府縣知事ニ於テ組合區域ヲ指定シ關係地ノ郡長市町村長ノ内一人又ハ數人ニ創立委員ヲ命スヘシ但シ普通水利組合ノ設置ニ付テハ組合員タルヘキ者五人以上ノ申請又ハ組合事業ニ關係アル郡長又ハ市町村長ノ具申アル場合ニ限ル
 - 第三十三條第三項ノ規定ハ創立委員ニ之ヲ準用ス
 - 第十一條 創立委員ハ組合規約案ヲ調製シ關係者ノ總會議ニ付スヘシ關係者百人以上アルトキハ府縣知事ノ許可ヲ得テ便宜總代人ヲ選ハシメ其ノ集會ヲ以テ總會議ニ充ツルコトヲ得
 - 總會議又ハ總代人會ノ議長ハ創立委員ヲ以テ之ニ充ツ創立委員數人アルトキハ府縣知事其ノ中一人

ヲ指定ス
總會議又ハ總代人會ハ關係者又ハ總代人ノ三分ノ二以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス
但シ特別ノ事情アルトキハ創立委員ハ府縣知事ノ定ムル所ニ依リ關係者又ハ總代人ノ代人ヲ許スコ
トヲ得

總會議又ハ總代人會ノ議事ハ過半数ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル
總會議費又ハ總代人會費其ノ他創立ニ關スル費用ハ組合設置ノ後組合費ヨリ之ヲ支辨スヘシ

第十二條 創立委員ハ組合規約ノ議決ヲ經タルトキ府縣知事ニ其ノ許可ヲ請フヘシ
第十三條 普通水利組合關係者ノ總會議又ハ總代人會ニ於テ議決シタル組合規約又ハ其ノ議決ノ方法
法令ニ背キ又ハ公益ニ害アリト認ムルトキハ府縣知事ハ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ
改メサルトキハ内務大臣ノ指揮ヲ請フヘシ

水害豫防組合關係者ノ總會議若ハ總代人會成立セヌ又ハ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セヌ又ハ議決ス
ルモ其ノ議決公益ニ害アリト認ムルトキハ府縣知事ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ
得

第十四條 水利組合ハ組合規約ノ許可又ハ前條第二項ニ依ル組合規約ノ設定ニ依リ成立ス
前項ノ場合ニ於テハ府縣知事ハ組合設置ノ旨ヲ告示スヘシ

第十五條 水利組合ノ廢置分合又ハ區域ノ變更ハ普通水利組合ニ在リテハ組合會ノ議決又ハ協議ニ依
リ府縣知事ノ許可ヲ得テ之ヲ行ヒ水害豫防組合ニ在リテハ組合會ノ意見ヲ徵シ府縣知事之ヲ行フ
前項ノ場合ニ於テ組合規約ノ設定若ハ改正又ハ財産處分ヲ要スルトキハ組合會ノ議決又ハ協議ニ依
リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ但シ水害豫防組合ニ於テ協議調ハサルトキハ府縣知事之ヲ定ム

水利組合ハ民法上ノ義務ヲ完了スルニ非サレハ之ヲ廢止スルコトヲ得ス

普通水利組合ノ區域ヲ變更スル場合ニ於テ新ニ組合區域ニ編入セラルル土地アルトキハ管理者ハ其
ノ土地ノ關係者ノ同意又ハ關係者ノ總會議若ハ總代人會ノ同意ヲ得ルヲ要ス

前項總會議又ハ總代人會ニ關シテハ第十一條ノ規定ヲ準用ス但シ創立委員ノ職務ハ管理者之ヲ行フ
第十六條 水利組合ノ廢置分合又ハ區域ノ變更アリタルトキハ府縣知事ハ之ヲ告示スヘシ

第三章 組合ノ會議

第十七條 水利組合ニ組合會ヲ置ク

第十八條 組合會議員ハ其ノ被選舉權アル者ニ就キ選舉人之ヲ選舉ス

組合會議員選舉人被選舉人ノ資格議員ノ定數任期及選舉ニ關スル事項ハ組合規約ヲ以テ之ヲ定ムヘ
シ

組合會議員ノ選舉ヲ終リタルトキハ管理者ハ直ニ選舉錄ノ謄本ヲ添ヘ之ヲ第一次監督官廳ニ報告ス
ヘシ

當選者定リタルトキハ管理者ハ直ニ其ノ住所氏名ヲ告示シ併セテ之ヲ第一次監督官廳ニ報告スヘシ
組合會議員ノ選舉ニ付テハ衆議院議員選舉ニ關スル罰則ヲ準用ス

第十九條 選舉ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞アル場合ニ限り其ノ
選舉ノ全部又ハ一部ヲ無効トス

當選者ニシテ被選舉權ヲ有セサルトキハ其ノ當選ヲ無効トス

第二十條 選舉人選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテハ選舉ノ日ヨリ當選ニ關シ
テハ告示ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ管理者ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ管理者ハ十四日以内

ニ組合會ノ決定ニ付スヘシ組合會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スヘシ
前項組合會ノ決定ニ不服アル者ハ第一次監督官廳ニ訴願スルコトヲ得
第一次監督官廳ニ於テ選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉又ハ當選ノ報告ヲ受ケタル日
ヨリ二十日以内ニ之ヲ處分スルコトヲ得

前項ノ處分アリタルトキハ其ノ前後ニ爲シタル異議ノ申立及組合會ノ決定ハ無効トス
本條第一次監督官廳ノ處分又ハ裁決ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政
裁判所ニ出訴スルコトヲ得但シ府縣知事カ第一次監督官廳タル場合ニ於テ其ノ處分又ハ裁決ニ不服
アル者ハ直ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
組合會議員ハ選舉又ハ當選ニ關スル異議ノ決定訴願ノ裁決確定シ又ハ判決アル迄ハ會議ニ列席シ議
事ニ參與スルノ權ヲ失ハス

第二十一條 組合會議員ニシテ被選舉權ヲ有セサル者ハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選舉權ニ關スル異議ハ組
合會之ヲ決定ス

管理者ニ於テ組合會議員中被選舉權ヲ有セサル者アリト認ムルトキハ之ヲ組合會ノ決定ニ付スヘシ
本條組合會ノ決定ニ不服アル者ハ第一次監督官廳ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願
シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得但シ府縣知事カ第一次監督官廳タル場合
ニ於テ其ノ裁決ニ不服アル者ハ直ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十條第六項ノ規定ハ本條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十二條 前二條ニ規定スル異議ノ決定訴願ノ裁決及第二十條第三項ノ處分ハ直ニ之ヲ告示スヘシ
第二十三條 組合會ハ組合ニ關スル事件ヲ議決ス

- 組合會ノ議決スヘキ事件ノ概目左ノ如シ
- 一 組合規約ヲ設定改正スル事
- 二 組合費ヲ以テ支辨スヘキ事業
- 三 歳入出豫算ヲ定ムル事
- 四 決算報告ヲ認定スル事
- 五 法律勅令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料手数料加入金組合費及夫役現品ノ賦課徴收ニ關スル事
- 六 不動産ノ管理處分及取得ニ關スル事
- 七 積立基金ノ設置管理及處分ニ關スル事
- 八 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲ス事
- 九 財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事
- 十 組合吏員ノ身元保證ニ關スル事
- 十一 組合ニ係ル訴願訴訟及和解ニ關スル事
- 第二十四條 組合會ハ組合ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閲シ管理者ノ報告ヲ請求シテ事務ノ管理
議決ノ執行及出納ヲ検査スルコトヲ得
- 組合會ハ議員中ヨリ委員ヲ選舉シ管理者又ハ其ノ指定シタル吏員立會ノ上實地ニ就キ前項組合會ノ
權限ニ屬スル事件ヲ行ハシムルコトヲ得
- 第二十五條 組合會ハ管理者ヲ以テ議長トシ管理者故障アルトキハ其ノ代理者議長ノ職務ヲ代理ス管
理者及其ノ代理者共ニ故障アルトキハ臨時ニ議員中ヨリ假議長ヲ選舉スヘシ
- 組合會ハ組合ノ區域數市町村ニ涉ルモノニ在リテハ組合規約ヲ以テ議員中ヨリ議長副議長各一人ヲ

選舉スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ議長故障アルトキハ副議長之ニ代リ議長副議長共ニ故障アルトキハ前項ノ例ニ依ル

前項選舉ニ關スル事項ハ組合規約ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

議員中ヨリ議長ヲ選舉スル組合ニ在リテハ議長ハ會議録ヲ添ヘ會議ノ結果ヲ管理者ニ報告スヘシ

第二十六條

管理者及其ノ委任又ハ囑託ヲ受ケタル者ハ會議ニ於テ議事ニ付辯明ヲ爲スコトヲ得

第二十七條

組合會ハ毎年一回通常會ヲ開キ其ノ他臨時ノ必要アル毎ニ臨時會ヲ開ク

臨時會ニ付スヘキ事件ハ招集ノ告知ト共ニ之ヲ告知スヘシ但シ其ノ開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ管理者ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得

組合會ハ管理者之ヲ招集ス議員定數三分ノ一以上ノ請求アルトキハ管理者ハ之ヲ招集スヘシ

管理者ハ必要アル場合ニ於テハ會期ヲ定メテ組合會ヲ招集スルコトヲ得

組合會ノ會議ハ公開ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 管理者ヨリ傍聴禁止ノ要求ヲ受ケタルトキ

二 議長ニ於テ傍聴禁止ノ必要アリト認メタルトキ

三 議員三人以上ノ發議ニ依リ傍聴禁止ヲ可決シタルトキ

前項第三號ニ依ル發議ハ討論ヲ用キス其ノ可否ヲ決スヘシ

招集ハ開會ノ日ヨリ少クトモ三日前ニ告知スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

組合會ハ管理者之ヲ開閉ス

第二十八條

組合會ハ議員定數ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ同一ノ事件ニ付招集再回ニ至ルモ仍半數ニ滿タサルトキ又ハ招集ニ應スルモ出席議員定數ヲ闕キ議長ニ於テ更

ニ出席ヲ催告シ仍半數ニ滿タサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條

組合會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第三十條

組合規約ノ設定改正及普通水利組合ノ廢置分合又ハ區域ノ變更ニ關スル議決ハ議員定數ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第三十一條

組合會ノ職務權限及處務規程ニ關シテハ本章中規定スルモノノ外市制町村制ノ規定ヲ準用ス

第三十二條

特別ノ事情アル組合ニ於テハ府縣知事ハ組合會ヲ設ケス組合員ノ總會ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得但シ總會ニ出席スヘキ組合員ニ關シテハ組合規約ノ定ムル所ニ依ル

第四章

組合ノ管理

第三十三條

府縣知事ハ水利組合關係地ノ郡長又ハ市町村長ノ内一人ヲ指定シ其ノ組合ノ事務ヲ管理セシムヘシ

府縣知事ニ於テ管理者ヲ指定シタルトキハ直ニ之ヲ告示スヘシ

管理者タル郡長又ハ市町村長故障アルトキハ其ノ代理者之ヲ代理ス

組合ノ區域數市町村ニ涉ル場合ニ於テ選舉區又ハ選舉分會ヲ設ケタルトキハ各市町村長又ハ其ノ代理者ハ管理者ノ求ニ依リ議員選舉ニ關スル事務ヲ管理スヘシ組合員及組合費賦課物件ノ異動ニ關スル事務ニ付テモ亦同シ

第三十四條

組合ノ出納其ノ他會計事務ハ郡長管理者タル場合ハ郡長ノ指定シタル郡書記ヲシテ之ヲ掌ラシメ市町村長管理者タル場合ハ其ノ市町村收入役ヲシテ之ヲ掌ラシムヘシ

特別ノ事情アル場合ニ於テハ管理者ニ於テ第三十六條ノ吏員中ニ就キ會計事務ヲ掌ル者ヲ定ムルコトヲ得

前項會計事務ヲ掌ル吏員ニ付テハ第一次監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第三十五條 組合ハ組合規約ヲ以テ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得

委員ノ組織選任任期等ニ關スル事項ハ組合規約ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第三十六條 組合ハ書記技術員其ノ他ノ有給吏員ヲ置クコトヲ得

吏員ハ管理者之ヲ任免ス

第三十七條 管理者ハ組合ヲ代表シ組合一切ノ事務ヲ擔任ス

管理者ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

一 組合會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニ付其ノ議案ヲ發シ及其ノ議決ヲ執行スル事

二 財産及營造物ヲ管理スル事

三 收入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スル事

四 證書及公文書類ヲ保管スル事

五 法令又ハ組合會ノ議決ニ依リ使用料手数料加入金組合費及夫役現品ヲ賦課徵收スル事

第三十八條 管理者ハ組合吏員ヲ指揮監督シ其ノ任命ニ係ル組合吏員ニ對シテハ懲戒ヲ行フコトヲ得

其ノ懲戒處分ハ譴責及五圓以下ノ過怠金トス

第三十九條 組合會ノ議決若ハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ組合規約ニ背クト認ムルトキハ管理

者ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シ其ノ執行ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ執

行ヲ停止シ之ヲ再議ニ付シ又ハ再選舉ヲ行ハシメ仍議決ニ付テハ其ノ議決ヲ改メサルトキハ第一次

監督官廳ノ指揮ヲ請フヘシ但シ場合ニ依リ再議ニ付セスシテ直ニ指揮ヲ請フコトヲ得

監督官廳ハ前項ノ議決又ハ選舉ヲ取消スコトヲ得但シ指揮ノ申請アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前二項郡長ノ處分ニ不服アル組合會ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決又ハ前二項府縣知事ノ處分ニ不服

アル組合會ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

組合會ノ議決公益ヲ害シ又ハ組合ノ收支ニ關シ不適當ナリト認ムルトキハ管理者ハ其ノ意見ニ依リ

又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シ其ノ執行ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ執行ヲ停止シ之ヲ再議

ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ第一次監督官廳ノ指揮ヲ請フヘシ但シ場合ニ依リ再議ニ付セス

シテ直ニ指揮ヲ請フコトヲ得

前項第一次監督官廳ノ處分ニ不服アル組合會ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ内務大

臣ニ訴願スルコトヲ得但シ府縣知事カ第一次監督官廳タル場合ニ於テ其ノ裁決ニ不服アルトキハ直

ニ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第四十條 組合會成立セス又ハ第二十八條但書ノ場合ニ於テ仍會議ヲ開クコト能ハサルトキハ管理者

ハ第一次監督官廳ニ具狀シテ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ得

組合會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セサルトキハ前項ノ例ニ依ル

組合會ノ決定スヘキ事件ニ關シテハ前二項ノ例ニ依ル此ノ場合ニ於ケル管理者ノ處分ニ關シテハ各

本條ノ規定ニ準シ訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得

本條ノ處分ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ組合會ニ報告スヘシ

第四十一條 組合會ノ權限ニ屬スル事件ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ組合會成立セス又ハ管理

者ニ於テ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ管理者ハ專決處分シ次回ノ會議ニ於テ之ヲ組合會ニ

報告スヘシ

前項管理者ノ處分ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得
第四十二條 委員ハ管理者ノ指揮監督ヲ承ケ財産又ハ營造物ヲ管理シ其ノ他組合事務ノ一部ヲ調査シ又ハ一時ノ委託ニ依リ事務ヲ處辨ス

第四十三條 吏員ハ管理者ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第四十四條 組合會議員及委員ハ職務ノ爲要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得郡長又ハ市町村長ニ於テ管理者タル職務ヲ行フ爲要スル費用第三十三條第四項ノ事務ヲ行フ爲要スル費用及郡書記又ハ市町村收入役ニ於テ組合ノ會計事務ヲ行フ爲要スル費用ニ付亦同シ

吏員ニハ退隱料退職給與金死亡給與金及遺族扶助料ヲ支給スルコトヲ得

第四十五條 費用辨償額給料額旅費額及其ノ支給方法ハ組合會ノ議決ヲ經第一次監督官廳ノ許可ヲ得テ之ヲ定ム

退隱料退職給與金死亡給與金遺族扶助料及其ノ支給方法ハ組合會ノ議決ヲ經內務大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ定ム

第四十六條 費用辨償給料旅費退隱料退職給與金死亡給與金及遺族扶助料ハ組合ノ負擔トス

第五章 組合ノ財務

第四十七條 組合ハ其ノ必要ナル費用及法律勅令ニ依リ組合ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ
第四十八條 普通水利組合費ハ土地ニ對シテ之ヲ賦課シ水害豫防組合費ハ土地及家屋其ノ他第八條ニ依ル工作物ニ對シテ之ヲ賦課スルモノトス但シ特別ノ事情アルモノハ土地ニ對シテノミ之ヲ賦課スルコトヲ得

普通水利組合ニ於テハ新ニ區域内ニ編入スル土地ニ付組合費ノ外一時ノ加入金ヲ徵收スルコトヲ得
第四十九條 組合ハ其ノ事業ノ爲夫役現品ヲ組合員ニ賦課スルコトヲ得

水害豫防組合ニ在リテハ夫役ニ限リ其ノ區域内ノ總居住者ニ之ヲ賦課スルコトヲ得
夫役現品及其ノ代納ニ關スル規定ハ組合規約ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第五十條 非常災害ノ爲必要アルトキハ組合ハ他人ノ土地ヲ一時使用シ又ハ其ノ土石竹木其ノ他ノ現品ヲ使用シ若ハ收用スルコトヲ得但シ其ノ損失ヲ補償スルコトヲ要ス

水害豫防組合ニ於テハ前項ノ外出水ノ爲危險アルトキニ限リ管理者警察官又ハ監督官廳ニ於テ組合區域内ノ總居住者ヲシテ防禦ニ從事セシムルコトヲ得

第一項ニ依リ補償スヘキ金額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ府縣知事之ヲ決定ス其ノ決定ニ不服アル者ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第一項土地ノ一時使用ニ關スル組合ノ處分ニ不服アル者ハ第一次監督官廳ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得但シ府縣知事ハ第一次監督官廳タル場合ニ於テ其ノ裁決ニ不服アル者ハ直ニ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第五十一條 組合内ノ一部ニ對シテ利益アル事件ニ關シテハ組合ハ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ組合内ノ一部ニ對シテ賦課スルコトヲ得

舊慣アルモノハ組合規約ヲ以テ特別ノ賦課方法ヲ定ムルコトヲ得

第五十二條 組合費ノ賦課ヲ免除スヘキモノニ關シテハ市町村税ノ例ニ依ル

第五十三條 組合ハ其ノ營造物ヲ事業ノ妨害ト爲ラサル範圍内ニ於テ他ノ目的ニ使用セシムルコトヲ得
前項ノ使用ニ付テハ使用料ヲ徵收スルコトヲ得

第五十四條 組合ノ區域數市町村ニ涉ルトキハ各市町村ハ管理者ノ求ニ依リ其ノ市町村内ニ於ケル組合費其ノ他組合ノ收入ノ賦課徴收ヲ爲スヘシ
 前項組合費其ノ他組合ノ收入ノ徴收ニ關シテハ組合規約ノ規定ニ依リ徴收金百分ノ四以内ヲ其ノ市町村ニ交付スルコトヲ得

第五十五條 市町村ハ避クヘカラサル災害ニ因リ既收ノ組合費其ノ他組合ノ收入ヲ失ヒタルトキハ其ノ納入義務ノ免除ヲ組合ニ請求スルコトヲ得
 組合ニ於テ前項ノ請求ニ應セサルトキハ市町村ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ組合ノ第一次監督官廳ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得但シ府縣知事カ第一次監督官廳タル場合ニ於テ其ノ裁決ニ不服アルトキハ直ニ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ對シテハ組合ヨリモ亦訴願ヲ提起スルコトヲ得
 本條ノ裁決書ハ之ヲ市町村及組合ニ交付スヘシ

第五十六條 組合費其ノ他組合ノ收入ノ督促及滯納處分ニ關シテハ市町村税ノ例ニ依ル
 前項ノ場合ニ關シテハ第五十四條第一項ノ規定ヲ準用ス

第五十七條 組合費其ノ他組合ノ收入ノ督促ニ付テハ手数料ヲ徴收スルコトヲ得
 前條第二項ノ場合ニ於テハ前項ノ督促手数料ヲ其ノ市町村ニ交付スヘシ組合ノ徴收金ハ市町村ノ徴

收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ追徴還付及時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル
 第五十八條 管理者ハ組合費ノ賦課ヲ受ケタル者ノ中特別ノ事情アル者ニ對シ會計年度内ニ限リ其ノ納付ノ延期ヲ許スコトヲ得其ノ年度ヲ越ユル場合ハ組合會ノ議決ヲ經ヘシ

管理者ハ特別ノ事情アル者ニ限リ組合會ノ議決ヲ經テ組合費ヲ減免スルコトヲ得

第五十九條 組合費及夫役現品ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ賦課ニ付違法又ハ錯誤アリト認ムルトキハ賦課令狀ノ交付後三月以内ニ管理者ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

加入金使用料及手数料ノ徴收ニ付テモ亦前項ノ例ニ依ル

本條ノ異議ハ組合會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル者ハ第一次監督官廳ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得但シ府縣知事カ第一次監督官廳タル場合ニ於テ其ノ裁決ニ不服アル者ハ直ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

組合費其ノ他組合ノ收入ノ滯納處分ニ不服アル者ハ第一次監督官廳ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得但シ府縣知事カ第一次監督官廳タル場合ニ於テ其ノ裁決ニ不服アル者ハ直ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第六十條 組合ハ特定ノ目的ノ爲積立基金ヲ設クルコトヲ得

第六十一條 組合ハ其ノ事業ノ關係上必要アル場合ニ於テハ寄附又ハ補助ヲ爲スコトヲ得

第六十二條 組合ハ其ノ負債ヲ償還スル爲又ハ組合永久ノ利益トナルヘキ支出ヲ要スル爲又ハ天災事變等ノ爲已ムヲ得サル場合ニ限リ組合債ヲ起スコトヲ得

組合債ヲ起スニ付組合會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ヘシ

組合ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲本條ノ例ニ依ラス一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得
 前項ノ借入金ハ其ノ會計年度内ノ收入ヲ以テ償還スヘシ

第六十三條 管理者ハ毎會計年度ノ歲入出豫算ヲ調製シ會計年度前通常組合會ノ議決ニ付スヘシ
管理者ハ組合會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得

組合ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

第六十四條 組合費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ組合會ノ議決ヲ經テ其ノ年期间各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得
第六十五條 豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クヘシ
豫備費ハ組合會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第六十六條 豫算ハ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ第一次監督官廳ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スヘシ

第六十七條 組合會ニ於テ豫算ヲ議決シタルトキハ管理者ヨリ其ノ謄本ヲ組合ノ會計事務ヲ掌ル官吏吏員ニ交付スヘシ

會計事務ヲ掌ル官吏吏員ハ管理者又ハ監督官廳ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス又命令ヲ受クルモ支出ノ豫算ナキトキ又ハ豫備費支出及費目流用其ノ他財務ニ關スル規定ニ依ラサルトキ亦同シ

第六十八條 組合ノ支拂金ニ關スル時効ニ付テハ政府ノ支拂金ノ例ニ依ル

第六十九條 組合ノ出納ハ翌年度六月三十日ヲ以テ閉鎖ス

決算ハ出納閉鎖後一月以内ニ證書類ヲ併セテ會計事務ヲ掌ル官吏吏員ヨリ之ヲ管理者ニ提出スヘシ
管理者ハ之ヲ審査シ意見ヲ付シテ次ノ通常會迄ニ組合會ノ認定ニ付スヘシ
決算及其ノ認定ニ關スル組合會ノ議決ハ之ヲ第一次監督官廳ニ報告シ且決算ハ其ノ要領ヲ告示スヘシ

決算ノ認定ニ關スル會議ニ於テハ管理者及其ノ代理者共ニ議長タルコトヲ得ス

第七十條 豫算調製ノ式及費目流用其ノ他財務ニ關シ必要ナル規定ハ内務大臣之ヲ定ム

第六章 組合ノ聯合

第七十一條 水利組合ニ於テ共同事業ヲ爲スノ必要アルトキハ其ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ得テ

水利組合ノ聯合ヲ設クルコトヲ得

水利組合聯合ハ之ヲ法人トス

水利組合聯合ニシテ其ノ聯合組合ノ數ヲ増減シ又ハ共同事業ノ變更ヲ爲サムトスルトキハ組合ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ其ノ聯合ヲ解カムトスルトキ亦同シ

水利組合聯合ニ關シテハ水利組合ニ關スル規定ヲ準用ス其ノ準用シ難キ事項及特ニ必要ナル事項ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム

第七章 組合ノ監督

第七十二條 組合ハ第一次ニ於テ郡長之ヲ監督シ第二次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第三次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス但シ組合ノ區域郡市若ハ數郡ニ涉リ又ハ市内ニ止ル場合及郡内ニ止ルモ郡長管理者タル場合ハ第一次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第二次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス

監督官廳ハ組合事務ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲スコトヲ得

上級監督官廳ハ下級監督官廳ノ組合事務ニ關シテ爲シタル命令又ハ處分ヲ停止シ又ハ之ヲ取消スコトヲ得

第七十三條 本法ニ規定スル異議ノ申立又ハ訴願ノ提起ハ處分ヲ爲シ又ハ決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ其ノ交付ヲ受ケサル者ハ告示ノ日ヨリ十四日以内ニ之ヲ爲スヘシ但シ本法中別ニ期

間ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス
本法ニ規定スル行政訴訟ハ處分ヲ爲シ又ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ其ノ交付ヲ受ケサル者ハ告示ノ日ヨリ二十一日以内ニ之ヲ提起スヘシ

本法ニ規定スル異議ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ理由ヲ付シ之ヲ申立人ニ交付スヘシ
本法ニ規定スル異議ノ申立ニ關スル期間ノ計算ニ付テハ訴願法ノ規定ニ依ル
異議ノ申立アルモ處分ノ執行ハ之ヲ停止セス但シ行政廳ハ其ノ職權ニ依リ又ハ關係者ノ請求ニ依リ必要ト認ムルトキハ之ヲ停止スルコトヲ得

第七十四條 監督官廳ハ必要アル場合ニ於テハ期間ヲ定メテ組合會ノ停會ヲ命スルコトヲ得
第七十五條 內務大臣ハ組合會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

組合會解散ノ場合ニ於テハ三月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ
第七十六條 組合ニ於テ法律勅令ニ依テ負擔シ又ハ當該官廳ノ職權ニ依テ命スル所ノ費用ヲ豫算ニ載セサルトキハ第一次監督官廳ハ理由ヲ示シテ其ノ費用ヲ豫算ニ加フルコトヲ得

組合又ハ管理者其ノ他ノ官吏吏員ニ於テ執行スヘキ事件ヲ執行セサルトキハ第一次監督官廳ニ於テ之ヲ執行スルコトヲ得但シ其ノ費用ハ組合ノ負擔トス
本條ノ處分ニ不服アル組合又ハ管理者其ノ他ノ官吏吏員ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得但シ府縣知事カ第一次監督官廳タル場合ニ於テ其ノ處分又ハ裁決ニ不服アルトキハ直ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第七十七條 組合ニ於テ負債ヲ起シ並起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ變更セムトスルトキハ內務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クヘシ但シ第六十二條第三項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス

第七十八條 左ニ掲クル事件ハ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

- 一 組合規約ヲ設定改正スル事
 - 二 不動産ノ管理及處分ニ關スル事
 - 三 不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ組合内ノ一部ニ對シ特ニ賦課ヲ爲ス事
 - 四 加入金使用料手数料ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事
 - 五 積立基金ノ設置管理及處分ニ關スル事
 - 六 寄附及補助ヲ爲ス事
 - 七 繼續費ヲ定メ又ハ變更スル事
- 第七十九條 組合ノ事務ニ關シ監督官廳ノ許可ヲ受クヘキ事件ニ付テハ監督官廳ハ許可申請ノ趣旨ニ反セスト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ許可ヲ與フルコトヲ得
- 第八十條 組合ノ事務ニ關シ監督官廳ノ許可ヲ受クヘキ事件中其ノ輕易ナルモノハ命令ノ規定ニ依リ其ノ許可ノ職權ヲ下級監督官廳ニ委任スルコトヲ得
- 第八十一條 監督官廳タル府縣知事郡長ハ第三十五條ノ委員及第三十六條ノ吏員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責二十五圓以下ノ過怠金及解職トス
- 郡長ノ行ヒタル解職ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決又ハ府縣知事ノ行ヒタル解職ニ不服アル者ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得
- 府縣知事ハ吏員ノ解職ヲ行ハムトスル前其ノ停職ヲ命シ且場合ニ依リ給料又ハ報酬ヲ支給セシメサルコトヲ得
- 懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間水利組合ノ公職ニ選舉セラレ又ハ任命セララルコトヲ得ス

第八十二條 組合吏員ノ服務紀律賠償責任身元保證及事務引繼ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第八章 雜則

第八十三條 本法ノ規定ニ依リ初テ議員ヲ選舉スル場合ニ於テ組合會ノ議決スヘキ事項ハ其ノ成立ニ至ル迄管理者ニ於テ之ヲ行フヘシ

第八十四條 本法ノ規定ニ依リ府縣知事ノ職權ニ屬スル事件ニシテ數府縣ニ涉ルモノアルトキハ關係府縣知事ノ具狀ニ依リ内務大臣ニ於テ其ノ事件ヲ管理スヘキ府縣知事ヲ指定スヘシ

第八十五條 本法ハ市制町村制ヲ施行セサル地ニハ之ヲ施行セス勅令ヲ以テ別ニ其ノ制ヲ定ム
附則

第八十六條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(四二年勅令第一九〇號ヲ以テ)
水利組合條例ハ之ヲ廢止ス

第八十七條 本法施行ノ際現ニ存スル水利組合ハ本法ニ依リ設置シタルモノト看做ス

第八十八條 水利組合條例ニ依リ爲シタル諸般ノ行爲ハ仍其ノ效力ヲ有ス

第八十九條 水利組合條例ニ依リ爲シタル處分ニ對スル異議訴願又ハ訴訟ニ關シテハ水利組合條例ニ依ル

第九十條 本法施行ノ際現ニ存スル舊町村會又ハ水利土功會ニシテ其ノ目的トスル事業カ本法ノ規定ニ抵觸セサルトキハ之ヲ本法ノ規定ニ依リ設置シタル水利組合ト看做ス

前項ノ場合ニ於テ從來ノ吏員及議員ハ總テ其ノ職ヲ失フモノトス
第一項ノ水利組合及其ノ管理者ハ府縣知事ニ於テ直ニ之ヲ告示スヘシ
前項ノ告示アリタルトキハ管理者ハ遲滯ナク組合規約ヲ定メ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

○水利組合豫算調製ノ式及費目流用其ノ他財務ニ關スル件

明治四十一年八月三日
內務省令第十三號

水利組合法第七十條ニ依リ豫算調製ノ式及費目流用其ノ他財務ニ關スル件左ノ通定ム

第一條 組合費其ノ他一切ノ收入ヲ歲入トシ一切ノ經費ヲ歲出トシ歲入歲出ハ豫算ニ編入スヘシ

第二條 各年度ニ於テ決定シタル歲入ヲ以テ他ノ年度ニ屬スヘキ歲出ニ充ツルコトヲ得ス

第三條 各年度ニ於テ歲計ニ剩餘アルトキハ翌年度ノ歲入ニ編入スヘシ

第四條 歲入ノ誤納過納ト爲リタル金額ノ拂戻ハ各之ヲ收入シタル歲入ヨリ支拂フヘシ
歲出ノ誤拂過渡ト爲リタル金額現金前渡前金拂概算拂替拂ノ返納ハ各之ヲ支拂ヒタル經費ノ定額ニ戻入スヘシ

第五條 出納閉鎖後ノ收入支出ハ之ヲ現年度ノ歲入歲出ト爲スヘシ第四條ノ拂戻金戻入金ノ出納閉鎖後ニ係ルモノ亦同シ

第六條 繼續費ハ毎年度ノ支拂殘額ヲ繼續年度ノ終リ迄遞次繰越使用スルコトヲ得

第七條 歲出豫算ハ經常臨時ノ二部ニ大別シ其ノ各部及歲入豫算ハ之ヲ款項ニ區分シ第一號ノ式ニ依リ之ヲ調製スヘシ但シ必要アルトキハ歲入豫算ヲ經常臨時ノ二部ニ大別シ各部ヲ更ニ款項ニ區分スルコトヲ得

第八條 歲入歲出豫算ヲ提出スルトキハ豫算説明ヲ付スヘシ

第九條 繼續費ノ年期及支出方法ハ第二號ノ式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第十條 豫算ハ會計年度經過後ニ於テ更正又ハ追加ヲ爲スコトヲ得ス

第十一條 豫算ニ定メタル各款ノ金額ハ彼是流用スルコトヲ得ス豫算各項ノ金額ハ組合會ノ議決ヲ經テ之ヲ流用スルコトヲ得

第十二條 決算ハ豫算ト同一ノ區分ニ依リ之ヲ調製シ豫算ニ對スル過不足ノ説明ヲ付スヘシ

第十三條 會計年度經過後ニ至リ歳入ニ不足ヲ生シ歳出ニ充ツルニ足ラサルトキハ翌年度ノ歳入ヲ繰上ケ之ニ充用スルコトヲ得

第十四條 組合ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ検査シ且毎會計年度少クトモ二回臨時検査ヲ爲スヘシ
検査ハ管理者之ヲ爲シ臨時検査ニハ組合會ニ於テ選舉シタル議員二人以上立會ハシムヘシ

第十五條 組合ニ屬スル現金ノ出納及保管ノ爲組合會ノ議決ヲ經テ組合金庫ヲ置クコトヲ得

第十六條 金庫事務ノ取扱ヲ爲サシムヘキ銀行ハ組合會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第十七條 金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ現金ノ出納保管ニ付責任ヲ有ス

第十八條 金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ擔保ヲ組合ニ提出スヘシ其ノ擔保ニ關シテハ府縣知事ノ許可ヲ經テ管理者之ヲ定ム

第十九條 管理者ハ組合金庫ヲ監督シ定期及臨時ニ現金帳簿ヲ検査シ又必要ト認ムルトキハ臨機ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十條 本令ニ規定スルモノノ外組合ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

(第一號)

明治何年度某府(縣)某市 郡某町村 某普通水利組合 歳入歳出豫算書

歳入

第一款	組合費	金
第一項	段別割	金
第二項	地價割	金
第三項	家屋割	金
第四項	何々	金
第二款	夫役	金
第一項	夫役	金
第三款	現品	金
第一項	現品	金
第四款	財産ヨリ生スル收入	金
第一項	貸地料	金
第二項	小作米	金
第三項	貸付金穀利子	金

但田段別何程一段歩ニ付金何程畑段別何程一段歩ニ付金何程其ノ他準之

但地租額^{地價百分}何程地租一圓ニ付金何程

但家屋坪數(又ハ棟數)何程一坪(一棟)ニ付何程

但

但夫役何人一人ニ付金何程

但何品何程一箇(一件)ニ付金何程

第十條 豫算ハ會計年度經過後ニ於テ更正又ハ追加ヲ爲スコトヲ得ス

第十一條 豫算ニ定メタル各款ノ金額ハ彼是流用スルコトヲ得ス豫算各項ノ金額ハ組合會ノ議決ヲ經テ之ヲ流用スルコトヲ得

第十二條 決算ハ豫算ト同一ノ區分ニ依リ之ヲ調製シ豫算ニ對スル過不足ノ説明ヲ付スヘシ

第十三條 會計年度經過後ニ至リ歳入ニ不足ヲ生シ歳出ニ充ツルニ足ラサルトキハ翌年度ノ歳入ヲ繰上ケ之ニ充用スルコトヲ得

第十四條 組合ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ検査シ且毎會計年度少クトモ二回臨時検査ヲ爲スヘシ

検査ハ管理者之ヲ爲シ臨時検査ニハ組合會ニ於テ選舉シタル議員二人以上立會ハシムヘシ

第十五條 組合ニ屬スル現金ノ出納及保管ノ爲組合會ノ議決ヲ經テ組合金庫ヲ置クコトヲ得

第十六條 金庫事務ノ取扱ヲ爲サシムヘキ銀行ハ組合會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第十七條 金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ現金ノ出納保管ニ付責任ヲ有ス

第十八條 金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ擔保ヲ組合ニ提出スヘシ其ノ擔保ニ關シテハ府縣知事ノ許可ヲ經テ管理者之ヲ定ム

第十九條 管理者ハ組合金庫ヲ監督シ定期及臨時ニ現金帳簿ヲ検査シ又必要ト認ムルトキハ臨機ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十條 本令ニ規定スルモノノ外組合ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

(第一號)

明治何年度某府(縣)某市(郡)某町村 某普通水利組合 歳入歳出豫算書 歳入

第一款	組合別費金	
第一項	地段割金	但田段別何程一段歩ニ付金何程畑段別何程一段歩ニ付金何程其ノ他準之
第二項	地價割金	但地租額 <small>地價百分貳箇半</small> 何程地租一圓ニ付金何程
第三項	家屋割金	但家屋坪數(又ハ棟數)何程一坪(一棟)ニ付何程
第四項	何々金	但
第二款	夫役金	但夫役何人一人ニ付金何程
第三款	現品金	但何品何程一箇(一件)ニ付金何程
第一項	現品金	
第四款	財産ヨリ生スル收入金	
第一項	貸地料金	
第二項	小作米金	
第三項	貸付金穀利子金	

第四項	排水機費	金
第五項	堤防費	金
第四款	警備費	金
第一款	警備費	金
第五款	諸稅及負擔	金
第一款	諸稅	金
第二款	負擔	金
第六款	財產費	金
第一款	維持費	金
第二款	管理費	金
第七款	積立基金蓄積	金
第一款	積立基金蓄積	金
第八款	組合費取扱費	金
第一款	徵收費	金
第二款	金庫諸費	金
第九款	何々	金
第一款	何々	金
第十款	雜支出々	金

第十一款	豫備費	金
第一款	豫備費	金
經常部合計金		金
臨時部		
第一款	事業費	金
第一款	用惡水路費	金
第二款	堤防費	金
第三款	何々	金
第二款	某費本年度支出額	金
第一款	某費ノ内某費本年度支出額	金
第三款	組合債費	金
第一款	元金償還	金
第二款	利子	金
第三款	雜費	金
第四款	補助費	金
第一款	某費補助	金
第五款	寄附金	金
第一款	府(縣)某費寄附	金
第二款	郡某費寄附	金

水利組合豫算調製ノ式及費目流用其ノ他財務ニ關スル件

第三項 何々寄附金
 第六款 何々金
 第一項 何々金
 臨時部合計金
 歳出總計金

明治何年何月何日提出

某府(縣)某市 郡某町村 某普通水利組合 管理者氏名印

(第二號)

自明治何年度 某府(縣)某市 郡某町村 某普通水利組合
 至明治何年度 某費繼續年期及支出方法
 一金 某費中某費

內譯

金 明治何年度支出額
 金 同 何年度支出額

右云云(議決ヲ要スヘキ事業ノ大要ヲ記載ス)

明治何年何月何日提出

某府(縣)某市 郡某町村 某普通水利組合 繼續費某費年度割表
 某府(縣)某市 郡某町村 某普通水利組合 管理者氏名印
 明治何年度

科	目	豫	算	額	附	記
第一款	某費					
第一項	何々					
第二項	何々					

明治何年度

科	目	豫	算	額	附	記
第一款	某費					
第一項	何々					
第二項	何々					

○水利組合吏員ノ賠償責任及身元保證ニ關スル件 明治四十一年八月一日
 勅令第九十一號

朕水利組合吏員ノ賠償責任及身元保證ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 組合吏員ハ本令ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ現金、證券又ハ物品ノ亡失又ハ毀損ニ付賠償ノ

水利組合吏員ノ賠償責任及身元保證ニ關スル件

責任ヲ有ス

第二條 組合ノ會計事務ヲ掌ル吏員其ノ管掌ニ屬スル現金、證券又ハ物品ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ管理者ニ於テ期間ヲ指定シ其ノ賠償ヲ命スヘシ但シ避クヘカラサル事故ニ原因シタルトキ又ハ其ノ亡失若ハ毀損シタル物品組合吏員其ノ他ノ者ノ使用ニ供シタルモノニシテ合規ノ監督ヲ怠ラサル場合ニ在リテハ組合會ノ議決ヲ經テ其ノ賠償ノ責任ヲ免除スヘシ

組合ノ會計事務ヲ掌ル吏員以外ノ吏員ニシテ其ノ執務上必要ナル物品ノ交付ヲ受ケタル者其ノ物品ヲ故意又ハ怠慢ニ因リ亡失又ハ毀損シタルトキハ管理者ニ於テ期間ヲ指定シ其ノ賠償ヲ命スヘシ本條管理者ノ處分ニ不服アル吏員ハ第一次監督官廳ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得但シ府縣知事カ第一次監督官廳タル場合ニ於テ其ノ裁決ニ不服アル者ハ直ニ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

本條ノ訴願ハ命令書又ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ提起スヘシ
第三條 賠償金ノ徵收ニ關シテハ水利組合法第五十六條第一項、第五十七條及第五十九條第四項第五項ノ例ニ依ル

第四條 組合ノ會計事務ヲ掌ル吏員ニ對シ身元保證ヲ徵スルノ必要アリト認メタルトキハ組合ハ第一次監督官廳ノ許可ヲ得テ其ノ種類、程度其ノ他身元保證ニ關シ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

附則
本令ハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

○水利組合吏員服務紀律 明治四十一年八月三日
内務省令第十四號
水利組合法第八十二條ニ依リ水利組合吏員服務紀律左ノ通定ム
水利組合吏員服務紀律ニ關シテハ府縣郡吏員服務紀律ノ規定ヲ準用ス

○産業組合法 明治三十三年三月六日 (改正三十九年法四五號)
法律第三十四號 (四十二年法二七號)

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル産業組合法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

産業組合法

第一章 總則

第一條 本法ニ於テ産業組合トハ組合員ノ産業又ハ其ノ經濟ノ發達ヲ企圖スル爲左ノ目的ヲ以テ設立スル社團法人ヲ謂フ

- 一 組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト(信用組合)
- 二 組合員ノ生産シタル物ニ加工シ又ハ加工セシテ之ヲ賣却スルコト(販賣組合)
- 三 産業又ハ生計ニ必要ナル物ヲ購買シ之ニ加工シ又ハ加工セシテ組合員ニ賣却スルコト(購買組合)(四十二年法)
- 四 組合員ノ生産シタル物ニ加工シ又ハ組合員ヲシテ産業ニ必要ナル物ヲ使用セシムルコト(生産組合)(二十七年法)

信用組合ハ組合員外ノ者ニシテ組合加入ノ豫約ヲ爲シタルモノノ出資一口ニ達スル迄ノ貯金ヲ取扱フコトヲ得(同上)

第二條 産業組合ノ組織ハ無限責任、有限責任及保證責任ノ三種トス

無限責任組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ組合員ノ全員カ連帶無限ノ責任ヲ負擔シ、有限責任組合ニ在リテハ組合員ノ全員カ其ノ出資額ヲ限度トシテ責任ヲ負擔シ、保證責任組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ組合員ノ全員カ其ノ出資額ノ外一定ノ金額ヲ限度トシテ責任ヲ負擔ス

第三條 産業組合ノ住所ハ其ノ主タル事務所ノ所在地ニ在ルモノトス

第四條 産業組合ノ名稱中ニハ其ノ組織及目的ヲ示スヘキ文字ヲ用ウヘシ

産業組合ニ非スシテ其ノ名稱中ニ産業組合タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

第五條 産業組合ニハ本法ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外商法及商法施行法中商人ニ關スル規定ヲ準用ス

第六條 産業組合ニハ所得税及營業稅ヲ課セス

第二章 設立

第七條 産業組合ハ七人以上ニ非サレハ之ヲ設立スルコトヲ得ス

第八條 組合ノ設立者ハ定款ヲ作り之ヲ主タル事務所所在地ノ地方長官ニ差出シ設立ノ許可ヲ請フヘシ

第九條 定款ニハ本法ニ規定アルモノヲ除クノ外左ノ事項ヲ記載シ、設立者之ニ署名捺印スヘシ
一 目的

二 名稱

三 組織

四 事務所

五 出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法

六 第一回拂込ノ金額

七 剩餘金處分及損失分擔ニ關スル規定(三九年度法四五號)

八 準備金ノ額及其ノ積立ノ方法

九 組合員タル資格ニ關スル規定

十 組合員ノ加入及脱退ニ關スル規定

十一 組合ノ目的タル事業ノ執行ニ關スル規定

十二 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

信用組合ノ區域ハ市町村ノ區域以内ニ於テ之ヲ定メ定款中ニ記載スヘシ但シ特別ノ事由アルトキハ地方長官ノ認可ヲ得テ此ノ區域ニ依ラサルコトヲ得

第十條 産業組合ハ其ノ組合員ノ數ヲ限定スルコトヲ得ス

第十一條 出資一口ノ金額ハ均一ニ之ヲ定ムヘシ

第十二條 組合カ其ノ設立ノ許可ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク各組合員ヲシテ第一回ノ拂込ヲ爲サシムヘシ

第十三條 前條ノ拂込アリタルトキハ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スヘシ

第十四條 登記スヘキ事項左ノ如シ

一 第九條第一號乃至第五號及第十二號ニ掲ケタル事項
 二 設立許可ノ年月日
 三 理事及監事ノ氏名、住所
 前項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ二週間内ニ其ノ登記ヲ爲スヘシ登記前ニ在リテハ其ノ變更ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス
 第十五條(四二年法) 産業組合ハ其ノ設立ノ登記ノ申請ト共ニ左ノ事項ヲ記載シタル組合原簿ヲ其ノ主タル事務所所在地ノ裁判所ニ差出スヘシ
 一 出資ノ總口數
 二 拂込ミタル出資ノ總額
 三 保證責任組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名、住所及保證金額
 四 無限責任組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名、住所
 前條第二項ノ規定ハ前項ニ依リ差出シタル帳簿ニ之ヲ準用ス但シ前項第一號及第二號ノ事項ニ付テハ定款ヲ以テ一事業年度内一回又ハ數回ニ期日ヲ定メテ其ノ期日後二週間内ニ記載ヲ爲スコトヲ得
 裁判所ニ差出シタル組合原簿ハ之ヲ登記簿ノ一部ト看做シ其ノ記載ハ之ヲ登記ト看做ス
 第十五條ノ二(同上) 行政區劃又ハ其ノ名稱ニ變更アリタルトキハ登記簿又ハ組合原簿ニ記載シタル行政區劃又ハ其ノ名稱ハ當然之ヲ變更シタルモノト看做ス大字若ハ字又ハ其ノ名稱ニ變更アリタルトキ亦同シ
 前項大字若ハ字又ハ其ノ名稱ノ變更アリタルトキハ組合ハ遲滞ナク之ヲ登記所ニ通知スヘシ

前項ノ通知アリタルトキハ登記所ハ登記簿又ハ組合原簿ノ記載ヲ變更スヘシ
 第一項ノ規定ハ事務所所在地ニ關スル定款ノ規定ニ之ヲ準用ス
 第十六條 民法第四十五條第二項、第三項、第四十七條及第四十八條ノ規定ハ産業組合ニ之ヲ準用ス但シ同規定中一週間トアルヲ二週間トス
 第三章 組合員ノ權利義務
 第十七條 組合員ハ出資ニ口以上ヲ有スヘシ
 組合員ノ有スヘキ出資口數ハ十口ヲ超ユルコトヲ得ス
 第十八條 組合員ハ組合ニ拂込ムヘキ出資額ニ付相殺ヲ以テ組合ニ對抗スルコトヲ得ス
 第十九條 組合員ハ組合ノ承諾アルニ非サレハ其ノ持分ヲ讓渡スコトヲ得ス
 組合員ニ非サル者ニシテ持分ヲ讓受ケムトスルトキハ加入ノ例ニ依ルヘシ
 第二十條 組合員ハ持分ヲ共有スルコトヲ得ス
 第二十一條 持分ノ讓受人ハ其ノ持分ニ付讓渡人ノ權利義務ヲ承繼ス
 第二十二條 新ニ組合ニ加入シタル組合員ハ其ノ加入前ニ生シタル組合ノ債務ニ付テモ亦責任ヲ負擔ス
 第二十三條 組合員ハ總組合員五分ノ一以上ノ同意ヲ得テ總會ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ理事ニ請求スルコトヲ得
 第二十四條 組合員ニシテ總會ノ招集手續又ハ其ノ決議ノ方法カ法令又ハ定款ニ違背スト認ムルトキハ決議ノ日ヨリ一箇月内ニ其ノ決議ノ取消ヲ地方長官ニ請求スルコトヲ得
 第四章 管理

第二十五條 産業組合ニハ理事及監事ヲ置クヘシ
 理事及監事ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ組合設立ノ當時ノ理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第二十六條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラヌ

第二十七條 理事又ハ監事ハ何時ニテモ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ解任スルコトヲ得

第二十八條 理事及監事ノ選任及解任ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ之ヲ決ス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラヌ

第二十九條 理事ハ定款及總會ノ決議録ヲ各事務所ニ備ヘ置キ且組合員名簿ヲ主タル事務所ニ備ヘ置クヘシ

組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ掲ケタル書類ノ閲覽ヲ求ムルコトヲ得

第二十九條ノ二(四二九法) 組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 各組合員ノ氏名、住所
- 二 各組合員ノ出資口數
- 三 各組合員ノ拂込ミタル金額及其ノ拂込ノ年月日
- 四 出資各口ノ取得ノ年月日
- 五 保證責任組合ニ在リテハ各組合員ノ保證金額

第三十條 理事ハ通常總會ノ會日ヨリ一週間前ニ財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案ヲ監事ニ提出シ且之ヲ主タル事務所ニ備フヘシ

組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ掲ケタル書類ノ閲覽ヲ求ムルコトヲ得

第三十一條 理事ハ前條第一項ニ掲ケタル書類及監事ノ意見書ヲ通常總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第三十二條 民法第四十四條第一項、第五十二條第二項、第五十三條乃至第五十五條、第六十條及第六十一條第一項ノ規定ハ産業組合ノ理事ニ之ヲ準用ス

第三十三條 監事ハ理事其ノ他組合ノ事務員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第三十四條 民法第五十九條ノ規定ハ産業組合ノ監事ニ之ヲ準用ス

第三十五條 組合カ理事ト契約ヲ爲ス場合ニ於テハ監事組合ヲ代表ス組合ト理事トノ間ノ訴訟ニ付テモ亦同シ

第三十六條 總會ノ決議ハ本法又ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル組合員ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

第三十七條 組合員ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス但シ組合員ニ非サレハ代理人タルコトヲ得ス

代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出スヘシ

第三十八條 民法第六十二條、第六十四條、第六十五條第一項及第六十六條ノ規定ハ産業組合ニ之ヲ準用ス

第三十八條ノ二(三九九年法) 組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ定款ヲ以テ總會ニ代ハルヘキ總代會ヲ設クルコトヲ得

總會ニ關スル規定ハ前項ノ總代會ニ之ヲ準用ス但シ總代會ニ於テハ解散及合併ノ決議ヲ爲スコトヲ

得ス

第三十九條 定款ノ變更ハ總會ノ決議ニ依ルヘシ

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

定款ノ變更ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第四十條 組合カ出資一口ノ金額ノ減少ノ決議ヲ爲シタルトキハ其ノ決議ノ日ヨリ二週間内ニ財産目録及貸借對照表ヲ作ルヘシ

組合ハ前項ノ期間内ニ其ノ債權者ニ對シ異議アラハ一定ノ期間内ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ催告スヘシ但シ其ノ期間ハ二箇月ヲ下ルコトヲ得ス

第四十一條 債權者カ前條第二項ノ期間内ニ出資ノ減少ニ對シテ異議ヲ述ヘサリシトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス

債權者カ異議ヲ述ヘタルトキハ組合ハ之ニ辨濟ヲ爲シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレハ出資ヲ減少スルコトヲ得ス

第四十二條 前二條ノ規定ハ保證責任組合カ組合員ノ保證金額ヲ減少スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條 組合員カ其ノ出資ノ拂込ヲ終ル迄ハ之ニ配當スヘキ剩餘金ハ其ノ拂込ニ充ツヘシ

第四十四條 組合ハ損失ヲ填補シタル後ニ非サレハ剩餘金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス(三九年度法四五號)

剩餘金配當ニ關スル制限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム(同上)

第四十五條 組合ハ第五十三條ノ場合ヲ除クノ外持分ノ拂戻ヲ爲スコトヲ得ス

第四十六條 組合ハ定款ヲ以テ定メタル準備金ノ額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ積立ツヘシ

第四十七條 組合ノ事業年度ハ一箇年トス

第四十八條 組合ハ組合員ノ持分ヲ取得シ又ハ質權ノ目的トシテ之ヲ受クルコトヲ得ス

第五章 加入及脱退

第四十九條 無限責任組合ニ加入セムトスル者ハ總組合員ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第五十條 定款ヲ以テ組合ノ存立時期ヲ定メタルト否トヲ問ハス組合員ハ事業年度ノ終ニ於テ脱退スルコトヲ得但シ六箇月前ニ其ノ豫告ヲ爲スヘシ

前項ノ豫告期間ハ定款ヲ以テ之ヲ延長スルコトヲ得但シ二箇年ヲ超ユルコトヲ得ス

第五十一條 組合員ハ左ノ事由ニ因リテ脱退ス

一 組合員タル資格ノ喪失

二 死亡

三 破産

四 禁治産

五 除名

第五十二條 除名ノ事由ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム

除名ハ總會ノ決議ニ依ル但シ除名シタル組合員ニ其ノ旨ヲ通知スルニ非サレハ之ヲ以テ其ノ組合員ニ對抗スルコトヲ得ス

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

第五十三條 脱退シタル組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ持分ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

第五十四條 脱退シタル組合員ノ持分ハ其ノ脱退シタル事業年度ノ終ニ於ケル組合財産ニ依リテ之ヲ定ム、但シ定款ノ定ムル所ニ依リ脱退當時ノ財産ニ依リテ之ヲ定ムルコトヲ得(三九法四五號 四二法二七號)

第五十五條 持分ノ拂戻ハ事業年度ノ終ヨリ三箇月内ニ之ヲ爲スヘシ但シ前條但書ノ場合ニ於テハ脱退ノ時ヨリ三箇月内ニ之ヲ爲スヘシ持分拂戻ノ請求權ハ前項ノ期間經過ノ後二箇年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス(三九法四五號)

第五十六條 持分ノ計算ヲ爲スニ當リ組合財産ヲ以テ組合ノ債務ヲ完済スルニ足ラサルトキハ脱退シタル組合員ハ其ノ負擔ニ歸スヘキ損失額ヲ拂込ムヘシ

第五十七條 脱退シタル組合員カ組合ニ對スル債務ヲ完済スル迄ハ組合ハ其ノ持分ノ拂戻ヲ停止スルコトヲ得

第五十八條 無限責任組合及保證責任組合ニ在リテハ脱退シタル組合員ハ脱退前ノ組合債權者ニ對シ其ノ脱退ヲ組合原簿ニ記載シタル後二箇年間責任ヲ負擔ス(四二法二七號)

前項ノ規定ハ特別ノ契約ヲ以テ其ノ期間ヲ延長スルコトヲ妨ケス

第六章 監督

第五十九條 産業組合ハ主務大臣、地方長官及郡長之ヲ監督ス

第六十條 監督官廳ハ何時ニテモ理事ヲシテ組合ノ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ又ハ組合ノ事業及財産ノ狀況ヲ検査シ其ノ他必要ナル命令ヲ發シ及處分ヲ行フ

第六十一條 組合ノ事業又ハ組合財産ノ狀況ニ依リ其ノ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキ又ハ組合ノ行爲カ定款若ハ法令ニ違背シ其ノ他公益ヲ害スルノ虞アルトキハ主務大臣又ハ地方長官ハ總會ノ

決議ヲ取消シ、理事、監事若ハ清算人ノ改選ヲ命ジ、組合ノ事業ヲ停止シ又ハ組合ヲ解散スルコトヲ得

第七章 解散

第六十二條 組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

一 定款ニ定メタル事由ノ發生

二 總會ノ決議

三 組合ノ合併

四 組合員カ七人未滿ニ減シタルトキ

五 組合ノ破産

第二十八條ノ規定ハ解散及合併ノ決議ニ之ヲ準用ス但シ無限責任組合ノ合併ニ付テハ總組合員ノ同意アルコトヲ要ス

第六十三條 組合カ解散シタルトキハ合併及破産ノ場合ヲ除クノ外、二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第六十四條 第四十條及第四十一條ノ規定ハ合併ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十五條 合併ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第六十六條 組合カ合併ヲ爲シタルトキハ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ合併後存続スル組合ニ付テハ變更ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ消滅シタル組合ニ付テハ解散ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ設立シタル組合ニ付テハ設立ノ登記ヲ爲スヘシ

第六十七條 合併後存続スル組合又ハ合併ニ因リテ設立シタル組合ハ合併ニ因リテ消滅シタル組合ノ權利義務ヲ承繼ス

第六十八條 組合ハ總組合員ノ同意ヲ以テ其ノ組織ヲ變更スルコトヲ得

組合カ組織變更ニ因リ組合員ノ責任ヲ減少スルトキハ第四十條及第四十一條ニ定メタル手續ヲ爲スヘシ

第六十九條 民法第七十條ノ規定ハ産業組合ノ解散ニ之ヲ準用ス

第八章 清算

第七十條 清算人ハ其ノ職務ノ範圍内ニ於テ理事ト同一ノ權利義務ヲ有ス

第七十一條 清算人ハ就職後遲滯ナク組合財産ノ現況ヲ調査シ財産目錄及貸借對照表ヲ作り之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第七十二條 清算人ハ組合ノ債務ヲ辨濟シ又ハ辨濟ニ必要ナル金額ヲ供託スルニ非サレハ組合財産ヲ分配スルコトヲ得ス

第七十三條 清算事務カ終リタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作り之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第七十四條 清算人ノ解任アリタルトキハ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲シ且之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第七十五條 民法第七十三條乃至第八十三條ノ規定ハ産業組合ノ清算ニ之ヲ準用ス但シ同規定中一週間トアルハ二週間トス

第九章 産業組合聯合會及産業組合中央會(四二年法)

第七十六條 産業組合ハ左ノ目的ヲ以テ産業組合聯合會ヲ設立スルコトヲ得

一 所屬組合ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト(信用組合聯合會)

二 所屬組合ノ賣却スル物ニ加工シ又ハ加工セシテ之ヲ賣却スルコト(販賣組合聯合會)

三 所屬組合ノ購買スル物ヲ購買シテ之ニ加工シ又ハ加工セシテ所屬組合ニ賣却スルコト(購買組合聯合會)

四 所屬組合カ其ノ組合員ニ使用セシムル物ヲ所屬組合ニ貸付スルコト(生産組合聯合會)
前項第一號ノ聯合會ニ在リテハ信用組合外ノ組合又ハ第二號乃至第四號ノ産業組合聯合會ヲ加入セシムルコトヲ得

第七十七條 産業組合聯合會ハ社團法人トス

産業組合聯合會ノ組織ハ有限责任及保證責任ノ二種トス

保證責任産業組合聯合會ノ所屬組合及所屬聯合會ノ保證責任ハ其ノ出資總額ノ範圍内ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第七十八條 産業組合又ハ産業組合聯合會カ産業組合聯合會ニ加入シ又ハ脱退セムトスルトキハ總會ノ決議ニ依ルヘシ

第七十九條 規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

第七十九條 産業組合聯合會ノ區域ハ道府縣以内ノ範圍ニ於テ之ヲ定メ定款中ニ記載スヘシ但シ特別ノ事由アルトキハ主タル事務所所在地ノ地方長官ノ認可ヲ得テ此ノ區域ニ依ラサルコトヲ得

主タル事務所所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ異ニスルニ簡以上ノ産業組合聯合會カ合併セムトスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第一項但書又ハ前項ノ規定ニ依リ設立シタル産業組合聯合會ノ監督其ノ他ノ職務ハ其ノ主タル事務所所在地ヲ管轄スル地方長官之ヲ行フ

第八十條 産業組合聯合會ノ理事及監事ハ總會ニ於テ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ理事及監事ノ中ヨリ之ヲ選任ス但シ特別ノ事由アルトキハ理事又ハ監事ニ非サル者ヨリ選任スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ選任ニ付地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

産業組合聯合會設立當時ノ理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第八十一條 産業組合聯合會ニハ本章ニ規定アルモノヲ除クノ外産業組合ニ關スル規定ヲ準用ス

第八十二條 産業組合中央會ハ産業組合及産業組合聯合會ノ普及、發達及聯絡ヲ圖ル目的ヲ以テ設立スルコトヲ得

産業組合中央會ハ社團法人トス

産業組合中央會ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ産業組合ノ事業ノ一部ヲ行フコトヲ得

第八十三條 産業組合中央會ノ名稱中ニハ産業組合中央會ナル文字ヲ用ウヘシ

産業組合中央會ニ非シテ其ノ名稱中ニ産業組合中央會タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

第八十四條 産業組合中央會ハ全國ヲ通シテ一箇トシ其ノ設立ハ主務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

産業組合中央會ノ設立ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十五條 産業組合及産業組合聯合會ハ産業組合中央會ノ會員ト爲ルコトヲ得

前項以外ノ者ト雖定款ノ定ムル所ニ依リ産業組合中央會ノ會員ト爲ルコトヲ得

第八十六條 産業組合中央會ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 名稱

二 事務所

三 會員ノ加入及脱退ニ關スル規定

四 會員ノ權利義務ニ關スル規定

五 資産ニ關スル規定

六 役員ニ關スル規定

七 會議ニ關スル規定

八 事業ノ執行ニ關スル規定

九 定款ノ變更ニ關スル規定

十 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

定款ノ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第八十七條 産業組合中央會設立ノ許可アリタルトキハ二週間内ニ主タル事務所ノ所在地ニ於テ設立

ノ登記ヲ爲スヘシ

登記スヘキ事項左ノ如シ

一 目的及第八十二條第三項ノ規定ニ依ル事業ノ種類

二 第八十六條第一項第一號、第二號及第十號ニ掲ケタル事項

三 資産ノ總額

四 設立許可ノ年月日

五 理事及監事ノ氏名、住所

第十四條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十八條 産業組合中央會ニハ理事及監事ヲ置クヘシ

第八十九條 産業組合中央會ノ理事及監事ハ會員タル産業組合又ハ産業組合聯合會ノ理事、監事及第

八十五條第二項ノ會員ノ中ヨリ之ヲ選任スヘシ

第九十條 産業組合中央會ノ總會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ會員ノ中ヨリ選出シタル代表者ヲ以テ組織ス但シ第九十二條ニ於テ準用シタル第六十二條第一項第二號ノ總會ハ會員ヲ以テ組織ス

第九十一條 産業組合中央會ハ主務大臣之ヲ監督ス

第九十二條 第三條、第五條、第六條、第七條、第十條、第十五條ノ二、第十六條、第二十六條、第二十七條、第二十九條、第三十條乃至第三十五條、第三十九條第一項、第四十七條、第六十條、第六十一條、第六十二條第一項第一號第二號第四號第五號、第六十三條、第六十九條乃至第七十五條、第八十條、第九十三條、第九十四條、第九十八條、第九十九條、第一百一條、第一百二條第二項、第一百三條乃至第一百五條及民法第六十二條、第六十四條ノ規定ハ産業組合中央會ニ之ヲ準用ス

第十章 罰則

第九十三條 組合ノ理事、監事又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ五圓以上三百圓以下ノ過料ニ處セラ

- 一 本法ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキ
- 二 官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ
- 三 第二十九條第一項及第三十條第一項ノ規定ニ違背シ又ハ第二十九條第一項及第三十條第一項ニ掲ケタル書類ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ若ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ閱覽ヲ拒ミタルトキ
- 四 第四十條、第四十一條、第四十三條乃至第四十六條、第四十八條又ハ第七十二條ノ規定ニ違背シタルトキ

五 第六十條ノ報告ヲ爲サス又ハ検査ヲ拒ミ其ノ他監督官廳ノ命令又ハ處分ニ従ハサルトキ

六 民法第七十九條ノ期間内ニ債權者ニ辨償ヲ爲シタルトキ

七 民法第七十九條又ハ第八十一條ニ定メタル公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ

八 民法第七十條又ハ第八十一條ノ規定ニ違背シタルトキ

九 組合ノ目的タル事業ニ非サル營利事業ヲ營ミタルトキ(四二年法)

第九十四條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前條ノ過料ニ之ヲ準用ス

附則

第九十五條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(三三年勅三〇一號ヲ以テ三三年九月一日ヨリ施行四二年第二七號改正法律ノ同年勅令第二二一號ヲ以テ同年九月一日ヨリ施行)

第九十六條 産業組合ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所又ハ其ノ出張所産業組合聯合會及産業組合中央會ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所ヲ以テ管轄登記所トス(四二年法)

第九十七條 各登記所ニ産業組合登記簿産業組合聯合會登記簿及産業組合中央會登記簿ヲ備フ(同上)

第九十八條 組合設立ノ登記ハ理事及監事ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス申請書ニハ左ノ書類ヲ添付スヘシ

- 一 定款
- 二 地方長官ノ許可書又ハ其ノ認證アル謄本
- 三 保證責任組合ニ在リテハ各組合員ノ保證金額ヲ證スル書面(同上)
- 四 無限責任組合ニ在リテハ各組合員ノ加入ヲ證スル書面(同上)

第九十九條 事務所ノ新設、移轉其ノ他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス
申請書ニハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附シ且地方長官ノ認可ヲ要スルモノニ付テハ其ノ認可
書又ハ其ノ認證アル謄本ヲ添附スヘシ

前二項ノ規定ハ組合原簿ノ記載ノ申請ニ之ヲ準用ス(同上)

第一百條 出資一口ノ金額又ハ組合員ノ責任ノ減少ノ登記ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一 地方長官ノ認可書又ハ其ノ認證アル謄本

二 第四十條第二項ニ依ル催告ヲ爲シタルコト、若シ異議ヲ述ヘタル債權者アルトキハ之ニ對シ辨
濟ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供シタルコトヲ證スル書面

第一百一條 組合ノ解散ノ登記ノ申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ且組合カ總會ノ決議ニ因リテ解散シタ
ルトキハ總會ノ決議録ヲ添附スヘシ

第一百二條 合併ニ因ル解散ノ登記ノ申請書ニハ第一百條ニ掲ケタル書面ヲ添附スヘシ

組合カ命令ニ因リテ解散シタルトキハ登記所ハ監督官廳ノ囑託ニ因リテ其ノ登記ヲ爲スヘシ
第一百三條 第九十八條第一項ノ規定ハ出資一口ノ金額又ハ組合員ノ責任ノ減少、組合ノ解散及組合ノ
合併ニ因ル變更、設立又ハ解散ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第一百四條 本法ノ規定ニ依リ登記シタル事項ハ裁判所遲滯ナク之ヲ公告スヘシ但シ組合原簿ニ記載シ
タル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラス(同上)

第一百五條 非訟事件手續法第三百三十六條乃至第三百三十八條、第四百一十一條乃至第五百一十一條、第五百五
十四條乃至第五百五十八條、第六十三條乃至第六十五條及第七十五條乃至第七十七條ノ規定
ハ産業組合ノ登記ニ之ヲ準用ス

第一百六條 本法ノ規定ニ依リ郡長ノ行フヘキ職務ハ伊豆七島ニ於テハ東京府知事、北海道ニ於テハ支
廳長、沖繩縣ノ區ニ於テハ區長、島司ヲ置キタル島嶼ニ於テハ島司之ヲ行フ
第一百七條 北海道ニ於ケル産業組合ニ付テハ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

○産業組合法施行規則

明治四十二年八月二十一日
農商務省令第三十五號

産業組合法施行規則左ノ通改正ス

産業組合法施行規則

第一條 信用組合ノ區域内ニ住居スル者ニ非サレハ加入ノ豫約ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ豫約者ニ對スル貯金ノ拂戻ハ豫約ノ消滅シタルトキニ限り之ヲ爲スコトヲ得

豫約者ハ其ノ貯金カ現在組合員ノ出資一口ニ對スル拂込金額ノ最小額ト同額ニ達シタル後ニ非サレ
ハ組合ニ加入スルコトヲ得ス

豫約者カ豫約後三箇年ヲ經過シ尙ホ組合員ト爲ルニ至ラサルトキハ組合ハ豫約ノ解除ヲ爲スヘシ

第二條 出資一口ノ金額ハ組合ニ在リテハ五十圓、聯合會ニ在リテハ五百圓ヲ超ユルコトヲ得ス但シ
特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三條 第一回拂込ノ金額ハ出資一口ノ金額ノ十分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第四條 準備金ノ額ハ出資總額ヲ下ルコトヲ得ス

第五條 組合若ハ聯合會カ新ニ加入スル者ヨリ加入金ヲ徵收シ又ハ新ニ出資口數ヲ増加スル者ヨリ増
口金ヲ徵收スルトキハ其ノ金額ハ之ヲ準備金ニ組入ルヘシ脱退シタル組合員又ハ組合若ハ聯合會ニ

對シ其ノ持分ノ一部ヲ拂戻スヘキコトヲ定メタルトキハ其ノ殘額ニ付亦同シ

第六條 總代會ハ組合ニ在リテハ千人以上ノ組合員、聯合會ニ在リテハ百以上ノ所屬組合及所屬聯合會ヲ有スルニ非サレハ之ヲ設クルコトヲ得ス

第七條 產業組合法第九十條ノ代表者ハ道府縣毎ニ會員之ヲ選舉スヘシ

前條第二項ノ規定ハ前項ノ代表者ニ之ヲ準用ス

第八條 理事及監事ハ定款ノ規定又ハ總會若ハ總代會ノ決議ニ依ルニ非サレハ給料、報酬又ハ賞與ヲ受クルコトヲ得ス

第九條 組合、聯合會及中央會ノ事業年度ハ曆年ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十條 理事ハ總會又ハ總代會ノ承認ヲ經タル後遲滞ナク產業組合法第三十條第一項ニ掲ケタル書類ヲ組合又ハ聯合會ニ在リテハ地方長官ニ、中央會ニ在リテハ農商務大臣ニ差出スヘシ

第十一條 組合又ハ聯合會ノ事業報告書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 組合ニ在リテハ組合員ノ職業別ノ數並出資口數ノ異動、聯合會ニ在リテハ所屬組合及所屬聯合會ノ種類別ノ數並出資口數ノ異動
- 二 出資拂込ノ總額及剩餘金ヲ以テ出資ノ拂込ニ充テタルトキハ其ノ總額
- 三 損益ノ計算並借入金及其ノ償還
- 四 總會又ハ總代會ノ決議
- 五 事業ノ狀況
- 六 信用組合又ハ信用組合聯合會ニ在リテハ貸付シ又ハ償還ヲ受ケタル金額及件數、受入又ハ拂戻

シタル貯金額及貯金ヲ爲シタル組合員又ハ所屬組合及所屬聯合會ノ數並貯金及貸付金ノ利率、
 產業組合法第一條第二項ノ豫約ヲ爲シタル信用組合ニ在リテハ豫約者ノ數及其ノ貯金額、販賣
 組合又ハ販賣組合聯合會ニ在リテハ受入又ハ販賣シタル物ノ種目別ノ數量及價額、購買組合又
 ハ購買組合聯合會ニ在リテハ購買又ハ賣却シタル物ノ種目別ノ數量及價額、生産組合ニ在リテ
 ハ生産シタル物ノ種目別ノ數量又ハ加工若ハ使用ノ工程ヲ表示スヘキ事項、生産組合聯合會ニ
 在リテハ使用ノ工程ヲ表示スヘキ事項

七 處務ノ要件

前項ノ規定ハ中央會ノ事業報告書ニ之ヲ準用ス

第十二條 組合、聯合會又ハ中央會カ借入金ヲ爲サムトスルトキハ毎年總會又ハ總代會ニ於テ一事業年度ニ於ケル借入額ノ最高限度ヲ議決スヘシ

前項ノ規定ハ信用組合又ハ信用組合聯合會カ一事業年度ニ於ケル一組合員又ハ一所屬組合若ハ一所屬聯合會ニ對シテ爲ス貸付額ノ最高限度ニ付之ヲ準用ス

理事ハ前二項ノ規定ニ依リ議決シタル事項ヲ組合又ハ聯合會ニ在リテハ地方長官ニ、中央會ニ在リテハ農商務大臣ニ遲滞ナク報告スヘシ

第十三條 出資一口ノ金額又ハ保證金額ノ減少ノ認可申請書ニハ理由書、總會又ハ總代會ノ決議録、財産目錄及貸借對照表ヲ添附スヘシ

第十四條 剩餘金ノ配當ハ持分ノ全部若ハ一部又ハ取扱ヒタル物ノ數量、價額若ハ事業ノ分量ニ對スルノ外之ヲ爲スコトヲ得ス
 持分ノ全部若ハ一部ニ對スル剩餘金配當ノ率ハ年六歩ヲ超ユルコトヲ得ス

第十五條 合併ノ認可申請書ニハ第十三條ニ掲ケタル書類ノ外合併契約書及合併後存続スル組合若ハ聯合會又ハ合併ニ因リテ設立スル組合若ハ聯合會ノ定款ヲ添附スヘシ

第十六條 組織變更ノ認可申請書ニハ組合ニ在リテハ總組合員、聯合會ニ在リテハ總所屬組合及總所屬聯合會ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附シ組合員又ハ所屬組合及所屬聯合會ノ責任ヲ減少スルトキハ尙ホ第十三條ニ掲ケタル書類ヲ添附スヘシ

第十七條 組合又ハ聯合會カ中央會ニ加入シ又ハ脱退シタルトキハ其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第十八條 郡長又ハ郡長ノ職務ヲ行フヘキ者カ産業組合法第六十條ノ規定ニ依リ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ行ハムトスルトキハ地方長官ノ指揮ヲ請フヘシ

第十九條 地方長官カ産業組合法第六十條又ハ第六十一條ノ規定ニ依リ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ行ヒタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第二十條 産業組合法ノ規定ニ依リ理事又ハ監事ニ關スル登記ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク登記シタル事項及其ノ登記ノ年月日ヲ組合又ハ聯合會ニ在リテハ地方長官ニ、中央會ニ在リテハ農商務大臣ニ届出ツヘシ

附則

第二十一條 本則ハ明治四十二年法律第二十七號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(四十二年法律第二十七號ハ同年勅令第二十一號ヲ以テ同年九月一日施行)

第二十二條 本則ハ明治三十三年勅令第二百五十五號ニ依リ設立スル産業組合ニハ之ヲ適用セス

○産業組合中央會ノ設立及事業ニ關スル件 明治四十二年八月二十日 勅令第二百十三號

朕産業組合中央會ノ設立及事業ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 産業組合中央會ヲ設立セムトスル者ハ申請書ニ定款ヲ添附シ之ヲ農商務大臣ニ差出シ發起ノ認可ヲ受クヘシ

第二條 發起ノ認可アリタルトキハ發起人ハ期限ヲ定メテ會員ヲ募集シ農商務大臣ノ認可ヲ得テ創立總會ヲ招集シ定款ヲ議定スヘシ

第三條 前項定款ノ議定ハ出席者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ之ヲ決ス

第四條 創立總會ノ議決權ハ書面又ハ代理人ヲ以テ之ヲ行フコトヲ得

第五條 創立總會ヲ終リタルトキハ發起人ハ申請書ニ定款及創立總會ノ決議録ノ謄本ヲ添附シ之ヲ農商務大臣ニ差出シ設立ノ許可ヲ受クヘシ

第六條 設立ノ許可アリタルトキハ發起人ハ其ノ事務ヲ理事ニ引繼クヘシ

第七條 産業組合中央會ハ産業組合法第八十二條第三項ニ依リ其ノ會員タル産業組合又ハ産業組合聯合會ニ對シ同法第一條第一項第三號及第四號ノ事業ヲ行フコトヲ得但シ加工ニ關スル事業ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

附則

本令ハ明治四十二年法律第二十七號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(四十二年法律第二十七號ハ同年勅令第一二一號ヲ以テ同年九月一日ヨリ施行)

○北海道ニ於テ農業者ノ設立スル産業組合ニ關スル件

明治三十三年六月一日
勅令第二百五十五號

朕北海道ニ於テ農業者ノ設立スル産業組合ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

- 第一條 本令ハ北海道ニ於テ農業者ノ設立スル産業組合ニ之ヲ適用ス
- 第二條 組合ノ組織ハ無限責任トス但シ設立後十箇年ヲ經タルモノハ北海道廳長官ノ許可ヲ得テ有限責任又ハ保證責任ト爲スコトヲ得
- 第三條 産業組合ハ二十人以上ニ非サレハ之ヲ設立スルコトヲ得ス
- 第四條 主務大臣ハ必要ト認ムルトキハ三箇年以内ノ期限ヲ以テ組合創業費ノ一部又ハ全部ヲ其ノ組合ニ貸與スルコトヲ得
- 第五條 出資ハ勞務ヲ以テ其ノ目的ト爲スコトヲ得
- 第六條 組合員ノ出資口數ハ一口トス但シ北海道廳長官ノ許可ヲ得タル場合ハ十口以下ニ於テ之ヲ定ムルコトヲ得
- 第七條 組合ノ理事ハ三名以上監事ハ二名以上トス但シ北海道廳長官ノ許可ヲ得タル場合ハ此限ニ在ラス
- 第八條 理事ハ總組合員ノ承諾アルニ非サレハ組合ト同一ノ事業ヲ目的トスル他ノ組合ノ理事ト爲ルコトヲ得ス

第九條 組合ハ毎事業年度ノ終リ迄ニ總會ノ決議ヲ經テ左ノ事項ヲ北海道廳支廳長ニ報告スヘシ

- 一 次年度ニ於ケル業務施行ノ方針
- 二 次年度ニ於ケル負債額ノ最高限度
- 三 信用組合ニ在テハ次年度ニ於テ組合員ニ貸付シ得ヘキ金額ノ最高限度前項第二號ノ負債額ノ最高限度ハ現在負債額ヲ合シテ之ヲ定メ其ノ年度内ハ之ヲ變更スルコトヲ得ス
- 第十條 組合ハ組合員ノ脱退シタル場合ニ於テモ出資ノ外其ノ持分ヲ拂戻スコトヲ得ス
- 第十一條 存立時期ヲ定メタル組合ニ於テハ其ノ組合員ハ已ムコトヲ得サル事由アル場合ヲ除クノ外總組合員ノ同意アルニ非サレハ脱退スルコトヲ得ス
- 第十二條 組合ハ組合員ノ數二十人以下ニ減シタルトキハ解散ス
- 第十三條 登記及届出ニ關シ産業組合法ニ於テ定メタル二週間ノ期間ハ本令ニ於テハ之ヲ三週間トス
- 第十四條 産業組合法ニ定メタル郡長ノ職務ハ支廳長之ヲ行フ

附則

本令施行ノ期日ハ内務大臣之ヲ定ム(三十四年内務省令第一四號ヲ以テ三十四年六月一日ヨリ施行ス)

○北海道ニ於テ農業者ノ設立スル産業組合ニ關スル施行規程

明治三十四年五月二十一日
内務省令第十三號

明治三十三年勅令第二百五十五號ノ北海道ニ於テ農業者ノ設立スル産業組合ニ關スル施行規程左ノ通

北海道ニ於テ農業者ノ設立スル産業組合ニ關スル件
施行規程

定ム

- 第一條 明治三十三年勅令第二百五十五號ニ依リ設立スル産業組合ノ組合員ハ北海道内ニ土地ヲ所有シ又ハ占有シテ農業ニ従事スル者ニ限ル
- 第二條 出資一口ノ金額ハ百圓ヲ超ユルコトヲ得ス
- 第三條 第一回拂込ノ金額ハ出資一口ノ金額ノ二十分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス
- 第四條 勞務ヲ以テ出資ノ目的ト爲シタルトキハ定款ヲ以テ其ノ價額及出資ノ方法ヲ定ムヘシ
- 第五條 準備金ノ額ハ出資總額ヲ下ルコトヲ得ス
- 組合ニ於テ借入金アルトキハ其ノ額ニ達スル迄前項準備金ノ外毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ積立ツヘシ
- 第六條 組合カ組合員ヨリ過意金ヲ徵收スルトキ又ハ新ニ加入スル者ヨリ加入金ヲ徵收スルトキハ其ノ金額ハ準備金ニ組入ルコトヲ要ス
- 第七條 持分ニ對スル剩餘金分配ノ率ハ組合ニ於テ毎年北海道廳長官ノ認可ヲ得テ之ヲ定ムヘシ
- 第八條 明治三十三年勅令第二百五十五號第四條ニ依リ組合創業費ノ貸與ヲ受ケムトスル組合ハ左ノ書類ヲ添付シ北海道廳長官ニ申請スヘシ
 - 一 貸與金使用ノ費途
 - 一 返還期限及返還ノ方法
 - 一 財産目錄
 - 一 貸借對照表
 - 一 事業ノ狀況

- 第九條 組合カ事業ヲ停止シタルトキ又ハ組合ノ事業又ハ組合財産ノ狀況ニ依リ其ノ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキ其ノ他組合ノ行爲カ公益ヲ害スルノ虞アルトキハ北海道廳長官ハ返還期限前ト雖前條ノ貸與金ヲ返還セシムルコトヲ得
- 第十條 理事及監事ハ定款ノ規定ニ依ルニ非ラサレハ給料又ハ報酬ヲ受クルコトヲ得ス但シ會計事務ニ專任スル理事ニシテ總會ノ決議ヲ經タル場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 第十一條 組合ノ事業年度ハ曆年ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 第十二條 理事ハ産業組合法ノ規定ニ依リ總會ニ提出シタル書類ハ其ノ決議ヲ經タル後遲滞ナク決議書ヲ添ヘ之ヲ北海道廳支廳長ニ差出スコトヲ要ス
- 登記ヲ爲シタルトキハ其ノ登記シタル事項及其ノ登記ノ年月日ニ付テモ亦前項ニ同シ但シ組合員名簿ニ記載シタル事項ハ此ノ限ニ在ラス
- 第十三條 北海道廳長官又ハ北海道廳支廳長ニ於テ産業組合法第六十條及第六十一條ノ規定ニ依リ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ行ヒタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ北海道廳支廳長ハ北海道廳長官ニ北海道廳長官ハ内務大臣ニ報告スルコトヲ要ス
- 第十四條 組合ノ事業報告書記載ノ事項及出資額ノ減少組織ノ變更並合併ノ認可申請ニ關シテハ産業組合法施行規則第八條第十條第十二條及第十三條ノ規定ヲ準用ス

附則

本令ハ明治三十四年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

○北海道區制 明治三十年五月二十五日（改正三三三年勅三七八號）
勅令第五百五十八號 （改正三三四年勅一九號）

朕北海道區制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

北海道區制

第一章 總則

第一款 區及其ノ區域

第二款 區住民及其ノ權利義務

第三款 區條例及區規則

第二章 區行政

第一款 區吏員ノ組織及選任

第二款 區吏員ノ職務權限

第三款 給料及給與

第三章 區會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限及處務規程

第四章 區ノ財務

第一款 區有財產及區稅

第二款 區ノ歲入出豫算及決算

第五章 區内一部ノ行政

第六章 區行政ノ監督

第七章 附則

北海道區制

第一章 總則

第一款 區及其ノ區域

第一條 此ノ勅令ハ北海道ニ於テ區ト爲ス地ニ行フモノトス

第二條 區ハ郡ノ區域ニ屬セス別ニ行政區畫トス但シ法律命令ニ依リ特ニ區ノ區域ト符合セサル行政區畫ヲ設クルコトヲ妨ケス

區ハ法人トシ法律命令ヲ以テ定メタル範圍内ニ於ケル公共事務並從來法律命令若クハ慣例ニ依リ又ハ將來法律命令ニ依リ區ニ屬スル事務ハ官ノ監督ヲ受ケテ之ヲ處理スルモノトス

第三條 區ヲ變シテ郡内ノ町村ト爲シ又ハ郡内ノ町村ヲ變シテ區ト爲スコトヲ要スルトキハ內務大臣之ヲ定ム此ノ場合ニ於テハ郡ノ境界モ亦自ラ變更スルモノトス

前項ノ處分ニ付財產處分ヲ要スルトキハ關係アル區會及町村會ノ意見ヲ聞キ北海道廳長官之ヲ定ム

區ノ境界ヲ變更シ又ハ郡内ノ町村ヲ區ニ合併シ又ハ區ノ區域ヲ分割スルコトヲ要スルトキハ一級町村制第三條ヲ適用ス此ノ場合ニ於テ郡ノ境界ニ涉ルモノアルトキハ郡ノ境界モ亦自ラ變更スルモノトス

區ノ境界明ナラサルコトアルトキハ内務大臣ノ許可ヲ得テ北海道廳長官之ヲ定ム

第二款 區住民及其ノ權利義務

第四條 區内ニ住居ヲ占ムル者ハ總テ區住民トス

區住民タル者ハ此ノ勅令ニ從ヒ區有財產並區ノ營造物ヲ共用スル權利ヲ有シ及區ノ負擔ヲ分任スル義務ヲ有スルモノトス但シ特ニ民法上ノ權利義務ヲ有スル者アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五條 帝國臣民ニシテ公權ヲ有スル獨立ノ男子三年以來(一)區ノ住民ト爲リ(二)區ノ負擔ヲ分任シ

及(三)區内ニ於テ地租年額五十錢以上ヲ納メ又ハ直接國稅、北海道水產稅若クハ直接國稅ト北海道水產稅トヲ合シテ年額二圓五十錢以上ヲ納メ又ハ耕地宅地三町歩以上ヲ所有スル者ハ區公民トス但シ公費ヲ以テ貧民救助ヲ受ケタル後三年ヲ經サル者ハ此ノ限ニ在ラス(三四年勅)

前項三年ノ制限ハ場合ニ依リ區會ノ議決ヲ經テ北海道廳長官ノ許可ヲ受ケ之ヲ特免スルコトヲ得此ノ勅令ニ於テ獨立ト稱スルハ滿二十五歲以上ニシテ一戸ヲ構ヘ且治産ノ禁ヲ受ケサルモノヲ云フ

區公民ニシテ相當ノ理由ナクシテ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職シ又ハ無任期ノ職務ヲ少クトモ二年間擔當セス又ハ其ノ職務ヲ實際ニ執行セサル者ニ對スル處分ノ規則ハ内務大臣之ヲ定ム其ノ規則

ニハ區會ノ議決ニ依リ六年以内區公民タル權ヲ停止シ場合ニ依リ同年期間他ノ住民ノ負擔スヘキ區稅ノ率ニ比シ四分ノ一以下ヲ增加スル規程ヲ設クルコトヲ得

土地所有ノ期間ハ所有權ノ登記ヲ爲シタル日ヨリ之ヲ起算ス(同上)

第六條 區公民タル者前條ニ掲載スル要件ノ一ヲ失フトキハ公民タル權ヲ失フモノトス

區公民タル者公權停止中若クハ租稅滯納處分中ハ公民タル權ヲ停止ス家資分散若クハ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ復權ノ決定アルマテ又公權剝奪若クハ停止ヲ附加スヘキ重罪輕罪ノ爲公判ニ付セラ

レタルトキハ其ノ裁判ノ確定ニ至ルマテ亦同シ

陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ區ノ公務ニ參與セサルモノトス現役以外ノ兵役ニ在ル者ニシテ戰時若クハ事變ニ際シ召集セラレタルトキモ亦同シ

區公民ニ限リテ任スヘキ職務ニ在ル者ニシテ本條第一項乃至第三項ノ場合ニ當ルトキ又ハ第五條第四項ニ依リ公民權ヲ停止セラレタルトキハ自ラ解職スルモノトス職ニ就キタル爲公民權ヲ有スル職務ニ在ル者ニシテ本條第二項第三項ノ場合ニ當ルトキ亦同シ(三二年勅)

前項ノ職務ニ在ル者ニシテ公權剝奪若クハ停止ヲ附加スヘキ重罪輕罪ノ爲豫審ニ付セラレタルトキハ監督官廳ハ其ノ職務ノ執行ヲ停止シ有給吏員ニ對シテハ併セテ給料ヲ支給セサルコトヲ得(同上)

第三款 區條例及區規則

第七條 區ハ區住民ノ權利義務及區ノ事務ニ關シ此ノ勅令中明文ナク又ハ條例ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ許シ若クハ規定スルコトヲ要スル事項ニ就テハ條例ヲ設クルコトヲ得

區ハ區有財產及區ノ營造物ニ關スル事項其ノ他此ノ勅令中規則ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ許シ若クハ規定スルコトヲ要スル事項ニ就テハ規則ヲ設クルコトヲ得

區條例及區規則ハ法律命令ニ抵觸スルコトヲ得ス

第二章 區行政

第一款 區吏員ノ組織及選任

第八條(三二年勅) 區ニ區長及助役各一名ヲ置ク但シ區條例ヲ以テ助役ノ定員ヲ增加スルコトヲ得區長及助役ハ有給吏員トシ其ノ任期ハ六年トス

第九條(同上) 内務大臣ハ區會ヲシテ區長候補者三名ヲ推薦セシメ上奏裁可ヲ請フヘシ若其ノ裁可ヲ得サルトキハ再推薦ヲ爲サシムヘシ

區會ニ於テ區長候補者ヲ推薦セヌ又ハ其ノ再推薦ニシテ仍裁可ヲ得サルトキハ更ニ推薦セシメ裁可ヲ得ルニ至ルノ間内務大臣ハ臨時代理者ヲ選任シ又ハ區費ヲ以テ官吏ヲ派遣シ區長ノ職務ヲ管掌セシムヘシ

臨時代理者ノ給料額旅費額等ハ内務大臣之ヲ定ム

第十條(同上) 助役ハ區會之ヲ選舉シ北海道廳長官ノ認可ヲ受クヘシ若其ノ認可ヲ得サルトキハ再選舉ヲ爲サシムヘシ

區會ニ於テ助役ヲ選舉セヌ又ハ其ノ再選舉ニシテ仍認可ヲ得サルトキハ更ニ選舉ヲ行ハシメ認可ヲ得ルニ至ルノ間北海道廳長官ハ臨時代理者ヲ選任シ又ハ區費ヲ以テ官吏ヲ派遣シ助役ノ職務ヲ管掌セシムヘシ

臨時代理者ノ給料額旅費額等ハ北海道廳長官之ヲ定ム

第十一條(同上) 其ノ區公民ニ非サル者ト雖區長又ハ助役ニ選任セラルルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ在職ノ期間ヲ限リ其ノ區公民權ヲ有ス

第十二條(同上) 區長及助役ハ第四十三條第二項ニ掲載スル職ヲ兼ヌルコトヲ得ス

父子兄弟タルノ緣故アル者ハ同時ニ區長及助役ノ職ニ在ルコトヲ得ス若區長トノ間ニ其ノ緣故アル者助役ノ選舉ニ當ルトキハ其ノ當選ヲ無効トシ助役トノ間ニ其ノ緣故アル者區長ノ任ヲ受クルトキハ助役ハ其ノ職ヲ失フモノトス助役數名アル場合ハ第四十三條第四項ノ例ヲ適用ス

第十三條(同上) 區長ハ内務大臣助役ハ北海道廳長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ他ノ有給ノ職務ヲ兼任

シ又ハ營業其ノ他報償アル業務ニ従事スルコトヲ得ス

第十四條(同上) 區長及助役ハ區會ノ同意ヲ得區長ハ内務大臣助役ハ北海道廳長官ニ申請シ其ノ認許ヲ受クルニ非サレハ任期中退職スルコトヲ得ス但シ任意ニ退職ノ申請ヲ爲シタル後三箇月ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十五條(同上) 區ニ收入役及收入役代理者各一名ヲ置ク但シ區條例ヲ以テ收入役代理者ノ定員ヲ增加スルコトヲ得

收入役及收入役代理者ハ區長ノ推薦ニ依リ區會之ヲ選定シ北海道廳長官ノ認可ヲ受クヘシ

收入役及收入役代理者ハ區長又ハ助役ヲ兼ヌルコトヲ得ス其ノ他第八條第二項及第十條乃至第十四條中助役ニ關スル例ヲ適用ス但シ助役ト收入役又ハ收入役代理者トノ關係ニ於テ亦第十二條ノ例ニ依ル

收入役及收入役代理者ノ身元保證金ニ付テハ區條例ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第十六條(同上) 區長助役共ニ故障アルトキ又ハ收入役、收入役代理者共ニ故障アルトキハ北海道廳長官ハ第十條第二項ノ例ヲ適用スルコトヲ得

第十七條(同上) 區ニ書記其ノ他必要ノ附屬員ヲ置キ有給吏員トス其ノ人員ハ區會ノ議決ヲ以テ之ヲ定メ區長之ヲ任免ス

第十八條 區ハ處務便宜ノ爲區規則ヲ以テ區ノ區域ヲ數部ニ分テ每部部长及其ノ代理者各一名ヲ置クコトヲ得

部部长及其ノ代理者ハ名譽職トス

部部长及其ノ代理者ハ選舉權ヲ有スル區公民ノ中ニ就キ區會之ヲ選舉シ區長ノ認可ヲ受クヘシ(三二二年勅三七)

第十九條 區ハ區規則ヲ以テ臨時若クハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得

委員ハ名譽職トス

委員ハ區會議員若クハ區公民中選舉權ヲ有スル者ヲ以テ之ニ充テ又ハ區會議員及區公民中選舉權ヲ有スル者ヲ以テ之ニ充ツ其ノ合議體ニ組織シタル場合ニ於テハ區長若クハ其ノ委任ヲ受ケタル助役ヲ以テ委員長トス(三二年勅 三七八號)

委員ハ區會ニ於テ之ヲ選舉ス

委員ノ組織任期等ニ關スル事項ハ第一項ノ規則ニ之ヲ規定スヘシ

第二十條(同上) 區吏員ハ任期滿限ノ後再選セラルルコトヲ得

第二款 區吏員ノ職務權限(同上)

第二十一條 區長ハ區ヲ統轄シ其ノ行政事務ヲ擔任ス

區長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

- 一 區會ノ議事ヲ準備シ並其ノ議決ヲ承認シ及執行スル事
- 二 區有財産及區ノ營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者アルトキハ其ノ事務ヲ監督スル事
- 三 區ノ權利ヲ保護スル事
- 四 區ノ歳入ヲ管理シ歳入出豫算其ノ他區會ノ議決ニ依テ定マリタル收入支出ヲ命令シ會計及出納ヲ監視スル事
- 五 區吏員ヲ監督シ其ノ任免ニ係ル區吏員ニ對シ懲戒處分ヲ行フ事其ノ懲戒處分ハ譴責及十圓以下ノ過怠金トス(同上)

六 區ノ諸證書及公文書類ヲ保管スル事

七 外部ニ對シテ區ヲ代表シ及區ノ名義ヲ以テ他應若クハ一個人ト交渉スル事

八 法律命令若クハ區會ノ議決ニ依リ使用料加入金手数料區稅及夫役現品ヲ賦課徵收スル事

九 其ノ他法律命令若クハ上司ノ指令ニ依テ區長ニ委任シタル事務ヲ處理スル事

第二十二條(同上) 區長ハ法律命令ノ定ムル所ニ依リ區ニ關スル國及北海道地方費ノ行政事務ヲ掌ル

(三四年勅 二九號)

前項ノ事務ハ北海道廳長官ノ許可ヲ得テ之ヲ助役ニ分掌セシムルコトヲ得

本條ニ記載スル事務ヲ執行スル爲要スル費用ハ區ノ負擔トス

第二十三條 區長若クハ監督官廳ニ於テ區會ノ議決其ノ權限ヲ越エ又ハ法律命令ニ背クト認ムルトキハ區長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ若クハ取消スヘシ

前項再議ニ付スルモ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ區長ヨリ北海道廳長官ニ申立テ其ノ決定ヲ請フヘシ又前項取消ニ不服アル區會ハ北海道廳長官ニ訴願スルコトヲ得

前項北海道廳長官ノ決定若クハ裁決ニ不服アル區會ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

區長若クハ監督官廳ニ於テ區會ノ議決公益ニ害アリト認ムルトキハ區長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スヘシ

前項再議ニ付スルモ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ區長ヨリ北海道廳長官ニ申立テ其ノ決定ヲ請フヘシ其ノ北海道廳長官ノ決定ニ不服アル區會ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

本條ノ決定若クハ裁決ハ其ノ確定ニ至ルマテ執行ヲ停止ス但シ當該官廳ニ於テ停止ノ爲ニ公益ニ害

アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十四條 區會ニ於テ必要ノ收支ニ關シ否決シタルトキ又ハ區長若クハ監督官廳ニ於テ區會ノ議決必要ノ收支ニ關シ不當ノ削減ヲ爲スト認ムルトキハ區長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ北海道廳長官ニ申立テ指揮ヲ請フヘシ但シ場合ニ依リ再議ニ付セスシテ直ニ北海道廳長官ノ指揮ヲ請フコトヲ得

前項北海道廳長官ノ處分ニ不服アル區會ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得
本條ノ處分ハ其ノ確定ニ至ルマテ執行ヲ停止ス但シ當該官廳ニ於テ停止ノ爲ニ公益ニ害アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條 區會招集ニ應セス若クハ成立セサルトキハ區長ハ北海道廳長官ニ申立テ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ得

區會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セス若クハ議了セサルトキハ前項ノ例ニ依ル

第一項ノ處分ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ區會ニ報告スヘシ

第二十六條 第六十六條但書若クハ第六十八條第二項ノ場合ニ於テ全ク會議ヲ開クコト能ハサルトキハ前條ノ例ニ依ル(三二年勅 三七八號)

第二十七條(同上) 區長ハ區吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

第二十八條(同上) 助役ハ區長ノ事務ヲ補助ス
區長ハ區會ノ同意ヲ得北海道廳長官ノ許可ヲ經テ助役ヲシテ區行政事務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

助役ハ區長故障アルトキ之ヲ代理ス助役數名アルトキハ上席者之ヲ代理ス

第二十九條(同上) 收入役ハ法律命令中別段ノ規定アルモノノ外區ノ出納其ノ他會計事務並第二十二條ニ依ル國及北海道地方費ノ出納其ノ他會計事務ヲ掌ル(三四年勅 一九號)

收入役代理者ハ收入役ノ事務ヲ補助ス
區長ハ收入役及區會ノ同意ヲ得テ收入役代理者ヲシテ收入役ノ事務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

收入役代理者ハ收入役故障アルトキ之ヲ代理ス收入役代理者數名アルトキハ上席者之ヲ代理ス

第三十條(同上) 書記其ノ他ノ附屬員ハ區長ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第三十一條 部長及其ノ代理者ハ區長ノ命令ヲ承ケ部内ニ關スル國及北海道地方費ノ行政及區ノ行政ニ付區長ノ事務ヲ補助執行ス(同上)

第三十二條 委員ハ區長ノ監督ニ屬シ區有財産若クハ區ノ營造物ヲ管理シ其ノ他區行政事務ノ一部ヲ分掌シ又ハ一時ノ委託ニ依リ事務ヲ處辨ス

委員ノ職務權限ニ關スル細則ハ區規則ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

第三十三條 區役所ノ處務規程ハ北海道廳長官之ヲ定メ其ノ他區吏員ノ處務規程ハ北海道廳長官ノ許可ヲ得テ區長之ヲ定ム

區吏員ノ服務紀律ハ北海道廳長官之ヲ定ム

第三款 給料及給與

第三十四條 名譽職吏員ハ職務取扱ノ爲ニ要スル實費ノ辨償ヲ受クルコトヲ得
部長及其ノ代理者並委員ニハ實費辨償ノ外區會ノ議決ヲ經テ勤務ニ相當スル報酬ヲ給スルコトヲ得
實費辨償額報酬額及其ノ支給方法ハ區會ノ議決ヲ經テ北海道廳長官ノ許可ヲ受クヘシ

第三十五條(同上) 區長助役其ノ他有給吏員ノ給料額旅費額及其ノ支給方法ハ區會ノ議決ヲ以テ之ヲ定ム

區長ノ給料額ハ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス若シテ許可スヘカラスト認ムルトキハ内務大臣之ヲ定ム

區長ノ給料支給方法並旅費額及其ノ支給方法助役其ノ他有給吏員ノ給料額旅費額及其ノ支給方法ハ北海道廳長官ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス若シテ許可スヘカラスト認ムルトキハ北海道廳長官之ヲ定ム

本條ノ給料額旅費額及其ノ支給方法ハ區條例ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ前二項ノ許可ヲ受クルコトヲ要セス

區條例ヲ以テ有給吏員ノ退職料退職給與金及遺族扶助料ニ關スル規定ヲ設クルコトヲ得

第三十六條 有給吏員ノ給料旅費退職料退職給與金遺族扶助料其ノ他第三十四條ノ給與ニ關シ異議アル者ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得(三二年勅三七八號)
(三四年勅一九號)

本條ノ訴願若クハ訴訟ノ爲ニ處分ノ執行ヲ停止セス

第三十七條 給料旅費退職料退職給與金遺族扶助料報酬辨償等ハ區ノ負擔トス(三四年勅)
(二九號)

第三章 區會

第一款 組織及選舉

第二十八條 區會議員ハ區ノ選舉人其ノ被選舉權アル者ヨリ之ヲ選舉ス其ノ定員ハ人口五萬未満ノ區ニ於テハ二十四人以下トシ人口五萬以上ノ區ニ於テハ三十人以下トシ區規則ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第二十九條 區公民ハ總テ選舉權ヲ有ス但シ公民權停止中ノ者及第六條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此ノ限ニ在ラズ

直接區稅ヲ納ムル者其ノ額區公民ノ最多ク直接區稅ヲ納ムル三名中ノ一名ヨリモ多キトキハ區住民ニ非サル者又ハ三年以來ノ區住民ニ非サル者ト雖第五條ニ掲載スル其ノ他ノ要件ヲ具備スルトキハ選舉權ヲ有ス但シ第六條第二項ノ公民權停止ノ條件又ハ同條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此ノ限ニ在ラズ

第四十條 選舉人ハ分テ三級トス

選舉人中直接區稅ノ納額最多キ者ヲ合セテ選舉人總員ノ納ムル總額ノ三分ノ一ニ當ルヘキ者ヲ一級トス

一級選舉人ヲ除ク外直接區稅ノ納額多キ者ヲ合セテ選舉人總員ノ納ムル總額ノ三分ノ一ニ當ルヘキ者ヲ二級トシ爾餘ノ選舉人ヲ三級トス

各級ノ間納稅額兩級ニ跨ル者アルトキハ上級ニ入ルヘシ又兩級ノ間ニ同額ノ納稅者二名以上アルトキハ區内ニ住居スル年數ノ多キ者ヲ以テ上級ニ入ル若シ住居ノ年數ニ依リ難キトキハ年長者ヲ以テシ

年齢ニモ依リ難キトキハ區長自ラ抽籤シテ之ヲ定ムヘシ

選舉人每級各別ニ議員ノ三分ノ一ヲ選舉ス其ノ被選舉人ハ同級内ノ者ニ限ラサルモノトス

第四十一條 區域廣濶又ハ人口稠密ナル區ニ於テハ區會ノ議決ヲ經テ區畫ヲ定メ選舉分會ヲ設クルコトヲ得但シ特ニ二級三級選舉ノ爲ニ設クルモ妨ナシ

分會ニ於テ爲シタル投票ハ役票函ノ儘本會ニ集メテ之ヲ合算シ總數ヲ以テ當選ヲ定ム

分會ハ本會ト同日時ニ之ヲ開クヘシ其ノ他選舉ノ手續會場ノ取締等總テ本會ノ例ニ依ル

第四十二條 特別ノ事情アル區ニ於テハ區條例ヲ以テ選舉區ヲ設クルコトヲ得

選舉區ノ數及其ノ區域並各選舉區ヨリ選舉スヘキ議員ノ員數ハ選舉人ノ員數ニ準シ前項ノ條例ニ之ヲ規定スヘシ

選舉人ハ住居ヲ占ムル地ニ依テ所屬ノ選舉區ヲ定ム其ノ區内ニ住居ヲ占メサル者ハ直接區稅ノ賦課ヲ受ケタル物件ノ所在ニ依テ之ヲ定ム若數選舉區ニ互リ賦課ヲ受ケタル物件アルトキハ稅額ノ最多キ物件ノ所在ニ依テ之ヲ定ム又直接區稅ノ賦課ヲ受ケタル物件ナキトキハ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スル地ニ依テ之ヲ定ムヘシ但シ本文ノ場合ニ於テ稅額ノ相同キトキ又ハ數選舉區ニ互リ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スルトキハ本人ノ申出ニ依テ之ヲ定ムヘシ

選舉區ヲ設クルトキハ各選舉區ニ於テ選舉人ノ等級ヲ分ツヘシ

各選舉區ヨリ選舉スヘキ議員ノ員數各級ニ等分シ難キトキハ各選舉區各級ヨリ選舉スヘキ議員ノ員數ヲ第一項ノ條例ニ規定スヘシ

被選舉人ハ其ノ選舉區内ノ者ニ限ラサルモノトス

第四十三條 選舉權ヲ有スル區公民ハ總テ被選舉權ヲ有ス

左ニ掲クル者ハ被選舉權ヲ有セス

- 一 北海道廳ノ官吏
 - 二 其ノ區ノ有給吏員(三二七號)
 - 三 檢事警察官吏及收稅官吏(同上)
 - 四 神官僧侶其ノ他諸宗教師
 - 五 小學校教員
- 其ノ他官吏ニシテ當選シ之ニ應セントスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受クヘシ

父子兄弟タル緣故アル者ハ同時ニ區會議員タルコトヲ得ス若同時ニ選舉セラレタルトキハ投票ノ數ニ依テ其ノ多キ者一人ヲ當選トシ同數ナレハ年長者ヲ當選トシ同年ナレハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム其ノ時ヲ異ニシテ選舉セラレタル者ハ後者議員タルコトヲ得ス

區長又ハ助役トノ間父子兄弟タル緣故アル者ハ之ト同時ニ區會議員タルコトヲ得ス若議員トノ間ニ其ノ緣故アル者區長又ハ助役ノ任ヲ受ケタルトキハ其ノ緣故アル議員ハ其ノ職ヲ失フモノトス(同上)

第四十四條 區會議員ハ名譽職トス其ノ任期ハ六年トシ毎三年各級ニ於テ其ノ半數ヲ改選ス若各級ノ議員二分シ難キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ退職セシム初回ニ於テ退職セシムヘキ者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

前項議員ノ任期ハ總選舉ヲ行ヒタル日選舉ノ數日ニ互ル又ハ定期改選期日選舉ノ數日ニ互ルヨリ起算シ曆ニ從フ但シ總選舉ノ場合ニ於テ一部ノ議員後レテ選舉セラレ又ハ定期改選ノ場合ニ於テ一部若クハ全部ノ議員其ノ期日後ニ選舉セララルコトアルモ先ニ總選舉ヲ行ヒタル日又ハ定期改選期日ヨリ起算ス

退職ノ議員ハ再選セララルコトヲ得

議員ニ關シテハ第三十四條第一項第三項第三十六條第三十七條ノ例ヲ適用ス(同上)

第四十五條 區會議員中關員アルトキハ每三年定期改選ノ時ニ至リ同時ニ補闕選舉ヲ行フヘシ若定員三分ノ一以上關員アルトキ又ハ區會區長若ハ北海道廳長官ニ於テ臨時補闕ヲ必要ト認ムルトキハ定期前ト雖補闕選舉ヲ行フヘシ(同上)
補闕議員ハ前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

定期改選及補選選舉ハ前任者ノ選舉セラレタル選舉等級及選舉區ニ從テ之カ選舉ヲ行フヘシ

第四十六條 區長ハ選舉ヲ行フ毎ニ其ノ選舉前六十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉人ノ資格ヲ記載セル選舉原簿ヲ調製シ此ノ原簿ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スヘシ但シ選舉區ヲ設クルトキハ毎選舉區各別ニ原簿及名簿ヲ調製スヘシ

選舉人名簿ハ其ノ選舉前五十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ七日間區役所ニ於テ關係者ノ縦覽ニ供スヘシ若關係者ニ於テ異議アルトキハ縦覽期限内ニ之ヲ區長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ區長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ之ヲ決定スヘシ

前項區長ノ決定ニ不服アル者ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ノ異議、訴願若クハ訴訟ノ爲ニ處分、決定若クハ裁決ノ執行ヲ停止セス

區長ハ第二項異議ノ決定又ハ第三項訴願ノ裁決若クハ訴訟ノ判決ニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ選舉ノ日ヨリ五日以前ニ修正ヲ加ヘテ確定名簿ト爲シ之ニ登錄セラレサル者ハ何人タリトモ選舉ヲ行フコトヲ得ス

本條ニ依リ確定シタル名簿ハ其ノ確定シタル日ヨリ一年以内ニ於テ選舉ヲ行フトキモ亦之ヲ適用ス但シ名簿確定後訴願ノ裁決若クハ訴訟ノ判決ニ依リ修正ヲ要スルトキハ選舉ノ日ヨリ五日以前ニ修正スヘキモノトス

選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ直ニ其ノ要領ヲ公告スヘシ

第四十七條 選舉ヲ行フトキハ區長ハ選舉ノ日ヨリ少クトモ七日前ニ選舉ノ場所日時並毎選舉區及毎級ヨリ選舉スヘキ議員ノ員數ヲ公告スヘシ

各級ニ於テ選舉ヲ行フ順序ハ先ツ三級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ二級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ一級ノ選舉ヲ行フヘシ

第四十八條 選舉掛ハ名譽職トシ區長ニ於テ臨時ニ選舉人中ヨリ二名若クハ四名ヲ選任シ區長若クハ其ノ代理人ハ掛長ト爲リ選舉會ヲ開閉シ會場ノ取締ニ任ス但シ選舉分會若クハ選舉區ヲ設クルトキハ各別ニ選舉掛ヲ設クヘシ

第四十九條 選舉開會中ハ選舉人ヲ除ク外選舉會場ニ入ルコトヲ得ス選舉人ハ選舉會場ニ於テ協議若クハ勸誘ヲ爲スコトヲ得ス

第五十條 選舉ハ投票ヲ以テ之ヲ行フ投票ニハ被選舉人ノ氏名又ハ其ノ住所氏名ヲ記シ封緘ノ上選舉人自ラ之ヲ掛長ニ差出スヘシ但シ選舉人ノ氏名ハ投票ニ記入スルコトヲ得ス

區住民ニ非スシテ第三十九條第二項ニ依リ選舉權ヲ有スル者ハ代人ヲ以テ選舉ヲ行フコトヲ得(同上)

代人ハ帝國臣民ニシテ公權ヲ有シ且公權停止中ニ非サル獨立ノ男子ニ限ル但シ一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス又代人ハ委任狀ヲ選舉掛ニ示スヘシ

選舉人投票ヲ差出ストキハ自己ノ氏名及住所ヲ掛長ニ申立テ掛長ハ選舉人名簿ニ照シテ之ヲ受ケ封緘ノ儘投票函ニ投入スヘシ但シ投票函ハ投票ヲ終ルマテ之ヲ開クコトヲ得ス

第五十一條 單名投票ニシテ左ノ各號ニ該當スルモノハ之ヲ無効トス連名投票ニシテ第一號第五號第六號ニ該當スルモノモ亦同シ又連名投票ニシテ第二號乃至第四號ニ該當スルモノハ其ノ部分ノミヲ無効トス

一 氏名ヲ記載セサルモノ

二 記載シタル氏名ノ讀ミ難キモノ
 三 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
 四 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
 五 被選舉人ノ住所氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ位階敬稱ノ類ヲ記入スルハ此ノ限ニ在ラス
 六 投票用紙ヲ一定シタル場合ニ於テ其ノ用紙ヲ用キサルモノ
 投票ニ記載ノ人員其ノ選舉スヘキ定數ヲ過クルトキハ末尾ニ記載シタルモノヲ順次ニ棄却スヘシ
 投票ノ受理並効力ニ關スル事項ハ選舉掛之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ掛長之ヲ決ス
 第五十二條 區會議員ノ選舉ハ有效投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス投票ノ數相同キトキハ年長者ヲ取り同年ナルトキハ掛長自ラ抽籤シテ其ノ當選ヲ定ム
 同時ニ補闕議員數名ヲ選舉スルトキハ投票數ノ多キ者ヲ以テ殘任期ノ長キ前任者ノ補闕ト爲シ投票ノ數相同キトキハ掛長自ラ抽籤シテ其ノ順序ヲ定ム
 第五十三條 選舉掛ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ頗末ヲ記錄シ選舉ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選舉人名簿其ノ他關係書類ヲ合綴シテ選舉掛長選舉掛ノ一名若クハ數名ト共ニ之ニ署名捺印シ少クトモ六年間之ヲ保存スヘシ
 投票ハ選舉ヲ終リタル後之ヲ取纏メ封緘ノ上選舉掛長選舉掛ノ一名若クハ數名ト共ニ之ニ捺印シ少クトモ六年間之ヲ保存スヘシ
 第五十四條 選舉ヲ終リタルトキハ選舉掛長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知スヘシ其ノ當選ヲ辭セントスル者ハ當選ノ告知ヲ發シタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ區長ニ申立ツヘシ
 一人ニシテ數級若クハ數選舉區ノ選舉ニ當リタルトキハ當選ノ告知ヲ最終ニ發シタル日ヨリ五日以

内ニ何レノ選舉ニ應スヘキコトヲ區長ニ申立ツヘシ其ノ期限内ニ之ヲ申立テサル者ハ總テ其ノ當選ヲ辭シタル者ト看做スヘシ
 定期改選ト補闕選舉トヲ同時ニ行ヒタル場合ニ於テ一人ニシテ其ノ兩選舉ニ當リタルトキモ亦前項ノ例ヲ適用ス
 本條ニ依リ當選ヲ辭シタル者アルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ
 選舉ヲ終リ當選者定マリタルトキハ區長ハ直ニ其ノ住所氏名ヲ公告シ同時ニ選舉錄ノ寫ヲ添ヘ之ヲ北海道廳長官ニ報告スヘシ
 第五十五條 選舉人選舉ノ効力ニ關シ異議アルトキハ選舉ノ日ヨリ七日以内ニ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
 北海道廳長官ニ於テ選舉ノ効力ニ關シ異議アルトキハ訴願ノ有無ニ拘ラス前條ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ二十一日以内ニ選舉ヲ取消スヘシ
 前項北海道廳長官ノ處分ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
 本條ノ訴願若クハ訴訟ノ爲ニ處分ノ執行ヲ停止セス
 第五十六條 選舉ノ規程ニ違背スルコトアルトキハ其ノ選舉ヲ無効トシ又當選者中其ノ資格ノ要件ヲ有セサル者アルトキハ其ノ當選ヲ無効トスヘキモノトス但シ選舉ノ規程ニ違背スル所アルモ其ノ事ノ輕微ニシテ選舉ノ結果ニ異動ヲ生セサルモノハ此ノ限ニ在ラス
 第五十七條 選舉若クハ當選無効ト確定シタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ
 第五十八條 區會議員中其ノ資格ノ要件ヲ有セサル者アルトキハ其ノ職ヲ失フモノトス
 區長若クハ區會ニ於テ前項ニ該當スル者アルコトヲ發見シタルトキハ北海道廳長官ニ申立ツヘシ

第一項資格要件ノ有無ハ北海道廳長官ニ於テ前項ノ申立ニ依リ又ハ其ノ職權ヲ以テ之ヲ決定ス
前項北海道廳長官ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
本條ノ場合ニ於テ資格要件ヲ有セストスル決定ハ其ノ決定確定シ又ハ訴訟ノ判決アルマテ其ノ執行
ヲ停止ス

第二款 職務權限及處務規程

第五十九條 區會ノ議決ヲ經ヘキ事件左ノ如シ

- 一 區條例及區規則ヲ設定スル事
 - 二 區費ヲ以テ支辨スヘキ事業但シ國及北海道地方費ノ行政事務ニ屬スルモノハ此ノ限ニ在ラス
(三四年勅
一九號)
 - 三 歳入出豫算ヲ定ムル事
 - 四 法律命令ニ定ムルモノヲ除ク外使用料加入金手数料區稅及夫役現品ノ賦課徵收ノ法ヲ定ムル事
 - 五 區有不動產ニ關スル權利ノ得喪ヲ目的トスル行爲ヲ爲ス事(三二年勅
三七八號)
 - 六 基本財産及積立金穀等ノ處分ヲ爲ス事
 - 七 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ棄却ヲ爲ス事
 - 八 區有財産及區ノ營造物ノ管理方法ヲ定ムル事
 - 九 區吏員ノ身元保證ヲ徵シ並其ノ額ヲ定ムル事
 - 十 區ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事
- 其ノ他區會ノ職權ハ法律命令ノ定ムル所ニ依ル
- 第六十條 區會ハ區ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閲シ區長ノ報告書ヲ請求シテ事務ノ管理議決ノ

施行並收入支出ノ正否ヲ検査スルコトヲ得
區會ハ前項ノ目的ノ爲ニ五名以下ノ委員ヲ議員中ヨリ選舉シ區長若クハ其ノ指命シタル吏員立會ノ
上關係書類並金庫ヲ檢閲セシムルコトヲ得
區會ハ區ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ區長若クハ監督官廳ニ差出スコトヲ得
區會ハ區長若クハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スヘシ
第六十一條 議員タル者ハ選舉人ノ指示若クハ委嘱ヲ受クヘカラサルモノトス
第六十二條 區會ハ區長ヲ以テ議長トス
區會ハ區會議員中ヨリ議長代理者一名ヲ選舉スヘシ
議長代理者ハ區會議員ノ定期改選期日ノ前日マテ在職スルモノトス但シ議員ノ職ヲ退クトキハ其ノ
職ヲ失フモノトス
第二項ノ選舉ハ總選舉ヲ行ヒタル場合ハ初會ニ於テ其ノ他ハ前任者退職當時ノ會議又ハ退職後ノ初
會ニ於テ之ヲ行フ
第六十三條 議長故障アルトキハ其ノ代理者之ニ代リ議長及其ノ代理者共ニ故障アルトキハ區會ハ年
長ノ議員ヲ以テ假議長トスヘシ但シ臨時ニ假議長ヲ選舉スルモ妨ナシ
第六十四條 區長及其ノ委任ヲ受ケタル吏員ハ何時ニテモ會議ニ出席シ及發言スルコトヲ得但シ議員
ノ演說ヲ中止スルコトヲ得ス
前項ノ出席者ハ議員ノ職ニ在ル者ヲ除ク外議決ニ加ハルコトヲ得ス
第六十五條 區會ハ會議ノ必要アル毎ニ區長會期ヲ定メテ之ヲ招集ス議員四分ノ一以上ヨリ請求アル
場合ニ於テ相當ノ理由アリト認ムルトキモ亦同シ

招集並會議ノ事件ヲ告知スルハ急施ヲ要スル場合ヲ除ク外少クモ會議ノ三日前タルヘシ
區會ハ區長之ヲ開閉ス

第六十六條 區會ハ議員定員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ同一ノ事件ニ
付集會再回ニ至ルモ議員仍半數ニ滿タサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十七條 區會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ可否スル所ニ依ル

第六十八條 議長及議員ハ自己若クハ其ノ父母妻子兄弟姊妹ノ一身上ニ關スル事件ニ就テハ區會ノ承
諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス

前項除席ノ爲ニ議員ノ數減少シテ會議ヲ開ク定數ニ滿タサルトキモ仍會議ヲ開クコトヲ得

第六十九條 區會ノ會議ハ公開ス但シ議長ノ意見ヲ以テ傍聽ヲ禁スルコトヲ得又區長ヨリ要求アリタ
ルトキハ傍聽ヲ禁スヘシ

第七十條 議長ハ會議ノ事ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第七十一條 會議及傍聽ノ紀律並取締ニ關スル規則ハ內務大臣之ヲ定ム其ノ規則ニハ之ニ違背シタル
議員ニ對シ區會ノ議決ニ依リ五日以内出席ヲ停止シ又ハ二圓以下ノ過怠金ヲ科スル規程ヲ設クルコ
トヲ得

第七十二條 前條ニ依リ內務大臣ノ定ムル規則ノ外區會ハ北海道廳長官ノ許可ヲ得テ會議規則及傍聽
規則ヲ設クヘシ其ノ會議規則ニハ之ニ違背シタル議員ニ對シ區會ノ議決ニ依リ五日以内出席ヲ停止
シ又ハ二圓以下ノ過怠金ヲ科スル規程ヲ設クルコトヲ得

區會ニ於テ行フ選舉ノ方法ハ會議規則ニ之ヲ規定スヘキモノトス
第七十三條 區會ノ書記ハ區吏員ノ中ニ就キ區長之ヲ命ス

書記ハ議長ニ隸屬シテ庶務ニ從事ス

議長ハ書記ヲシテ會議録ヲ製シテ會議ノ顛末並出席議員ノ氏名ヲ記録セシムヘシ
會議録ハ議長及議員二名以上之ニ署名捺印スヘキモノトス
議長ハ會議録ヲ添ヘ會議ノ結果ヲ區長ニ報告スヘシ

第四章 區ノ財務

第一款 區有財產及區稅

第七十四條 區ハ不動產積立金穀等ヲ以テ基本財產ト爲シ之ヲ維持スル義務アリ
北海道廳長官ハ區ノ經濟ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ額ヲ定メテ基本財產ヲ蓄積セシムルコト
ヲ得

臨時ニ收入シタル金穀等ハ基本財產ニ加入スヘシ但シ寄附金穀等寄附者別ニ其ノ使用ノ目的ヲ定ム
ルモノハ此ノ限ニ在ラス

區ハ區規則ノ規程ニ依リ或ル事業ノ爲ニ特別ノ基本財產若クハ積立金穀等ヲ設クルコトヲ得此ノ場
合ニ於テハ區會ノ議決ヲ經テ前項收入ノ一部若クハ全部ヲ特別ノ基本財產若クハ積立金穀等ニ加入
スルコトヲ得但シ寄附金穀等寄附者別ニ其ノ使用ノ目的ヲ定ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

第七十五條 區有財產ハ其ノ收益ヲ以テ區ノ收入ト爲スカ爲ニ管理スルモノトス但シ區ノ直接ノ公用
若クハ區住民ノ直接ノ共用ニ供シタル區有財產ニシテ其ノ公用若クハ共用ニ妨アルトキ及特ニ民法
上ノ權利ヲ有スル者アル場合ニ於テ其ノ權利ニ牴觸スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七十六條 區有財產ヲ區住民ノ全部若クハ一部ノ直接ノ共用ニ供スルニハ區規則ノ規程ニ依ル
ヘシ

前項ノ規則ニハ使用料ノ外場合ニ依リ加入金徴收ノ規程ヲ設クルコトヲ得
第七十七條 區有財産ノ賣却貸與又ハ區ノ工事及物件調達ノ請負ハ公ノ入札ニ付スヘシ但シ臨時急施
ヲ要スルトキ又ハ入札ノ價額其ノ費用ニ比シテ得失相償ハサルトキ又ハ區會ノ承諾ヲ得ルトキハ此
ノ限ニ在ラス

第七十八條 區ハ北海道廳長官ノ許可ヲ得テ國區町村其ノ他公共團體若クハ一個人ノ事業ニ對シ寄附
若クハ補助ヲ爲スコトヲ得

第七十九條 區ハ其ノ必要ナル支出及法律命令ニ依リ賦課セラルル支出ヲ負擔スル義務アリ
區ハ區有財産ヨリ生スル收入使用料手數料過怠金其ノ他法律命令ニ依リ區ニ屬スル收入ヲ以テ前項
ノ支出ニ充テ仍不足アルトキハ區稅及夫役現品ヲ賦課徴收スルコトヲ得

第八十條 區ハ區有財産若クハ區ノ營造物ノ使用ニ付又ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付使用料又ハ
手數料ヲ徴收スルコトヲ得

第八十一條 區稅トシテ賦課スルコトヲ得ヘキ目左ノ如シ
一 國稅北海道地方稅ノ附加稅(三四年勅
一九號)

二 直接若クハ間接ノ特別稅
附加稅ハ直接ノ國稅又ハ北海道地方稅ニ附加シ均一ノ稅率ヲ以テ區ノ全部ニ賦課スルヲ常例トス
(同上)

特別稅ハ別ニ區限リ稅目ヲ設ケ課稅スルコトヲ要スルトキ賦課スルモノトス
第八十二條 此ノ勅令中別ニ規程アルモノヲ除ク外特別稅ニ關スル細則ハ區條例又使用料手數料ニ關
スル細則ハ區規則ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

第八十三條 區住民ニ非スト雖三箇月以上區内ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スル者ハ其ノ住居ヲ構ヘタル
初若クハ滞在ノ初ニ遡リ區稅ヲ納ムル義務アルモノトス

區住民ニ非ス又三箇月以上區内ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スルコトナキ者ト雖區内ニ於テ土地家屋ヲ
所有シ若クハ使用シ又ハ區内ニ於テ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ又ハ區内ニ於テ或ル行爲ヲ爲ス者ハ
土地家屋營業若クハ其ノ所得ニ對シ又ハ行爲ニ對シテ賦課スル區稅ヲ納ムル義務アルモノトス其ノ
法人タルトキモ亦同シ但シ官業ハ此ノ限ニ在ラス

第八十四條 所得稅ノ附加稅ヲ賦課シ及區ニ於テ特別ニ所得稅ヲ賦課スルトキハ納稅義務者ノ區外ニ
於テ所有シ若クハ使用スル土地家屋又ハ區外ニ於テ營業所ヲ定メタル營業ヨリ收入スル所得ハ之ヲ
控除スヘキモノトス

數市區町村ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スル者ニ前項ノ區稅ヲ賦課スルトキハ其ノ所得ヲ各市區町村ニ
平分シ其ノ一部分ニノミ課稅スヘシ但シ土地家屋又ハ營業所ヲ定メタル營業ヨリ收入スル所得ハ此
ノ限ニ在ラス

數市區町村ニ涉リ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ且其ノ本稅ヲ分別シテ納メサル者ニ對シ營業稅ノ附加
稅ヲ賦課スルトキハ北海道廳長官ノ定ムル所ニ從ヒ本稅額ヲ各區町村ニ分割シテ其ノ一部ニノミ賦
課スヘシ(三七年勅
三七八號)

第八十五條 所得稅法第五條ニ掲クル所得ニ對シテハ區稅ヲ賦課スルコトヲ得ス(同上)
國區町村其ノ他公共團體ノ直接ノ公用ニ供スル土地家屋營造物ニ對シテハ國區町村其ノ他公共團體
ニ區稅ヲ賦課スルコトヲ得ス
社寺ノ用ニ供シ又ハ官立公立ノ學校病院ノ用ニ供シ又ハ官其ノ他公共ノ施設ニ係リ學藝美術慈善ノ

用ニ供スル土地家屋營造物ニ對シテハ社寺又ハ國區町村其ノ他公共團體ニ區稅ヲ賦課スルコトヲ得

國有ノ山林若クハ荒蕪地ニ對シテハ區稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

【屯田兵土地給與規則及屯田兵移住給與規則ニ依リ給與シタル公有ノ財産ニ對シテハ第一百十六條ニ揭クル期間中ハ區稅ヲ賦課スルコトヲ得ス(同上)】

本條ノ外區稅ヲ賦課スルコトヲ得サルモノハ別段ノ法律勅令ニ定ムル所ニ從フ

皇族ニ係ル區稅ノ賦課ハ追テ法律勅令ヲ以テ定ムルマテ現今ノ例ニ依ル

第八十六條 區有財産ヲ區住民ノ一部ノ直接ノ共用ニ供シタル場合ニ於テハ其ノ使用權ヲ有スル者ヲシテ使用ノ多寡ニ準シテ其ノ財産ニ係ル必要ナル費用ヲ負擔セシムルコトヲ得

第八十七條 區住民ノ一部ノミヲ利スル營造物ノ建設維持ノ費用ハ其ノ關係者ニ負擔セシムルコトヲ得

區ノ一部ノミヲ利スル營造物ノ建設維持ノ費用ハ其ノ部内ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在シ又ハ其ノ部内ニ於テ土他家屋ヲ所有シ若クハ使用シ又ハ其ノ部内ニ於テ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ又ハ其ノ部内ニ於テ或ル行爲ヲ爲スニ依リ區稅ヲ納ムル義務アル者ニ負擔セシムルコトヲ得但シ其ノ一部ノ收入アルトキハ先ツ其ノ收入ヲ以テ其ノ費用ニ充ツヘシ

第八十八條 地租ノ附加稅ハ其ノ納期ヲ定メ納期納期ノ數日ニ互ルニ於ケル土地臺帳ノ記名者ヨリ徵收スルモノトス但シ賃入ノ土地ニ對シテハ賃取主ヨリ徵收スルモノトス

地租ノ附加稅ハ免租地若クハ無租地ノ有租地ト爲リタルトキハ其ノ翌月ヨリ、有租地ノ免租地若クハ無租地ト爲リタルトキハ其ノ前月マテ又地類地目ノ變換等ニ依リ地租ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ月ヨリ月割ヲ以テ徵收スルモノトス

所得稅ノ附加稅ハ本稅ノ納期ニ於テ本稅ヲ納ムル義務アル者ヨリ徵收スルモノトス

本條ニ規定スルモノヲ除ク外附加稅徵收ノ方法ハ區規則ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

本條ノ例ニ依リ難キ場合ニ於テハ區條例ヲ以テ別段ノ規程ヲ設クルコトヲ得

第八十九條 區ハ其ノ必要ニ依リ夫役現品ヲ以テ納稅義務者ニ賦課スルコトヲ得但シ學藝美術手工ニ關スル勞役ヲ賦課スルコトヲ得ス

夫役現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外直接區稅ヲ準率ト爲シ且之ヲ金額ニ算出シテ賦課スヘシ

夫役ヲ賦課セラレタル者ハ其ノ便宜ニ從ヒ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得又夫役現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外金額ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第九十條 區ニ於テ徵收スル使用料加入金手数料區稅夫役現品ニ代フル金額其ノ他區ノ公法上ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ區長ハ國稅ノ滯納處分ニ關スル規程ニ依リ之ヲ處分スヘシ其ノ督促及手数料ニ關シテハ區規則ヲ以テ別段ノ規程ヲ設クルコトヲ得

納稅義務者中無資力ナル者アルトキハ區長ノ意見ヲ以テ會計年度内ニ限り納稅延期ヲ許スコトヲ得其ノ年度ヲ超ユル場合ニ於テハ區會ノ議決ニ依ル

第九十一條 區稅ノ徵收金ノ追徵還付期滿免除及先取特權ニ就テハ國稅ニ關スル一般ノ例ヲ適用ス

第九十二條 區稅ノ賦課ヲ受ケタル者ニシテ其ノ課目課額ニ錯誤アリト認ムルトキハ納稅ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ三箇月以内ニ區長ニ異議ヲ申立ツルコトヲ得

區有財産若クハ區ノ營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アル者ハ之ヲ區長ニ申立ツルコトヲ得

本條ノ異議ハ區長之ヲ決定ス其ノ區長ノ決定ニ不服アル者ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ノ異議、訴願若クハ訴訟ノ爲ニ處分ノ執行ヲ停止セス

第九十二條 區ハ其ノ負債ヲ償還スル爲又ハ天災事變等已ムヲ得サル支出若クハ區ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ要スルニ方リ通常ノ歳入ヲ増加スルトキハ區住民ノ負擔ニ堪ヘサル場合ニ限り區債ヲ起スコトヲ得

區債ヲ起スニ付區會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ借入ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ヘキモノトス其ノ變更ヲ要スルトキ又ハ此ノ勅令ヲ行フ前ニ起シタル負債ニ關シ變更ヲ要スルトキモ亦同シ

區債償還ノ初期ハ起債ノ時ヨリ三年以内ト爲シ年年ノ償還歩合ヲ定メ起債ノ時ヨリ三十年以内ニ還了スルヲ以テ常例トス

區ハ債券ヲ發行セサルヲ常例トス又如何ナル場合ニ於テモ無記名債券ヲ發行スルコトヲ得ス豫算内ノ支出ヲ爲スニ付必要ナル一時ノ借入金ハ本條ノ例ニ依ラス其ノ年度ノ收入ヲ以テ償還スヘキモノトス但シ此ノ場合ニ於テハ區會ノ議決ヲ經ヘシ

第二款 區ノ歳入出豫算及決算

第九十三條 區長ハ每會計年度收入支出ノ豫知シ得ヘキ金額ヲ見積リ歳入出豫算ヲ調製シ少クトモ年度二箇月前ニ區會ノ議決ヲ經ヘシ但シ區ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

豫算ヲ區會ニ提出スルトキハ區長ハ併セテ區ノ事務報告書及財産明細表ヲ提出スヘシ

第九十四條 區長ハ必要ノ場合ニ於テハ區會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加若クハ更正ヲ爲スコトヲ得第九十五條 豫算外ノ支出若クハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲ニ豫備費ヲ設クヘシ但シ區會ノ否決シタル費目ニ充ツルコトヲ得ス

豫備費ノ支出ハ後日區會ノ認定ヲ求ムルコトヲ要ス

區ノ費用ヲ以テ支辨スヘキ事業ニシテ數年ヲ期シ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ區會ノ議決ヲ經テ其ノ年期间各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

區ハ區規則ヲ以テ特別會計ヲ設クルコトヲ得

豫算調製ノ式並費目流用ニ關スル規程ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ北海道廳長官之ヲ定ム

豫算ハ區會ノ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ北海道廳長官ニ報告シ並地方所定ノ公告式ニ依リ其ノ要領ヲ公告スヘシ

第九十六條 豫算ノ議決ヲ經タルトキハ區長ヨリ其ノ謄本ヲ收入役ニ交付スヘシ其ノ豫算中監督官廳ノ許可ヲ受クヘキ事項アルトキハ先ツ其ノ許可ヲ受クヘシ

收入役ハ區長ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス區長ノ命令ヲ受クルモ其ノ支出豫算中豫定ナキカ又ハ其ノ命令前條第一項ノ規程ニ依ラサルトキハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ規程ニ背キタル支拂ハ總テ收入役ノ責任ニ歸ス

第九十七條 區ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ検査ヲ行ヒ又毎年少クトモ一回臨時検査ヲ行フヘシ

検査ハ區長若クハ其ノ代理者之ヲ行ヒ臨時検査ハ區會ノ選舉シタル議員一名以上ノ立會ヲ要ス

第九十八條 區ノ出納閉鎖ハ翌年度六月三十日ヲ以テ期限トス

決算ハ出納閉鎖期限後一箇月以内ニ證書類ヲ併セテ收入役ヨリ之ヲ區長ニ提出スヘシ區長ハ之ヲ審査シ意見ヲ附シ次ノ通常豫算會議ニ於テ之ヲ區會ニ報告スヘシ

區長ハ決算報告書及之ニ關スル區會ノ議決ヲ北海道廳長官ニ報告シ並地方所定ノ公告式ニ依リ決算ノ要領ヲ公告スヘシ

第五章 區内ノ一部ノ行政

第九十九條 區内ノ一部ニシテ所有財産若クハ營造物ニ就キ其ノ部限リ特ニ其ノ費用ヲ負擔スルトキハ北海道廳長官ハ區會ノ意見ヲ聞キ内務大臣ノ許可ヲ得テ財産營造物ニ關スル事務ノ爲部會ヲ設クルコトヲ得

前項部會ノ組織選舉職務權限處務規程等ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ北海道廳長官之ヲ定ム

第一百條 前條ニ記載スル事務ニ就キ此ノ勅令ノ規程ニ依リ難キ事項其ノ他部ニ關シ特ニ必要ナル事項ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ北海道廳長官之ヲ定ム

第六章 區行政ノ監督

第一百一條 區行政ハ第一次ニ於テ北海道廳長官之ヲ監督シ第二次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス

第一百二條 此ノ勅令ニ規定スル異議、訴願若クハ訴訟ハ處分ヲ爲シ又ハ決定書若クハ裁決書ヲ交付シタル日ヨリ二十一日以内ニ提起スヘシ但シ此ノ勅令中別ニ期限ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第一百三條 監督官廳ハ區行政ノ法律命令ニ背戾セサルヤ其ノ事務錯亂滯塞セサルヤ否ヲ監視スヘシ監督官廳ハ之カ爲ニ行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ豫算決算等ノ書類帳簿ヲ徴シ竝實地ニ就テ事務ヲ視察シ出納ヲ檢閲スル權ヲ有ス

監督官廳ハ區行政ヲ監督スル爲ニ必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲ス權ヲ有ス

内務大臣ハ北海道廳長官ノ區行政ニ關シテ爲シタル命令若クハ處分ヲ停止シ若クハ取消スコトヲ得

第一百四條 北海道廳長官ハ區ノ豫算中不適當ノ支出ト認ムルモノアルトキハ之ヲ削減スルコトヲ得其ノ支出ヲ削減シタル場合ニ於テハ之ニ相當スル收入ヲ削減スヘシ

前項北海道廳長官ノ處分ニ不服アル區會ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

本條ノ訴願ノ爲ニ處分ノ執行ヲ停止セス

第一百五條 區會ノ解散ハ内務大臣之ヲ命ス此ノ場合ニ於テハ三箇月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ北海道廳長官ハ十日以内ニ於テ區會ノ停會ヲ命スルコトヲ得

第一百六條 區條例ノ設定ハ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第一百七條 左ニ掲クル事件ハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一 區債ヲ起シ竝借入ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ若クハ變更スル事但シ第九十二條末項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス(三二、三三、三七八號)

二 特別稅ヲ新設シ若クハ變更スル事

三 直接國稅二分ノ一ヲ超過スル附加稅ヲ賦課スル事

四 間接國稅ノ附加稅ヲ賦課スル事

五 國庫ヨリ直接ニ交付スル補助金ニ對シ支出金額ヲ定メ若クハ變更スル事

第一百八條 左ニ掲クル事件ハ北海道廳長官ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一 區規則ヲ設定スル事

二 使用料手數料ヲ新設シ若クハ變更スル事

三 道廳ヨリ交付スル補助金ニ對シ支出金額ヲ定メ若クハ變更スル事

四 學藝美術又ハ歷史上貴重ナル物件ヲ處分シ若クハ大ナル變更ヲナス事(同上)

五 區有不動産ニ關スル權利ノ得喪ヲ目的トスル行爲ヲ爲ス事(同上)

六 基本財産及積立金穀等ノ處分ヲ爲ス事

七 各種ノ保證ヲ與フル事

八 繼續費ヲ定メ若クハ變更スル事

九 均一ノ稅率ニ依ラスシテ國稅又ハ北海道地方稅ノ附加稅ヲ賦課スル事(三四年勅)

十 第八十六條第八十七條ニ依リ區住民ノ一部若クハ區内ノ一部ニ費用ヲ負擔セシムル事(三二年勅)

十一 第八十九條ノ準率ニ依ラスシテ夫役現品ヲ賦課スル事(同上)

十二 直接北海道地方稅二分ノ一ヲ超過スル附加稅ヲ賦課シ又ハ間接北海道地方稅ニ附加稅ヲ賦課スル事(三四年勅)

第九九條 北海道廳長官ハ區長助役收入役收入役代理者部長委員其ノ他區吏員ニ對シ懲戒處分ヲ行フ其ノ懲戒處分ハ譴責、二十五圓以下ノ過怠金及解職トス(三二年勅)

前項解職ノ處分ハ職務ニ違背シ若クハ職務ヲ曠廢スル者又ハ行狀ヲ亂リ廉恥ヲ失フ者ニ對シテ之ヲ行フモノトス

區長ノ解職ハ內務大臣勅裁ヲ經テ之ヲ行フ(同上)

隨時解職スルコトヲ得サル吏員ニシテ本條解職ノ處分ニ不服アル者ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得其ノ訴願ノ爲ニ處分ノ執行ヲ停止セス

第一百十條(三七年勅) 區吏員其ノ職務ヲ盡サス又ハ權限ヲ越エタルコトアルカ爲區ニ對シテ賠償スヘキコトアルトキハ北海道廳長官之ヲ裁決ス其ノ裁決ニ不服アル者ハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ七日以内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得但シ出訴ヲ爲シタルトキハ北海道廳長官ハ假ニ其ノ財產ヲ差押フルコトヲ得

第七章 附則

第一百十一條 此ノ勅令施行ノ時期ハ內務大臣之ヲ定ム

第一百十二條 此ノ勅令ヲ施行スル場合ニ於テ初メテ區ト爲ス地ハ內務大臣之ヲ指定ス

第一百十三條(同上) 此ノ勅令ニ依リ初メテ議員ヲ選舉スルニ付區長及區會ノ職務並區條例區規則ヲ以テ定ムヘキ事項ハ北海道廳長官又ハ其ノ指令スル官吏ニ於テ之ヲ施行スヘシ

第一百十四條 此ノ勅令ニ記載セル人口ハ最終ノ人口調査ニ依ル但シ現役軍人ヲ除ク

第一百十五條 【現役及豫備役ノ屯田兵村ニハ此ノ勅令ヲ施行セス】

第一百十六條 【屯田兵土地給與規則及屯田兵移住給與規則ニ依リ給與シタル公有ノ財產ニ關シテハ屯田兵服役期限中及其ノ滿期ノ年ヨリ十箇年間ハ此ノ勅令ヲ適用セス】

第一百十七條 此ノ勅令ニ於テ直接稅若クハ間接稅トスヘキ類別ハ內務大臣及大藏大臣之ヲ告示ス

第一百十八條 此ノ附則ニ規定スルモノヲ除ク外此ノ勅令施行ニ付必要ナル事項ハ內務大臣之ヲ定ム

○北海道區制及一級町村制二級町村制ノ議員選舉員數標準人口

明治三十年六月二十四日
拓殖務省令第八號

北海道區制第一百一條北海道一級町村制第九條北海道二級町村制第一百二條最終ノ人口ハ毎年十二月末日調査ノ現在數ニ依リ官報ヲ以テ之ヲ告示ス但告示ノ後區町村ヲ廢置分合シ又ハ其ノ境界ヲ變更スルトキハ次回ノ告示ヲ爲ス迄ノ間其ノ處分ヲ爲シタル當時ノ調査ニ依ルモノトス

○北海道區制北海道一級町村制北海道二級町村制直接稅

間接稅ノ類別 明治三十二年九月一日
內務省告示第九十六號(改正三三年告五〇號三四年告二五號)

北海道區制及一級町村制二級町村制ノ議員選舉員數標準人口
北海道區制北海道一級町村制北海道二級町村制直接稅間接稅ノ類別

北海道區制第十七條 北海道一級町村制第二百二十三條及北海道二級町村制第七十條直接稅間接稅ノ類別ハ左ノ諸稅ヲ以テ直接稅トシ其ノ他ハ間接稅トス但シ各區町村ニ於テ特ニ徵收スルモノハ北海道廳長官ノ稟申ヲ以テ之ヲ定メ其ノ直接稅トスヘキモノハ北海道廳長官ヲシテ管内ニ告示セシム

國稅

地租

所得稅(所得稅法第三條第一項第二種ノ所得中無記名債券ノ所得ニ係ル所得稅ヲ除ク)

北海道地方稅

營業稅

營業稅

戶數割

家屋稅

營業稅

雜種稅

段別割

水產稅

區町村稅

直接國稅附加稅

直接北海道地方稅附加稅

○北海道區制及北海道一級町村制ニ依ル會議及傍聽ノ紀律

竝取締ニ關スル規則

明治三十二年九月七日
內務省令第四十九號 (改正三三三號)

北海道區制第七十一條及北海道一級町村制第七十一條ニ依ル會議及傍聽ノ紀律竝取締ニ關スル規則ハ明治二十九年三月內務省令第三號ヲ準用ス

○北海道區公民名譽職ヲ擔任セス又ハ執行セサル者處分規則

明治三十二年九月七日
內務省令第五十號

北海道區制第五條ニ依リ區公民ニシテ名譽職ヲ擔任セス又ハ其ノ職務ヲ實際ニ執行セサル者ニ對スル處分ノ規則ヲ定ムル左ノ如シ

第一條 區公民ニシテ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職シ又ハ無任期ノ名譽職ヲ少クトモ三年間擔任セス又ハ其ノ職務ヲ實際ニ執行セサル者ハ區會ノ議決ニ依リ北海道廳長官ノ認可ヲ經六年以内區公民タル權ヲ停止シ場合ニ依リ其ノ停止年期以内他ノ住民ノ負擔スヘキ區稅ノ率ニ比シ四分ノ一以下ノ區稅ヲ增加スルコトヲ得

第二條 左ニ掲クル者ニハ前條ノ處分ヲナスコトヲ得ス

- 一 疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘサル者
 - 二 業務ノ爲常ニ區内ニ居ルコトヲ得サル者
 - 三 年齡滿六十歲以上ノ者
 - 四 官職ノ爲公務ヲ執ルコトヲ得サル者
 - 五 規定ノ任期間區ノ名譽職ニ在リ爾後其ノ任期ニ相當スル年數ヲ經過セサル者又ハ無任期ノ名譽職ヲ三年以上擔任シ爾後其ノ擔任シタル年數ヲ經過セサル者
 - 六 其ノ他區會ノ議決ニ依リ正當ノ理由アリト認めタル者
- 第三條 北海道廳長官ニ於テ第一條ノ議決ヲ認可スヘカラスト認ムルトキハ之ヲ再議ニ附シ猶其ノ議決ヲ改メサルトキハ內務大臣ニ具狀シ其ノ指揮ヲ請フヘシ

○北海道區制施行ニ付必要事項

明治三十二年九月一日
內務省令第四十五號

北海道區制及北海道一級町村制ニ依ル會議及傍聽ノ紀律竝取締ニ關スル規則
北海道區公民名譽職ヲ擔任セス又ハ執行セサル者處分規則
北海道區制施行ニ付必要事項

初メテ北海道區制ヲ施行スルニ付必要ナル事項ヲ定ムル左ノ如シ

第一條 區制施行ニ際シ區長就職スルニ至ルマテ北海道廳長官ハ所部ノ官吏ヲ指命シ其ノ事務取扱ヲ爲サシムヘシ

第二條 北海道廳長官ノ指命スル官吏ニシテ區ノ事務ニ付出張スル旅費ハ區ノ負擔トス

第三條 區制施行ノ日ヨリ區稅徵收ニ至ルマテ其ノ區必要ノ費用ハ其ノ事務取扱者ニ於テ豫算ヲ設ケ北海道廳長官ノ認可ヲ經テ假ニ區稅ヲ徵收シ又ハ前區町村ノ引繼金若ハ一時ノ借入金ヲ以テ之ニ充ツヘシ

第四條 前條ニ依リ假徵收ヲナシタル區稅ハ追テ區會ニ於テ該年度ノ收支豫算ヲ議決シタル上區稅各納人ニ對シ差引徵收ヲナシ前區町村ノ引繼金ヲ使用シ一時ノ借入金ヲナシタル場合ハ該年度ニ於テ新ニ徵收シタル區稅ヲ以テ之ヲ返償スヘシ

第五條 支廳長戸長ニ於テ取扱ヒタル一切ノ金穀竝ニ會計帳簿ノ類ハ其ノ金穀ノ種類及所屬年度ヲ區別シタル明細書ヲ製シ之ヲ引繼クヘシ但シ一町村ヲ分割シタル場合ニ於テ帳簿ノ類ニシテ分割スヘカラサルモノアルトキハ其ノ人口段別等ヲ標準トシ其ノ多キ部分ノ分割シタル區町村ニ於テ之ヲ引受クヘシ其ノ引受ヲナシタル區町村ハ他ノ關係區町村ニ對シ閱覽ノ便ヲ妨クヘカラス

第六條 支廳長戸長ニ於テ未タ精算ヲ了セサル區町村費ハ其ノ引繼ヲ受ケタル區長ニ於テ其ノ精算ヲナシ區會ニ報告スヘシ若殘餘金アルトキハ之ヲ割戻シ不足ヲ生シタルトキハ區會ノ決議ヲ經テ之ヲ追徵補充スヘシ

第七條 區制施行ノ初メニ方リ區役所ノ位置ハ北海道廳長官之ヲ定ムヘシ

第八條 區制施行ニ際シ初メテ區ノ公告式ニ關スル區規則ヲ公告スル方法ハ北海道廳長官之ヲ定ム

○北海道區制施行ニ付キ必要事項ニ關スル件

明治三十三年三月二十二日(改正三三三三) 內務省令第八號

明治三十二年九月內務省令第四十五號第六條精算ノ場合ニ於テ其ノ殘餘アルトキハ區長ハ區會ノ決議ヲ經テ之ヲ區費ニ繰越シ區稅徵收ノ際各納人ニ對シ差引徵收ヲナスコトヲ得若新區ノ區域從前其ノ財務ヲ共ニシタル區域ト同一ナルトキ若ハ特別ノ事情アルトキハ區長ハ區會ノ決議ヲ經殘餘ハ區費ニ繰越シ不足ハ新區ヨリ徵收補充スルコトヲ得但シ特別ノ事情アルニ依リ本項ノ處分ヲナストキハ內務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

○北海道區町村會議員總代人及沖繩縣區會議員等選舉ノ罰則ニ

關スル法 明治三十二年十二月二十二日 法律第百九號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル北海道區町村會議員總代人及沖繩縣區會議員等選舉ノ罰則ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

北海道區町村會議員總代人及沖繩縣區會議員ノ選舉ニ關シテハ市町村會議員選舉ニ關スル罰則ヲ適用ス

北海道區制町村制及沖繩縣區制ニ依リ開設スル他ノ議會ノ議員ノ選舉ニ付テ亦前項ニ同シ

北海道區制施行ニ付キ必要事項ニ關スル件 北海道區町村會議員總代人及沖繩縣區會議員等選舉ノ罰則ニ關スル法律

○北海道一級町村制 明治三十年五月二十五日(改正三三〇號三九年勅一八二號)
朕北海道一級町村制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

北海道一級町村制

第一章 總則

第一款 町村及其ノ區域

第二款 町村住民及其ノ權利義務

第三款 町村條例及町村規則

第二章 町村行政

第一款 町村吏員ノ組織及選任

第二款 町村吏員ノ職務權限

第三款 給料及給與

第三章 町村會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限及處務規程

第四章 町村ノ財務

第一款 町村有財產及町村稅

第二款 町村ノ歲入出豫算及決算

第五章 町村内一部ノ行政

第六章 町村組合

第七章 町村行政ノ監督

第八章 附則

北海道一級町村制

第一章 總則

第一款 町村及其ノ區域

第一條 此ノ勅令ハ北海道ニ於テ一級町村ト爲ス地ニ行フモノトス

第二條 町村ハ法人トシ法律命令ヲ以テ定メタル範圍内ニ於ケル公共事務竝從來法律命令若クハ慣例ニ依リ又ハ將來法律命令ニ依リ町村ニ屬スル事務ハ官ノ監督ヲ受ケテ之ヲ處理スルモノトス

第三條 町村ノ廢置分合ヲ要スルトキハ内務大臣ノ許可ヲ得テ北海道廳長官之ヲ定ム

町村ノ境界若クハ名稱ヲ變更シ又ハ町ヲ村ト爲シ村ヲ町ト爲スコトヲ要スルトキハ北海道廳長官之ヲ定ム但シ境界ノ變更ニシテ郡若クハ區ノ境界ニ涉ルモノハ内務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

本條ノ處分ニシテ郡ノ境界ニ涉ルモノアルトキハ郡ノ境界モ亦自ラ變更スルモノトス

本條ノ處分ニ付財產處分ヲ要スルトキハ關係アル區會及町村會ノ意見ヲ聞キ北海道廳長官之ヲ定ム

町村ノ境界明ナラサルコトアルトキハ北海道廳長官之ヲ定ム但シ郡若クハ區ノ境界ニ涉ル場合ニ於テハ内務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第二款 町村住民及其ノ權利義務

第四條 町村内ニ住居ヲ占ムル者ハ總テ町村住民トス

町村住民タル者ハ此ノ勅令ニ從ヒ町村有財産並町村ノ營造物ヲ共用スル權利ヲ有シ及町村ノ負擔ヲ分任スル義務ヲ有スルモノトス但シ特ニ民法上ノ權利義務ヲ有スル者アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五條 帝國臣民ニシテ公權ヲ有スル獨立ノ男子三年以來(一)町村ノ住民ト爲リ(二)町村ノ負擔ヲ分任シ及(三)町村内ニ於テ地租年額四十錢以上ヲ納メ又ハ直接國稅、北海道水産稅若クハ直接國稅ト

北海道水産稅トヲ合シテ年額二圓以上ヲ納メ又ハ耕地宅地三町歩以上ヲ所有スル者ハ町村公民トス但シ公費ヲ以テ貧民救助ヲ受ケタル後三年ヲ經サル者ハ此ノ限ニ在ラス(三四年勅)

前項三年ノ制限ハ場合ニ依リ町村會ノ議決ヲ經テ北海道廳支廳長ノ許可ヲ受ケ之ヲ特免スルコトヲ得

此ノ勅令ニ於テ獨立ト稱スルハ滿二十五歲以上ニシテ一月ヲ構ヘ且治産ノ禁ヲ受ケサルモノヲ云フ

町村ノ負擔ヲ分任セシムルコトナキ町村ニ於テハ第一項(二)ノ要件ヲ缺クト雖其ノ他ノ要件ヲ具備スル者ハ町村公民トス

町村公民ニシテ相當ノ理由ナクシテ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職シ又ハ無任期ノ職務ヲ少クトモ三年間擔當セス又ハ其ノ職務ヲ實際ニ執行セサル者ニ對スル處分ノ規則ハ內務大臣之ヲ定ム其ノ規則ニハ町村會ノ議決ニ依リ六年以内町村公民タル權ヲ停止シ場合ニ依リ同年期間他ノ住民ノ負擔ス

ヘキ町村稅ノ率ニ比シ四分ノ一以下ヲ增加スル規程ヲ設クルコトヲ得

土地所有ノ期間ハ所有權ノ登記ヲ爲シタル日ヨリ之ヲ起算ス(同上)

第六條 町村公民タル者前條ニ掲載スル要件ノ一ヲ失フトキハ公民タル權ヲ失フモノトス

町村公民タル者公權停止中若クハ租滯稅納處分中ハ公民タル權ヲ停止ス家資分散若クハ破産ノ宣告

ヲ受ケタルトキハ復權ノ決定アルマテ又公權剝奪若クハ停止ヲ附加スヘキ重罪輕罪ノ爲公判ニ付セラレタルトキハ其ノ裁判ノ確定ニ至ルマテ亦同シ

陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ町村ノ公務ニ參與セサルモノトス現役以外ノ兵役ニ在ル者ニシテ戰時若クハ事變ニ際シ召集セラレタルトキモ亦同シ

町村公民ニ限リテ任スヘキ職務ニ在ル者ニシテ本條第一項乃至第三項ノ場合ニ當ルトキ又ハ第五條

第五項ニ依リ公民權ヲ停止セラレタルトキハ自ラ解職スルモノトス職ニ就キタル爲公民權ヲ有スル職務ニ在ル者ニシテ本條第二項第三項ノ場合ニ當ルトキ亦同シ(三三三勅)

前項ノ職務ニ在ル者ニシテ公權剝奪若クハ停止ヲ附加スヘキ重罪輕罪ノ爲豫審ニ付セラレタルトキハ監督官廳ハ其ノ職務ノ執行ヲ停止シ有給吏員ニ對シテハ併セテ給料ヲ支給セサルコトヲ得(同上)

第三款 町村條例及町村規則

第七條 町村ハ町村住民ノ權利義務及町村ノ事務ニ關シ此ノ勅令中明文ナク又ハ條例ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ許シ若クハ規定スルコトヲ要スル事項ニ就テハ條例ヲ設クルコトヲ得

町村ハ町村有財産及町村ノ營造物ニ關スル事項其ノ他此ノ勅令中規則ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ許シ若クハ規定スルコトヲ要スル事項ニ就テハ規則ヲ設クルコトヲ得

町村條例及町村規則ハ法律命令ニ牴觸スルコトヲ得ス

町村條例及町村規則ヲ發行スルニハ地方所定ノ公告式ニ依ル其ノ公告式ハ町村規則ヲ以テ之ヲ定ム

第二章 町村行政

第一款 町村吏員ノ組織及選任

第八條(三三三) 町村ニ町村長及助役各一名ヲ置ク但シ町村條例ヲ以テ助役ノ定員ヲ増加スルコトヲ得

町村長及助役ハ有給吏員トシ其ノ任期ハ四年トス

第九條(同上) 町村長及助役ハ町村會之ヲ選舉シ北海道廳長官ノ認可ヲ受クヘシ若其ノ認可ヲ得サルトキハ再選舉ヲ爲スヘシ

町村會ニ於テ町村長及助役ヲ選舉セス又ハ其ノ再選舉ニシテ仍認可ヲ得サルトキハ更ニ選舉ヲ行ヒ認可ヲ得ルニ至ルノ間北海道廳長官ハ臨時代理者ヲ選任シ又ハ町村費ヲ以テ官吏ヲ派遣シ町村長及助役ノ職務ヲ管掌セシムヘシ

臨時代理者ノ給料額旅費額等ハ北海道廳長官之ヲ定ム

第十條(同上) 其ノ町村公民ニ非サル者ト雖町村長又ハ助役ニ選任セラルルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ在職ノ期間ヲ限リ其ノ町村公民權ヲ有ス

第十一條(同上) 町村長及助役ハ第四十二條第二項ニ掲載スル職ヲ兼スルコトヲ得ス

父子兄弟タルノ緣故アル者ハ同時ニ町村長及助役ノ職ニ在ルコトヲ得ス若町村長トノ間ニ其ノ緣故アル者助役ノ選舉ニ當ルトキハ其ノ當選ヲ無効トシ助役トノ間ニ其ノ緣故アル者町村長ノ任ヲ受クルトキハ助役ハ其ノ職ヲ失フモノトス助役數名アル場合ハ第四十二條第四項ノ例ヲ適用ス

第十二條(同上) 町村長及助役ハ北海道廳支廳長ノ許可ヲ得ルニ非サレハ他ノ有給ノ職務ヲ兼任シ又ハ營業其ノ他報償アル業務ニ従事スルコトヲ得ス

第十三條(同上) 町村長及助役ハ町村會ノ同意ヲ得北海道廳長官ニ申請シ其ノ認許ヲ受クルニ非サレハ任期中退職スルコトヲ得但シ任意ニ退職ノ申請ヲ爲シタル後二箇月ヲ經過シタルトキハ此ノ限

ニ在ラス

第十四條(同上) 町村ニ收入役一名ヲ置ク但シ町村條例ヲ以テ收入役代理者一名ヲ置クコトヲ得

收入役及收入役代理者ハ町村長ノ推薦ニ依リ町村會之ヲ選定シ北海道廳長官ノ認可ヲ受クヘシ

收入役及收入役代理者ニ關シテハ第八條第二項及第九條乃至第十三條ノ例ヲ適用ス
町村長又ハ助役トノ間ニ父子兄弟ノ緣故アル者ハ之ト同時ニ收入役又ハ收入役代理者タルコトヲ得ス若收入役又ハ收入役代理者トノ間ニ其ノ緣故アル者町村長又ハ助役ノ任ヲ受クルトキハ其ノ緣故アル收入役又ハ收入役代理者ハ其ノ職ヲ失フ

第十五條(同上) 町村長助役共ニ故障アルトキ又ハ收入役收入役代理者共ニ故障アルトキハ北海道廳長官ハ第九條第二項ノ例ヲ適用スルコトヲ得

第十六條(同上) 町村ニ書記其ノ他必要ノ附屬員ヲ置キ有給吏員トス其ノ人員ハ町村會ノ議決ヲ以テ之ヲ定メ町村長之ヲ任免ス

第十七條 町村ハ處務便宜ノ爲町村規則ヲ以テ町村ノ區域ヲ數部ニ分チ每部部長及其ノ代理者各一名ヲ置クコトヲ得

部長及其ノ代理者ハ名譽職トス
部長及其ノ代理者ハ選舉權ヲ有スル町村公民ノ中ニ就キ町村長之ヲ任免ス

第十八條 町村ハ町村規則ヲ以テ臨時若クハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得
委員ハ名譽職トス
委員ハ町村會議員若クハ町村公民中選舉權ヲ有スル者ヲ以テ之ニ充テ又ハ町村會議員及町村公民中

選舉權ヲ有スル者ヲ以テ之ニ充ツ其ノ合議體ニ組織シタル場合ニ於テハ町村長若クハ其ノ委任ヲ受ケタル助役ヲ以テ委員長トス(三三三三勅)

委員ハ町村會ニ於テ之ヲ選舉ス

委員ノ組織任期等ニ關スル事項ハ第一項ノ規則ニ之ヲ規定スヘシ

第十九條(同上) 町村吏員ハ任期滿限ノ後再選セララルコトヲ得

第二款 町村吏員ノ職務權限

第二十條 町村長ハ町村ヲ統轄シ其ノ行政事務ヲ擔任ス

町村長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

一 町村會ノ議事ヲ準備シ並其ノ議決ヲ承認シ及執行スル事

二 町村有財産及町村ノ營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者アルトキハ其ノ事務ヲ監督スル事

三 町村ノ權利ヲ保護スル事

四 町村ノ歳入ヲ管理シ歳入出豫算其ノ他町村會ノ議決ニ依テ定マリタル收入支出ヲ命令シ會計及出納ヲ監視スル事

五 町村吏員ヲ監督シ其ノ任免ニ係ル町村吏員ニ對シ懲戒處分ヲ行フ事其ノ懲戒處分ハ譴責及五圓以下ノ過怠金トス(同上)

六 町村ノ諸證書及公文書類ヲ保管スル事

七 外部ニ對シテ町村ヲ代表シ及町村ノ名義ヲ以テ他廳若クハ一個人ト交渉スル事

八 法律命令若クハ町村會ノ議決ニ依リ使用料加入金手数料町村稅及夫役現品ヲ賦課徵收スル事

九 其ノ他法律命令若クハ上司ノ指令ニ依テ町村長ニ委任シタル事務ヲ處理スル事

第二十一條(同上) 町村長ハ法律命令ノ定ムル所ニ依リ町村ニ關スル國及北海道地方費ノ行政事務ヲ掌ル(三四年勅)

前項ノ事務ハ北海道廳支廳長ノ許可ヲ得テ之ヲ助役ニ分掌セシムルコトヲ得

本條ニ記載スル事務ヲ執行スル爲要スル費用ハ町村ノ負擔トス

第二十二條 町村長若クハ監督官廳ニ於テ町村會ノ議決其ノ權限ヲ越エ又ハ法律命令ニ背クト認ムルトキハ町村長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ若クハ取消スヘシ

前項再議ニ付スルモ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ町村長ヨリ北海道廳支廳長ニ申立テ其ノ決定ヲ請フヘシ又前項取消ニ不服アル町村會ハ北海道廳支廳長ニ訴願スルコトヲ得

前項北海道廳支廳長ノ決定若クハ裁決ニ不服アル町村會ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル町村會ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

町村長若クハ監督官廳ニ於テ町村會ノ議決公益ニ害アリト認ムルトキハ町村長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スヘシ

前項再議ニ付スルモ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ町村長ヨリ北海道廳支廳長ニ申立テ其ノ決定ヲ請フヘシ其ノ北海道廳支廳長ノ決定ニ不服アル町村會ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル町村會ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

本條ノ決定若クハ裁決ハ其ノ確定ニ至ルマテ執行ヲ停止ス但シ當該官廳ニ於テ停止ノ爲ニ公益ニ害アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

北海道一級町村制

第二十三條 町村會ニ於テ必要ノ收支ニ關シ否決シタルトキ又ハ町村長若クハ監督官廳ニ於テ町村會ノ議決必要ノ收支ニ關シ不當ノ削減ヲ爲スト認ムルトキハ町村長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ北海道廳支廳長ニ申立テ指揮ヲ請フヘシ但シ場合ニ依リ再議ニ付セスシテ直ニ北海道廳支廳長ノ指揮ヲ請フコトヲ得

前項北海道廳支廳長ノ處分ニ不服アル町村會ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル町村會ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

本條ノ處分ハ其ノ確定ニ至ルマテ執行ヲ停止ス但シ當該官廳ニ於テ停止ノ爲ニ公益ニ害アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十四條 町村會招集ニ應セス若クハ成立セサルトキハ町村長ハ北海道廳支廳長ニ申立テ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ得

町村會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セス若クハ議了セサルトキハ前項ノ例ニ依ル

第一項ノ處分ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ町村會ニ報告スヘシ

第二十五條 第六十六條但書若クハ第六十八條第二項ノ場合ニ於テ全ク會議ヲ開クコト能ハサルトキハ前條ノ例ニ依ル(三三年勅五二號)

第二十六條(同上) 町村長ハ町村吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

第二十七條(同上) 助役ハ町村長ノ事務ヲ補助ス

町村長ハ町村會ノ同意ヲ得北海道廳支廳長ノ許可ヲ經テ助役ヲシテ町村行政事務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

助役ハ町村長故障アルトキ之ヲ代理ス助役數名アルトキハ上席者之ヲ代理ス

第二十八條(同上) 收入役ハ法律命令中別段ノ規定アルモノノ外町村ノ出納其ノ他會計事務並第二十一條ニ依ル國及北海道地方費ノ出納其ノ他會計事務ヲ掌ル(三四年勅二〇號)

收入役代理者ハ收入役ノ事務ヲ補助ス

町村長ハ收入役及町村會ノ同意ヲ得テ收入役代理者ヲシテ收入役ノ事務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

收入役代理者ハ收入役故障アルトキ之ヲ代理ス

第二十九條(同上) 書記其ノ他ノ附屬員ハ町村長ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第三十條 部長及其ノ代理者ハ町村長ノ命令ヲ承ケ部内ニ關スル國及北海道地方費ノ行政及町村ノ行政ニ付町村長ノ事務ヲ補助執行ス(同上)

第三十一條 委員ハ町村長ノ監督ニ屬シ町村有財產若クハ町村ノ營造物ヲ管理シ其ノ他町村行政事務ノ一部ヲ分掌シ又ハ一時ノ委託ニ依リ事務ヲ處辨ス

委員ノ職務權限ニ關スル細則ハ町村規則ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

第三十二條 町村役場及町村吏員ノ職務規程ハ北海道廳長官ノ許可ヲ得テ北海道廳支廳長之ヲ定ム

町村吏員ノ服務紀律ハ北海道廳長官之ヲ定ム

第三款 給料及給與

第三十三條 名譽職吏員ハ職務取扱ノ爲ニ要スル實費ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

部長及其ノ代理者並委員ニハ實費辨償ノ外町村會ノ議決ヲ經テ勤務ニ相當スル報酬ヲ給スルコトヲ得

選舉區ノ數及其ノ區域並各選舉區ヨリ選舉スヘキ議員ノ員數ハ選舉人ノ員數ニ準シ前項ノ條例ニ之ヲ規定スヘシ

選舉人ハ住居ヲ占ムル地ニ依テ所屬ノ選舉區ヲ定ム其ノ町村内ニ住居ヲ占メサル者ハ直接町村稅ノ賦課ヲ受ケタル物件ノ所在ニ依テ之ヲ定ム若數選舉區ニ互リ賦課ヲ受ケタル物件アルトキハ稅額ノ最多キ物件ノ所在ニ依テ之ヲ定ム又直接町村稅ノ賦課ヲ受ケタル物件ナキトキハ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スル地ニ依テ之ヲ定ムヘシ但シ本文ノ場合ニ於テ稅額ノ相同キトキ又ハ數選舉區ニ互リ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スルトキハ本人ノ申出ニ依テ之ヲ定ムヘシ

選舉區ヲ設クルトキハ各選舉區ニ於テ選舉人ノ等級ヲ分ツヘシ
各選舉區ヨリ選舉スヘキ議員ノ員數各級ニ等分シ難キトキハ各選舉區各級ヨリ選舉スヘキ議員ノ員數ヲ第一項ノ條例ニ規定スヘシ

被選舉人ハ其ノ選舉區内ノ者ニ限ラサルモノトス

第四十二條 選舉權ヲ有スル町村公民ハ總テ被選舉權ヲ有ス

左ニ掲クル者ハ被選舉權ヲ有セス

- 一 北海道廳ノ官吏(三三年初)(五一號)
- 二 其ノ町村ノ有給吏員(同上)
- 三 檢事警察官吏及收稅官吏(同上)
- 四 神官僧侶其ノ他諸宗教師
- 五 小學校教員

其ノ他官吏ニシテ當選シ之ニ應セントスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受クヘシ

父子兄弟タル縁故アル者ハ同時ニ町村會議員タルコトヲ得ス若同時ニ選舉セラレタルトキハ投票ノ數ニ依テ其ノ多キ者一人ヲ當選トシ同數ナレハ年長者ヲ當選トシ同年ナレハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム其ノ時ヲ異ニシテ選舉セラレタル者ハ後者議員タルコトヲ得ス

町村長又ハ助役トノ間父子兄弟タル縁故アル者ハ之ト同時ニ町村會議員タルコトヲ得ス若議員トノ間ニ其ノ縁故アル者町村長又ハ助役ノ任ヲ受ケタルトキハ其ノ縁故アル議員ハ其ノ職ヲ失フモノトス(同上)

第四十三條 町村會議員ハ名譽職トス其ノ任期ハ六年トシ毎三年各級ニ於テ其ノ半數ヲ改選ス若各級ノ議員二分シ難キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ退職セシム初回ニ於テ退職セシムヘキ者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

前項議員ノ任期ハ總選舉ヲ行ヒタル日選舉ノ數日ニ互ル又ハ定期改選期日選舉ノ數日ニ互ルヨリ起算シ曆ニ從フ但シ總選舉ノ場合ニ於テ一部ノ議員後レテ選舉セラレ又ハ定期改選ノ場合ニ於テ一部若クハ全部ノ議員其ノ期日後ニ選舉セラレルコトアルモ先ニ總選舉ヲ行ヒタル日又ハ定期改選期日ヨリ起算ス

退職ノ議員ハ再選セラレルコトヲ得

議員ニ關シテハ第三十三條第二項第三十五條第三十六條ノ例ヲ適用ス(同上)

第四十四條 町村會議員中議員アルトキハ每三年定期改選ノ時ニ至リ同時ニ補闕選舉ヲ行フヘシ若定員三分ノ一以上闕員アルトキ又ハ町村會町村長若ハ北海道廳支廳長ニ於テ臨時補闕ヲ必要ト認ムルトキハ定期前ト雖補闕選舉ヲ行フヘシ(同上)
補闕議員ハ前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

定期改選及補闕選舉ハ前任者ノ選舉セラレタル選舉等級及選舉區ニ從テ之カ選舉ヲ行フヘシ

第四十五條 町村長ハ選舉ヲ行フ毎ニ其ノ選舉前六十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉人ノ資格ヲ記載セル選舉原簿ヲ調製シ此ノ原簿ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スヘシ但シ選舉區ヲ設クルトキハ每選舉區各別ニ原簿及名簿ヲ調製スヘシ

選舉人名簿ハ其ノ選舉前五十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ七日間町村役場ニ於テ關係者ノ縦覽ニ供スヘシ若關係者ニ於テ異議アルトキハ縦覽期限内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ之ヲ決定スヘシ

前項町村長ノ決定ニ不服アル者ハ北海道廳支廳長ニ訴願シ其ノ北海道廳支廳長ノ裁決ニ不服アル者ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得本條ノ異議、訴願若クハ訴訟ノ爲ニ處分、決定若クハ裁決ノ執行ヲ停止セス

町村長ハ第二項異議ノ決定又ハ第三項訴願ノ裁決若クハ訴訟ノ判決ニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ選舉ノ日ヨリ五日前に修正ヲ加ヘテ確定名簿ト爲シ之ニ登録セラレサル者ハ何人タリトモ選舉ヲ行フコトヲ得ス

本條ニ依リ確定シタル名簿ハ其ノ確定シタル日ヨリ一年以内ニ於テ選舉ヲ行フトキモ亦之ヲ適用ス但シ名簿確定後訴願ノ裁決若クハ訴訟ノ判決ニ依リ修正ヲ要スルトキハ選舉ノ日ヨリ五日前に修正スヘキモノトス

選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ直ニ其ノ要領ヲ公告スヘシ

第四十六條 選舉ヲ行フトキハ町村長ハ選舉ノ日ヨリ少クトモ七日前に選舉ノ場所日時並選舉區及每級ヨリ選舉スヘキ議員ノ員數ヲ公告スヘシ

各級ニ於テ選舉ヲ行フ順序ハ先ツ二級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ一級ノ選舉ヲ行フヘシ

第四十七條 選舉掛ハ名譽職トシ町村長ニ於テ臨時ニ選舉人中ヨリ二名若クハ四名ヲ選任シ町村長若クハ其ノ代理者ハ掛長ト爲リ選舉會ヲ開閉シ會場ノ取締ニ任ス但シ選舉分會若クハ選舉區ヲ設クルトキハ各別ニ選舉掛ヲ設クヘシ

第四十八條 選舉開會中ハ選舉人ヲ除ク外選舉會場ニ入ルコトヲ得ス選舉人ハ選舉會場ニ於テ協議若クハ勸誘ヲ爲スコトヲ得ス

第四十九條 選舉ハ投票ヲ以テ之ヲ行フ投票ニハ被選舉人ノ氏名又ハ其ノ住所氏名ヲ記シ封緘ノ上選舉人自ラ之ヲ掛長ニ差出スヘシ但シ選舉人ノ氏名ハ投票ニ記入スルコトヲ得ス

町村住民ニ非スシテ第三十八條第二項ニ依リ選舉權ヲ有スル者ハ代人ヲ以テ選舉ヲ行フコトヲ得(同上)

代人ハ帝國臣民ニシテ公權ヲ有シ且公權停止中ニ非サル獨立ノ男子ニ限ル但シ一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス又代人ハ委任狀ヲ選舉掛ニ示スヘシ

選舉人投票ヲ差出ストキハ自己ノ氏名及住所ヲ掛長ニ申立テ掛長ハ選舉人名簿ニ照シテ之ヲ受ケ封緘ノ儘投票函ニ投入スヘシ但シ投票函ハ投票ヲ終ルマテ之ヲ開クコトヲ得ス

第五十條 單名投票ニシテ左ノ各號ニ該當スルモノハ之ヲ無効トス連名投票ニシテ第一號第五號第六號ニ該當スルモノモ亦同シ又連名投票ニシテ第二號乃至第四號ニ該當スルモノハ其ノ部分ノミヲ無効トス

- 一 氏名ヲ記載セサルモノ
- 二 記載シタル氏名ノ讀ミ難キモノ

三 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
 四 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
 五 被選舉人ノ住所氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ位階敬稱ノ類ヲ記入スルハ此ノ限ニ在ラス
 六 投票用紙ヲ一定シタル場合ニ於テ其ノ用紙ヲ用キサルモノ
 投票ニ記載ノ人員其ノ選舉スヘキ定數ヲ過クルトキハ末尾ニ記載シタルモノヲ順次ニ棄却スヘシ
 投票ノ受理並効力ニ關スル事項ハ選舉掛之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ掛長之ヲ決ス
 第五十一條 町村會議員ノ選舉ハ有效投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス投票ノ數相同キトキハ年長者ヲ取り同年ナルトキハ掛長自ラ抽籤シテ其ノ當選ヲ定ム
 同時ニ補闕議員數名ヲ選舉スルトキハ投票數ノ多キ者ヲ以テ殘任期ノ長キ前任者ノ補闕ト爲シ投票ノ數相同キトキハ掛長自ラ抽籤シテ其ノ順序ヲ定ム
 第五十二條 選舉掛ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ頗末ヲ記錄シ選舉ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選舉人名簿其ノ他關係書類ヲ合綴シテ選舉掛長選舉掛ノ一名若クハ數名ト共ニ之ニ署名捺印シ少クトモ六年間之ヲ保存スヘシ
 投票ハ選舉ヲ終リタル後之ヲ取纏メ封緘ノ上選舉掛長選舉掛ノ一名若クハ數名ト共ニ之ニ捺印シ少クトモ六年間之ヲ保存スヘシ
 第五十三條 選舉ヲ終リタルトキハ選舉掛長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知スヘシ其ノ當選ヲ辭セントスル者ハ當選ノ告知ヲ發シタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツヘシ
 一人ニシテ數級若クハ數選舉區ノ選舉ニ當リタルトキハ當選ノ告知ヲ最終ニ發シタル日ヨリ五日以内ニ何レノ選舉ニ應スヘキコトヲ町村長ニ申立ツヘシ其ノ期限内ニ之ヲ申立テサル者ハ總テ其ノ當

選ヲ辭シタル者ト看做スヘシ

定期改選ト補闕選舉トヲ同時ニ行ヒタル場合ニ於テ一人ニシテ其ノ兩選舉ニ當リタルトキモ亦前項ノ例ヲ適用ス

本條ニ依リ當選ヲ辭シタル者アルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ

選舉ヲ終リ當選者定マリタルトキハ町村長ハ直ニ其ノ住所氏名ヲ公告シ同時ニ選舉錄ノ寫ヲ添ヘ之ヲ北海道廳支廳長ニ報告スヘシ

第五十四條 選舉人選舉ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ノ日ヨリ七日以内ニ北海道廳支廳長ニ訴願シ其ノ北海道廳支廳長ノ裁決ニ不服アル者ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルトコトヲ得

北海道廳支廳長ニ於テ選舉ノ效力ニ關シ異議アルトキハ訴願ノ有無ニ拘ラス前條ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ二十一日以内ニ選舉ヲ取消スヘシ

前項北海道廳支廳長ノ處分ニ不服アル者ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルトコトヲ得

本條ノ訴願若クハ訴訟ノ爲ニ處分ノ執行ヲ停止セス

第五十五條 選舉ノ規程ニ違背スルコトアルトキハ其ノ選舉ヲ無効トシ又當選者中其ノ資格ノ要件ヲ有セサル者アルトキハ其ノ當選ヲ無効トスヘキモノトス但シ選舉ノ規程ニ違背スル所アルモ其ノ事ノ輕微ニシテ選舉ノ結果ニ異動ヲ生セサルモノハ此ノ限ニ在ラス

第五十六條 選舉若クハ當選無効ト確定シタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ

第五十七條 町村會議員中其ノ資格ノ要件ヲ有セサル者アルトキハ其ノ職ヲ失フモノトス

町村長若クハ町村會ニ於テ前項ニ該當スル者アルコトヲ發見シタルトキハ北海道廳支廳長ニ申出ツ

第一項資格要件ノ有無ハ北海道廳支廳長ニ於テ前項ノ申立ニ依リ又ハ其ノ職權ヲ以テ之ヲ決定ス
前項北海道廳支廳長ノ決定ニ不服アル者ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
本條ノ場合ニ於テ資格要件ヲ有セストスル決定ハ其ノ決定確定シ又ハ訴訟ノ判決アルマテ其ノ執行ヲ停止ス

第五十八條 特別ノ事情アル場合ニ於テハ町村條例ヲ以テ選舉ニ關シ特例ヲ設クルコトヲ得
第二款 職務權限及處務規程

第五十九條 町村會ノ議決ヲ經ヘキ事件左ノ如シ

- 一 町村條例及町村規則ヲ設定スル事
- 二 町村費ヲ以テ支辨スヘキ事業但シ國及北海道地方費ノ行政事務ニ屬スルモノハ此ノ限ニ在ラス
(三四年勅
二〇號)
- 三 歳入出豫算ヲ定ムル事
- 四 法律命令ニ定ムルモノヲ除ク外使用料加入金手数料町村税及夫役現品ノ賦課徵收ノ法ヲ定ムル事
- 五 町村有不動産ニ關スル權利ノ得喪ヲ目的トスル行為ヲ爲ス事(三三三勅
五一號)
- 六 基本財産及積立金穀等ノ處分ヲ爲ス事
- 七 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ棄却ヲ爲ス事

八 町村有財産及町村ノ營造物ノ管理方法ヲ定ムル事

九 町村吏員ノ身元保證ヲ徵シ並其ノ額ヲ定ムル事

十 町村ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事

其ノ他町村會ノ職權ハ法律命令ノ定ムル所ニ依ル

第六十條 町村會ハ町村ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閲シ町村長ノ報告書ヲ請求シテ事務ノ管理議決ノ施行並收入支出ノ正否ヲ檢査スルコトヲ得

町村會ハ前項ノ目的ノ爲ニ五名以下ノ委員ヲ議員中ヨリ選舉シ町村長若クハ其ノ指命シタル吏員立會ノ上關係書類並金庫ヲ檢閲セシムルコトヲ得

町村會ハ町村ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ町村長若クハ監督官廳ニ差出スコトヲ得

町村會ハ町村長若クハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スヘシ

第六十一條 議員タル者ハ選舉人ノ指示若クハ委囑ヲ受クヘカラサルモノトス

第六十二條 町村會ハ町村長ヲ以テ議長トス

町村會ハ町村會議員中ヨリ議長代理者一名ヲ選舉スヘシ

議長代理者ハ町村會議員ノ定期改選期日ノ前日マテ在職スルモノトス但シ議員ノ職ヲ退クトキハ其ノ職ヲ失フモノトス

第二項ノ選舉ハ總選舉ヲ行ヒタル場合ハ初會ニ於テ其ノ他ハ前任者退職當時ノ會議又ハ退職後ノ初會ニ於テ之ヲ行フ

第六十三條 議長故障アルトキハ其ノ代理者之ニ代リ議長及其ノ代理者共ニ故障アルトキハ町村會ハ年長ノ議員ヲ以テ假議長トスヘシ但シ臨時ニ假議長ヲ選舉スルモ妨ナシ

第六十四條 町村長及其ノ委任ヲ受ケタル吏員ハ何時ニテモ會議ニ出席シ及發言スルコトヲ得但シ議員ノ演說ヲ中止スルコトヲ得ス

前項ノ出席者ハ議員ノ職ニ在ル者ヲ除ク外議決ニ加ハルコトヲ得ス

第六十五條 町村會ハ會議ノ必要アル毎ニ町村長會期ヲ定メテ之ヲ招集ス議員四分ノ一以上ヨリ請求アル場合ニ於テ相當ノ理由アリト認ムルトキモ亦同シ

招集並會議ノ事件ヲ告知スルハ急施ヲ要スル場合ヲ除ク外少クトモ會議ノ三日前タルヘシ
町村會ハ町村長之ヲ開閉ス

第六十六條 町村會ハ議員定員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ同一ノ事件ニ付集會再回ニ至ルモ議員仍半數ニ滿タサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十七條 町村會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ可否スル所ニ依ル

第六十八條 議長及議員ハ自己若クハ其ノ父母妻子兄弟姊妹ノ一身上ニ關スル事件ニ就テハ町村會ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス

前項除席ノ爲ニ議員ノ數減少シテ會議ヲ開ク定數ニ滿タサルトキモ仍會議ヲ開クコトヲ得

第六十九條 町村會ノ會議ハ公開ス但シ議長ノ意見ヲ以テ傍聽ヲ禁スルコトヲ得又町村長ヨリ要求アリタルトキハ傍聽ヲ禁スヘシ

第七十條 議長ハ會議ノ事ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第七十一條 會議及傍聽ノ紀律並取締ニ關スル規則ハ内務大臣之ヲ定ム其ノ規則ニハ之ニ違背シタル議員ニ對シ町村會ノ議決ニ依リ五日以内出席ヲ停止シ又ハ二圓以下ノ過怠金ヲ科スル規程ヲ設クルコトヲ得

第七十二條 前條ニ依リ内務大臣ノ定ムル規則ノ外町村會ハ北海道廳長官ノ許可ヲ得テ會議規則及傍聽規則ヲ設クヘシ其ノ會議規則ニハ之ニ違背シタル議員ニ對シ町村會ノ議決ニ依リ五日以内出席ヲ停止シ又ハ二圓以下ノ過怠金ヲ科スル規程ヲ設クルコトヲ得

町村會ニ於テ行フ選舉ノ方法ハ會議規則ニ之ヲ規定スヘキモノトス

第七十三條 町村會ノ書記ハ町村吏員ノ中ニ就キ町村長之ヲ命ス

書記ハ議長ニ隸屬シテ庶務ニ從事ス

議長ハ書記ヲシテ會議録ヲ製シテ會議ノ顛末並出席議員ノ氏名ヲ記錄セシムヘシ
會議録ハ議長及議員二名以上之ニ署名捺印スヘキモノトス

議長ハ會議録ヲ添ヘ會議ノ結果ヲ町村長ニ報告スヘシ

第四章 町村ノ財務

第一款 町村有財産及町村稅

第七十四條 町村ハ不動産積立金穀等ヲ以テ基本財産ト爲シ之ヲ維持スル義務アリ

北海道廳長官ハ町村ノ經濟ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ額ヲ定メテ基本財産ヲ蓄積セシムルコトヲ得

臨時ニ收入シタル金穀等ハ基本財産ニ加入スヘシ但シ寄附金穀等寄附者別ニ其ノ使用ノ目的ヲ定ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

町村ハ町村規則ノ規程ニ依リ或ル事業ノ爲ニ特別ノ基本財産若クハ積立金穀等ヲ設クルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村會ノ議決ヲ經テ前項收入ノ一部若クハ全部ヲ特別ノ基本財産若クハ積立金穀等ニ加入スルゴトヲ得但シ寄附金穀等寄附者別ニ其ノ使用ノ目的ヲ定ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

第七十五條 町村有財産ハ其ノ收益ヲ以テ町村ノ收入ト爲スカ爲ニ管理スルモノトス但シ町村ノ直接ノ公用若クハ町村住民ノ直接ノ共用ニ供シタル町村有財産ニシテ其ノ公用若クハ共用ニ妨アルトキ及特ニ民法上ノ權利ヲ有スル者アル場合ニ於テ其ノ權利ニ牴觸スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七十六條 町村有財産ヲ町村住民ノ全部若クハ一部ノ直接ノ共用ニ供スルニハ町村規則ノ規程ニ依ルヘシ

前項ノ規則ニハ使用料ノ外場合ニ依リ加入金徴收ノ規程ヲ設クルコトヲ得

第七十七條 町村有財産ノ賣却貸與又ハ町村ノ工事及物件調達ノ請負ハ公ノ入札ニ付スヘシ但シ臨時急施ヲ要スルトキ又ハ入札ノ價額其ノ費用ニ比シテ得失相償ハサルトキ又ハ町村會ノ承諾ヲ得ルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七十八條 町村ハ北海道廳長官ノ許可ヲ得テ國區町村其ノ他公共團體若クハ一個人ノ事業ニ對シ寄附若クハ補助ヲ爲スコトヲ得

第七十九條 町村ハ其ノ必要ナル支出及法律命令ニ依リ賦課セラルル支出ヲ負擔スル義務アリ(同上) 町村ハ町村有財産ヨリ生スル收入使用料手数料過怠金其ノ他法律命令ニ依リ町村ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ仍不足アルトキハ町村税及夫役現品ヲ賦課徴收スルコトヲ得

第八十條 町村ハ町村有財産若クハ町村ノ營造物ノ使用ニ付又ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付使用料又ハ手数料ヲ徴收スルコトヲ得

第八十一條 町村税トシテ賦課スルコトヲ得ヘキ目左ノ如シ

一 國稅北海道地方稅ノ附加稅(三四年勅)

二 直接若クハ間接ノ特別稅

附加稅ハ直接ノ國稅又ハ北海道地方稅ニ附加シ均一ノ稅率ヲ以テ町稅ノ全部ニ賦課スルヲ常例トス(同上)

特別稅ハ別ニ町村限リ稅目ヲ設ケ課稅スルコトヲ要スルトキ賦課スルモノトス

第八十二條 此ノ勅令中別ニ規程アルモノヲ除ク外特別稅ニ關スル細則ハ町村條例又使用料手数料ニ關スル細則ハ町村規則ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

第八十三條 町村住民ニ非スト雖三箇月以上町内村ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スル者ハ其ノ住居ヲ構ヘタル初若クハ滞在ノ初ニ遡リ町村稅ヲ納ムル義務アルモノトス

町村住民ニ非ス又三箇月以上町内村ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スルコトナキ者ト雖町村内ニ於テ土地家屋ヲ所有シ若クハ使用シ又ハ町内村ニ於テ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ又ハ町村内ニ於テ或ル行爲ヲ爲ス者ハ土地家屋營業若クハ其ノ所得ニ對シ又ハ行爲ニ對シテ賦課スル町村稅ヲ納ムル義務アルモノトス其ノ法人タルトキモ亦同シ但シ官業ハ此ノ限ニ在ラス

第八十四條 所得稅ノ附加村ヲ賦課シ及町村ニ於テ特別ニ所得稅ヲ賦課スルトキハ納稅義務者ノ町村外ニ於テ所有シ若クハ使用スル土地家屋又ハ町村外ニ於テ營業所ヲ定メタル營業ヨリ收入スル所得ハ之ヲ控除スヘキモノトス

數市區町村ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スル者ニ前項ノ町村稅ヲ賦課スルトキハ其ノ所得ヲ各市區町村ニ平分シ其ノ一部分ニノミ課稅スヘシ但シ土地家屋又ハ營業所ヲ定メタル營業ヨリ收入スル所得ハ此ノ限ニ在ラス

數市區町村ニ涉リ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ且其ノ本稅ヲ分別シテ納メサル者ニ對シ營業稅ノ附加稅ヲ賦課スルトキハ北海道廳長官ノ定ムル所ニ從ヒ本稅額ヲ各市區町村ニ分割シテ其ノ一部ニノミ

此ノ限ニ在ラス

賦課スヘシ(三三年勅)

(五一號)

第八十五條 所得税法第五條ニ掲クル所得ニ對シテハ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス(同上)

國區町村其ノ他公共團體ノ直接ノ公用ニ供スル土地家屋營造物ニ對シテハ國區町村其ノ他公共團體ニ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

社寺ノ用ニ供シ又ハ官立公立ノ學校病院ノ用ニ供シ又ハ官其ノ他公共ノ施設ニ係リ學藝美術慈善ノ用ニ供スル土地家屋營造物ニ對シテハ社寺又ハ國區町村其ノ他公共團體ニ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

國有ノ山林若クハ荒蕪地ニ對シテハ國ニ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

【屯田兵土地給與規則及屯田兵移住給與規則ニ依リ給與シタル公有ノ財産ニ對シテハ第二百二十二條ニ掲クル期間中ハ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス(同上)】

本條ノ外町村稅ヲ賦課スルコトヲ得サルモノハ別段ノ法律勅令ニ定ムル所ニ從フ

皇族ニ係ル町村稅ノ賦課ハ追テ法律勅令ヲ以テ定ムルマテ現今ノ例ニ依ル

第八十六條 町村有財産ヲ町村住民ノ一部ノ直接ノ共用ニ供シタル場合ニ於テハ其ノ使用權ヲ有スル者ヲシテ使用ノ多寡ニ準シテ其ノ財産ニ係ル必要ナル費用ヲ負擔セシムルコトヲ得

第八十七條 町村住民ノ一部ノミヲ利スル營造物ノ建設維持ノ費用ハ其ノ關係者ニ負擔セシムルコトヲ得

町村ノ一部ノミヲ利スル營造物ノ建設維持ノ費用ハ其ノ部内ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在シ又ハ其ノ部内ニ於テ土地家屋ヲ所有シ若クハ使用シ又ハ其ノ部内ニ於テ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ又ハ其ノ部内ニ於テ或ル行爲ヲ爲スニ依リ町村稅ヲ納ムル義務アル者ニ負擔セシムルコトヲ得但シ其ノ一部ノ

收入アルトキハ先ツ其ノ收入ヲ以テ其ノ費用ニ充ツヘシ

第八十八條 地租ノ附加稅ハ其ノ納期ヲ定メ納期場合ハ其ノ末日ニ於ケル土地臺帳ノ記名者ヨリ徵收スルモノトス但シ質入ノ土地ニ對シテハ質取主ヨリ徵收スルモノトス

地租ノ附加稅ハ免租地若クハ無租地ノ有租地ト爲リタルトキハ其ノ翌月ヨリ、有租地ノ免租地若クハ無租地ト爲リタルトキハ其ノ前月マテ又地類地目ノ變換等ニ依リ地租ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ月ヨリ月割ヲ以テ徵收スルモノトス

所得稅ノ附加稅ハ本稅ノ納期ニ於テ本稅ヲ納ムル義務アル者ヨリ徵收スルモノトス

本條ニ規定スルモノヲ除ク外附加稅徵收ノ方法ハ町村規則ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

本條ノ例ニ依リ難キ場合ニ於テハ町村條例ヲ以テ別段ノ規程ヲ設クルコトヲ得

第八十九條 町村ハ其ノ必要ニ依リ夫役現品ヲ以テ納稅義務者ニ賦課スルコトヲ得但シ學藝美術手工ニ關スル勞役ヲ賦課スルコトヲ得ス

夫役現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外直接町村稅ヲ準率ト爲シ直接町村稅ヲ賦課セサル町村ニ於テハ直接國稅又ハ直接北海道地方稅ヲ準率ト爲シ且之ヲ金額ニ算出シテ賦課スヘシ(三三年勅五一號)

夫役ヲ賦課セラレタル者ハ其ノ便宜ニ從ヒ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得又夫役現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外金圓ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第九十條 町村ニ於テ徵收スル使用料加入金手數料町村稅夫役現品ニ代フル金圓其ノ他町村ノ公法上ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ町村長ハ國稅ノ滯納處分ニ關スル規程ニ依リ之ヲ處分スヘシ其ノ督促及手數料ニ關シテハ町村規則ヲ以テ別段ノ規程ヲ設クルコトヲ得

納稅義務者中無資力ナル者アルトキハ町村長ノ意見ヲ以テ會計年度内ニ限り納稅延期ヲ許スコトヲ

得其ノ年度ヲ超ユル場合ニ於テハ町村會ノ議決ニ依ル

本條ニ記載スル徵收金ノ追徵還付期滿免除及先取特權ニ就テハ國稅ニ關スル一般ノ例ヲ適用ス

第九十一條 町村稅ノ賦課ヲ受ケタル者ニシテ其ノ課目課額ニ錯誤アリト認ムルトキハ納稅ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ三箇月以内ニ町村長ニ異議ヲ申立ツルコトヲ得

町村有財產若クハ町村ノ營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アル者ハ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得

本條ノ異議ハ町村長之ヲ決定ス其ノ町村長ノ決定ニ不服アル者ハ北海道廳支廳長ニ訴願シ其ノ北海道廳支廳長ノ裁決ニ不服アル者ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ノ異議、訴願若クハ訴訟ノ爲ニ處分ノ執行ヲ停止セス

第九十二條 町村ハ其ノ負債ヲ償還スル爲又ハ天災事變等已ムヲ得サル支出若クハ町村ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ要スルニ方リ通常ノ歲入ヲ増加スルトキハ町村住民ノ負擔ニ堪ヘサル場合ニ限リ町村債ヲ起スコトヲ得

町村債ヲ起スニ付町村會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ借入ノ方法利足ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ヘキモノトス其ノ變更ヲ要スルトキ又ハ此ノ勅令ヲ行フ前ニ起シタル負債ニ關シ變更ヲ要スルトキモ亦同シ

町村債償還ノ初期ハ起債ノ時ヨリ三年以内ト爲シ年年ノ償還歩合ヲ定メ起債ノ時ヨリ三十年以内ニ還了スルヲ以テ常例トス

町村ハ無記名債券ヲ發行スルコトヲ得ス(三九九年勅令二八二號)

豫算内ノ支出ヲ爲スニ付必要ナル一時ノ借入金ハ本條ノ例ニ依ラス其ノ年度ノ收入ヲ以テ償還スヘキモノトス但シ此ノ場合ニ於テハ町村會ノ議決ヲ經ヘシ

第二款 町村ノ歲入出豫算及決算

第九十三條 町村長ハ毎會計年度收入支出ノ豫知シ得ヘキ金額ヲ見積リ歲入出豫算ヲ調製シ少クトモ年度二箇月前ニ町村會ノ議決ヲ經ヘシ但シ町村ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

豫算ヲ町村會ニ提出スルトキハ町村長ハ併セテ町村ノ事務報告書及財産明細書ヲ提出スヘシ

第九十四條 町村長ハ必要ノ場合ニ於テハ町村會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加若クハ更正ヲ爲スコトヲ得

第九十五條 豫算外ノ支出若クハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲ニ豫備費ヲ設クヘシ但シ町村會ノ否決シタル費目ニ充ツルコトヲ得ス

豫備費ノ支出ハ後日町村會ノ認定ヲ求ムルコトヲ要ス

町村ノ費用ヲ以テ支辨スヘキ事業ニシテ數年ヲ期シ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ町村會ノ議決ヲ經テ其ノ年期间各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

町村ハ町村規則ヲ以テ特別會計ヲ設クルコトヲ得

豫算調製ノ式並費目流用ニ關スル規程ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ北海道廳長官之ヲ定ム

豫算ハ町村會ノ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ北海道廳支廳長ニ報告シ並地方所定ノ公告式ニ依リ其ノ要領ヲ公告スヘシ

第九十六條 豫算ノ議決ヲ經タルトキハ町村長ヨリ其ノ謄本ヲ收入役ニ交付スヘシ其ノ豫算中監督官應ノ許可ヲ受クヘキ事項アルトキハ先ツ其ノ許可ヲ受クヘシ

收入役ハ町村長ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス町村長ノ命令ヲ受クルモ其ノ支出豫算中豫定ナキカ又ハ其ノ命令前條第一項ノ規程ニ依ラサルトキハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

第九十七條 町村ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ検査ヲ行ヒ又毎年少クトモ一回臨時検査ヲ行フヘシ
第九十八條 町村ノ出納閉鎖ハ翌年度六月三十日ヲ以テ期限トス

決算ハ出納閉鎖期限後一箇月以内ニ證書類ヲ併セテ收入役ヨリ之ヲ町村長ニ提出スヘシ町村長ハ之ヲ審査シ意見ヲ附シ次ノ通常豫算會議ニ於テ之ヲ町村會ニ報告スヘシ
町村長ハ決算報告書及之ニ關スル町村會ノ議決ヲ北海道廳支廳長ニ報告シ並地方所定ノ公告式ニ依リ決算ノ要領ヲ公告スヘシ

第五章 町村内一部ノ行政

第九十九條 町村内ノ一部ニシテ所有財産若クハ營造物ニ就キ其ノ部限リ特ニ其ノ費用ヲ負擔スルトキハ北海道廳長官ハ町村會ノ意見ヲ聞キ内務大臣ノ許可ヲ得テ財産營造物ニ關スル事務ノ爲部會ヲ設クルコトヲ得

前項部會ノ組織選舉職務權限處務規程等ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ北海道廳長官之ヲ定ム

第一百條 前條ニ記載スル事務ニ就キ此ノ勅令ノ規程ニ依リ難キ事項其ノ他部ニ關シ特ニ必要ナル事項ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ北海道廳長官之ヲ定ム

第六章 町村組合

第一百一條 北海道廳支廳長ハ公益上必要ト認ムル場合ニ於テハ數町村ノ事務ヲ共同處理セシムル爲北

北海道廳長官ノ許可ヲ得テ町村組合ヲ設クルコトヲ得

北海道廳支廳長ハ前項ノ許可ヲ受クルニハ組合會議ノ組織事務ノ管理方法及費用ノ支辨方法ニ關シ組合規程ヲ設ケ併セテ北海道廳長官ノ許可ヲ受クヘシ其ノ變更ヲ要スルトキモ亦同シ(三三三三)

第一百二條(三三三三) 町村組合ハ法人トス

町村組合ニ就テハ町村ニ關スル規程ヲ準用ス其ノ準用シ難キ事項其ノ他町村組合ニ關シ特ニ必要ナル事項ハ前條ノ組合規程ニ之ヲ規定スヘシ

第一百三條 町村組合ハ北海道廳支廳長ニ於テ北海道廳長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ之ヲ解除スルコトヲ得ス

公益上必要ト認ムル場合ニ於テハ北海道廳支廳長ハ北海道廳長官ノ許可ヲ得テ組合町村ノ數ヲ増減シ又ハ共同事務ノ變更ヲ爲スコトヲ得(同上)

第一百四條 一級町村ト二級町村トノ組合ニ關シテモ亦本章ノ例ヲ適用ス但シ内務大臣ニ於テ別段ノ規定ヲ設クルモノハ此ノ限ニ在ラス(同上)

第七章 町村行政ノ監督

第一百五條 町村行政ハ第一次ニ於テ北海道廳支廳長之ヲ監督シ第二次ニ於テ北海道廳長官之ヲ監督シ第三次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス

第一百六條 此ノ勅令ニ規定スル異議、訴願若クハ訴訟ハ處分ヲ爲シ又ハ決定書若クハ裁決書ヲ交付シタル日ヨリ二十一日以内ニ提起スヘシ但シ此ノ勅令中別ニ期限ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第一百七條 監督官廳ハ町村行政ノ法律命令ニ背戾セサルヤ其ノ事務錯亂滯塞セサルヤ否ヲ監視スヘシ監督官廳ハ之カ爲ニ行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ豫算決算等ノ書類帳簿ヲ徴シ並實地ニ就テ事

務ヲ視察シ出納ヲ檢閲スル權ヲ有ス
 監督官廳ハ町村行政ヲ監督スル爲ニ必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲ス權ヲ有ス
 上級監督官廳ハ下級監督官廳ノ町村行政ニ關シテ爲シタル命令若クハ處分ヲ停止シ若クハ取消スコトヲ得

第百八條 北海道廳支廳長ハ町村ノ豫算中不適當ノ支出ト認ムルモノアルトキハ之ヲ削減スルコトヲ得其ノ支出ヲ削減シタル場合ニ於テハ之ニ相當スル收入ヲ削減スヘシ
 前項北海道廳支廳長ノ處分ニ不服アル町村會ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル町村會ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得
 本條ノ訴願ノ爲ニ處分ノ執行ヲ停止セス

第百九條 町村會ノ解散ハ內務大臣之ヲ命ス此ノ場合ニ於テハ三箇月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ
 北海道廳支廳長ハ十日以内ニ於テ町村會ノ停會ヲ命スルコトヲ得

第百十條 町村條例ノ設定ハ內務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第百十一條 左ニ掲クル事件ハ內務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

- 一 町村債ヲ起シ竝借入ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ若クハ變更スル事但シ第九十二條末項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス(三三三(五))
- 二 特別稅ヲ新設シ若クハ變更スル事
- 三 直接國稅二分ノ一ヲ超過スル附加稅ヲ賦課スル事
- 四 間接國稅ノ附加稅ヲ賦課スル事
- 五 國庫ヨリ直接ニ交付スル補助金ニ對シ支出金額ヲ定メ若クハ變更スル事

第百十二條 左ニ掲クル事件ハ北海道廳長官ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

- 一 町村規則ヲ設定スル事
 - 二 使用料手数料ヲ新設シ若クハ變更スル事
 - 三 道廳ヨリ交付スル補助金ニ對シ支出金額ヲ定メ若クハ變更スル事
 - 四 學藝美術又ハ歷史上貴重ナル物件ヲ處分シ若クハ大ナル變更ヲ爲ス事(同上)
 - 五 各種ノ保證ヲ與フル事
 - 六 繼續費ヲ定メ若クハ變更スル事
 - 七 均一ノ稅率ニ依ラスシテ國稅又ハ北海道地方稅ノ附加稅ヲ賦課スル事(三三三(三〇號))
 - 八 第八十六條第八十七條ニ依リ町村住民ノ一部若クハ町村内ノ一部ニ費用ヲ負擔セシムル事(三三三(一號))
 - 九 直接北海道地方稅二分ノ一ヲ超過スル附加稅ヲ賦課シ又ハ間接北海道地方稅ニ附加稅ヲ賦課スル事(三三三(三〇號))
- 第百十三條 左ニ掲クル事件ハ北海道廳支廳長ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス
- 一 町村有不動產ニ關スル權利ノ得喪ヲ目的トスル行爲ヲ爲ス事(三三三(五))
 - 二 基本財產及積立金穀等ノ處分ヲ爲ス事
 - 三 第八十九條ノ準率ニ依ラスシテ夫役現品ヲ賦課スル事(同上)
- 第百十四條 北海道廳長官北海道廳支廳長ハ町村長助役收入役收入役代理者部長委員其ノ他町村吏員ニ對シ懲戒處分ヲ行フ其ノ北海道廳長官ノ懲戒處分ハ譴責、二十五圓以下ノ過怠金及解職トシ北海道廳支廳長ノ懲戒處分ハ譴責及十圓以下ノ過怠金トス(同上)

前項解職ノ處分ハ職務ニ違背シ若クハ職務ヲ曠廢スル者又ハ行狀ヲ亂リ廉恥ヲ失フ者ニ對シテ之ヲ行フモノトス

隨時解職スルコトヲ得サル吏員ニシテ本條解職ノ處分ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得其ノ訴願ノ爲ニ處分ノ執行ヲ停止セス

第百十五條(三三三號) 町村吏員其ノ職務ヲ盡サス又ハ權限ヲ越エタルコトアルカ爲町村ニ對シテ賠償スヘキコトアルトキハ北海道廳支廳長之ヲ裁決ス其ノ裁決ニ不服アル者ハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ七日以内ニ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得但シ訴願ヲ爲シタルトキハ北海道廳支廳長ハ假ニ其ノ財産ヲ差押フルコトヲ得

第八章 附則

第百十六條 此ノ勅令施行ノ時期ハ内務大臣之ヲ定ム

第百十七條 此ノ勅令ヲ施行スル場合ニ於テ初メテ一級町村ト爲ス地ハ内務大臣之ヲ指定ス

第百十八條(同上) 此ノ勅令ニ依リ初メテ町村會成立シ及町村吏員就職ニ至ルノ間其ノ職務並町村條例町村規則ヲ以テ定ムヘキ事項ハ北海道廳長官ノ指名スル官吏ニ於テ之ヲ施行スヘシ

第百十九條 此ノ勅令ヲ施行スル島嶼其ノ他特別ノ事情アル地ニ就テハ其ノ町村吏員監督官廳ノ職務權限等ニ關シ内務大臣ニ於テ特別ノ規程ヲ設クルコトヲ得

第百二十條 此ノ勅令ニ記載セル人口ハ最終ノ人口調査ニ依ル但シ現役軍人ヲ除ク

第百二十一條 現役及豫備役ノ屯田兵村ニハ此ノ勅令ヲ施行セス

第百二十二條 【屯田兵土地給與規則及屯田兵移住給與規則ニ依リ給與シタル公有ノ財産ニ關シテハ屯

田兵服役期限中及其ノ滿期ノ年ヨリ十箇年間ハ此ノ勅令ヲ適用セス】

第百二十三條 此ノ勅令ニ於テ直接稅若クハ間接稅トスヘキ類別ハ内務大臣大藏大臣及之ヲ告示ス

○北海道一級町村制實施ニ付事務取扱方 明治三十三年五月二十三日 内務省令第二十三號

北海道一級町村制實施ニ付事務取扱方ニ關シテハ明治三十三年九月内務省令第四十五號第二條乃至第八條及明治三十三年三月内務省令第八號ヲ準用ス但シ明治三十三年九月内務省令第四十五號第三條中ノ北海道廳長官ハ北海道廳支廳長トス

○北海道一級町村公民名譽職ヲ擔任セス又ハ執行セサル者處分方 明治三十三年五月二十四日 内務省令第二十七號

北海道一級町村制第五條ニ依ル町村公民ニシテ相當ノ理由ナクシテ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職シ又ハ無任期ノ職務ヲ少クトモ三年間擔任セス又ハ其ノ職務ヲ實際ニ執行セサル者ニ對スル處分ノ規則ハ明治三十三年九月内務省令第五十號ヲ準用ス

○北海一級町村制及北海道一級町村制實施ノ際國有土地建物 物件付與ニ關スル件 明治三十三年六月二十八日 勅令第二百七十九號

北海道一級町村制實施ニ付事務取扱方 北海道一級町村公民名譽職ヲ擔任セス又ハ執行セサル者處分方 北海道一級町村制及北海道一級町村制實施ノ際國有土地建物物件付與ニ關スル件

朕國有土地建物物件付與ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

内務大臣ハ北海道一級町村制及北海道二級町村制ノ實施ニ際シ從來戶長役場其ノ他公用ニ供シタル國有ノ土地建物物件ニシテ不用ニ歸シタルモノヲ無償ニテ其ノ事務ヲ繼承スル町村ニ付與スルコトヲ得

○北海道二級町村制 明治三十五年二月二十一日(改正三九年勅令第三十七號)

朕北海道二級町村制ノ改正ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

北海道二級町村制

第一章 總則

第一條 町村ハ法人トシ官ノ監督ヲ受ケ法律命令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務及法律命令又ハ慣例ニ依リ町村ニ屬スル事務ヲ處理スルモノトス

第二條 北海道一級町村制第三條ハ之ヲ二級町村ニ準用ス

第三條 町村内ニ住居ヲ占ムル者ハ總テ町村住民トス

町村住民ハ町村有財産及町村ノ營造物ヲ共用スル權利ヲ有シ町村ノ負擔ヲ分任スル義務ヲ負フ但シ特ニ民法上ノ權利義務ヲ有スル者アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四條 町村ハ町村住民ノ權利義務、町村ノ事務、町村有財産及町村營造物ニ關シ町村規則ヲ設クル

コトヲ得

第二章 町吏村員

第一款 組織及選任

第五條 町村ニ町村長書記收入役其ノ他必要ノ附屬員ヲ置キ有給吏員トス

町村長收入役ハ町村又ハ町村組合ニ各一名トシ書記ノ定員ハ北海道廳長官之ヲ定ム

町村長ハ北海道廳長官之ヲ任免シ書記ハ北海道廳支廳長之ヲ任免シ其ノ他ノ附屬員ハ町村長之ヲ任免ス

收入役ハ町村會ノ推薦ニ依リ北海道廳支廳長之ヲ任命シ其ノ任期ハ四箇年トス

收入役闕ケタルトキハ北海道廳支廳長ハ書記ノ一人ヲシテ臨時其ノ職務ヲ兼掌セシムルコトヲ得

特別ノ事情アル町村ニ於テハ北海道廳支廳長ハ北海道廳長官ノ許可ヲ得テ町村長又ハ書記ヲシテ收入役ノ事務ヲ兼掌セシムルコトヲ得

前二項ノ場合ヲ除クノ外町村長書記及收入役ハ相兼ヌルコトヲ得ス

收入役ノ保證金ニ付テハ町村規則ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 町村ハ職務便宜ノ爲町村規則ヲ以テ町村ノ區域ヲ數部ニ分チ每部部長一名ヲ置クコトヲ得

町村ハ町村會ノ議決ニ依リ北海道廳支廳長ノ許可ヲ得テ臨時委員ヲ置クコトヲ得
部長及委員ハ名譽職トシ北海道廳支廳長之ヲ任免ス

第二款 職務權限

第七條 町村長ハ町村ヲ統轄シ町村ヲ代表シ其ノ行政事務ヲ擔任ス
町村長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

- 一 町村會ノ議事ヲ準備シ並其ノ議決ヲ承認シ及執行スル事
- 二 町村有財産及町村ノ營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者アルトキハ其ノ事務ヲ監督スル事
- 三 町村ノ歳入ヲ管理シ歳入出豫算其ノ他町村會ノ議決ニ依リ定マリタル收入支出ヲ命令シ會計及出納ヲ監視スル事
- 四 町村ノ諸證書及公文書類ヲ保管スル事
- 五 法律命令又ハ町村會ノ議決ニ依リ使用料加入金手数料町村税及夫役現品ヲ賦課徴收スル事
- 六 町村營造物ノ管理方法ヲ定ムル事
- 七 其ノ他法律命令ニ依リ町村長ノ職權ニ屬スル事項
- 第八條 町村長ハ法律命令ノ定ムル所ニ依リ町村ニ關スル國及北海道地方費ノ行政事務ヲ掌ル
本條ニ記載スル事務ヲ執行スル爲要スル費用ハ町村ノ負擔トス
- 第九條 町村長ハ町村吏員ヲ監督シ其ノ任免ニ係ル町村吏員ニ對シ懲戒處分ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責及五圓以下ノ過怠金トス
- 第十條 町村會ノ議決其ノ權限ヲ越エ、法律命令ニ背キ又ハ公益ヲ害シ其ノ他不當ノ議決ト認ムルトキハ町村長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ヲ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ北海道廳支廳長ノ指揮ヲ請フヘシ但シ場合ニ依リ再議ニ付セスシテ直ニ北海道廳支廳長ノ指揮ヲ請フコトヲ得
- 第十一條 町村會成立セス又ハ召集ニ應セサルトキハ町村長ハ北海道廳支廳長ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ得
- 町村會其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セス若ハ議了セサルトキ又ハ第三十三條第二項但書ノ場合ニ於テ

全ク會議ヲ開クコト能ハサルトキハ前項ノ例ニ依ル

本條ノ處分ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ町村會ニ報告スヘシ

第十二條 書記及附屬員ハ町村長ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス

町村長事故アルトキハ上席ノ書記之ヲ代理ス

町村長ハ書記ヲシテ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

第十三條 收入役ハ町村ノ出納其ノ他會計事務又ハ第八條ニ依ル國及北海道地方費ノ出納其ノ他會計事務ヲ掌ル

第十四條 部長ハ町村長ノ命ヲ承ケ部内ニ關スル町村長ノ事務ヲ補助ス

委員ハ町村長ノ指揮監督ヲ承ケ一時ノ委託ニ依リ事務ヲ處辨ス

第十五條 町村役場及町村吏員ノ處務規程ハ北海道廳長官ノ許可ヲ得テ北海道廳支廳長之ヲ定ム
町村吏員ノ服務紀律ハ北海道廳長官之ヲ定ム

第三款 給料及給與

第十六條 名譽職吏員ハ職務取扱ノ爲要スル實費ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

實費辨償額及其ノ支給方法ハ町村會ノ議決ヲ經テ北海道廳支廳長ノ許可ヲ受クヘシ

第十七條 町村長及書記ノ給料額旅費額及其ノ支給方法ハ北海道廳長官之ヲ定メ其ノ他有給吏員ノ給料額旅費額及其ノ支給方法ハ町村會ノ議決ヲ經テ北海道廳支廳長ノ許可ヲ受ケ之ヲ定ムヘシ若シ之ヲ許可スヘカラスト認ムルトキハ北海道廳支廳長之ヲ定ム

町村規則ヲ以テ有給吏員ノ退職料退職給與金及遺族扶助料ニ關スル規定ヲ設クルコトヲ得

第十八條 給料旅費退隱料退職給與金遺族扶助料辨償等ハ町村ノ負擔トス但シ町村長書記ノ給料及旅

費ハ北海道地方費ヨリ之ヲ支給ス

第三章 町村會

第一款 組織及選舉

第十九條 町村會議員ハ其ノ町村ノ選舉人其ノ被選舉權アル者ヨリ之ヲ選舉ス其ノ定員ハ一町村四名以上十二名以下トシ北海道廳長官之ヲ定ム

第二十條 町村會議員ノ選舉權ヲ有スル者ハ帝國臣民ニシテ公權ヲ有スル獨立ノ男子一年以來(一)町村內ニ住居ヲ占メ(二)町村ノ負擔ヲ分任シ及(三)町村內ニ於テ地租年額十錢以上ヲ納メ又ハ直接國稅北海道水産稅若ハ直接國稅ト北海道水産稅トヲ合シテ年額五十錢以上ヲ納メ又ハ耕地一町步若ハ宅地百坪以上ヲ所有シ又ハ總納稅人ノ町村稅平均額以上ノ町村稅ヲ納ムル者ニ限ル

公費ヲ以テ貧民救助ヲ受ケタル後一年ヲ經サル者ハ選舉權ヲ有セス
前二項ノ期間ハ町村會ノ議決ニ依リ北海道廳長官ノ許可ヲ得テ之ヲ特免スルコトヲ得
町村ノ負擔ヲ分任セシムルコトナキ町村ニ於テハ第一項(二)ノ要件ヲ闕クト雖其ノ他ノ要件ヲ具備スル者ハ選舉權ヲ有ス

第一項ニ於テ獨立ト稱スルハ滿二十五歲以上ニシテ一戸ヲ構ヘ且治産ノ禁ヲ受ケサルモノヲ謂ヒ又耕宅地所有ノ期間ハ所有權ノ登記ヲ爲シタル日ヨリ之ヲ起算ス

第二十一條 選舉權ヲ有スル者公權停止中又ハ租稅滯納處分中ハ選舉權ヲ停止ス家資分散若ハ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ復權ノ決定アル迄又公權剝奪若ハ停止ヲ附加ニヘキ重罪輕罪ノ爲公判ニ付セラレタルトキハ其ノ裁判ノ確定ニ至ル迄亦同シ
陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ選舉ニ參與スルヲ得ス現役以外ノ兵役ニ在ル者ニシテ戰時又ハ事變ニ際

シ召集セラレタルトキ亦同シ

第二十二條 選舉權ヲ有スル者ハ總テ被選舉權ヲ有ス

左ニ掲クル者ハ被選舉權ヲ有セス

- 一 北海道廳ノ官吏
- 二 其ノ町村ノ有給吏員
- 三 檢事警察官吏及收稅官吏
- 四 神官神職僧侶其ノ他諸宗教師
- 五 小學校教員

六 選舉權停止中ノ者及第二十一條第二項ニ依リ選舉ニ參與スルコトヲ得サル者
官吏ニシテ當選シ之ニ應セムトスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受クヘシ

第二十三條 町村會議員ハ名譽職トシ其ノ任期ハ二箇年トス

町村會議員中副員アルトキハ補闕選舉ヲ行ヒ其ノ補闕ニ係ル議員ハ前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

町村會議員ニ關シテハ第十六條及第十八條ヲ準用ス

第二十四條 町村長ハ選舉前三十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

選舉人名簿ハ調製ノ日ヨリ十四日間町村役場ニ於テ關係者ノ縦覽ニ供スヘシ關係者ニ於テ異議アルトキハ縦覽期限內ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得町村長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ之ヲ決定スヘシ

前項町村長ノ決定ニ不服アル者ハ北海道廳支廳長ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ北海道廳長官ニ

訴願スルコトヲ得

町村長ハ第二項異議ノ決定又ハ第三項訴願ノ裁決ノ確定ニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ選舉ノ日ヨリ五日前ニ修正ヲ加ヘテ確定名簿ト爲シ其ノ修正ノ要領ハ直ニ之ヲ公告スヘシ

確定名簿ハ確定ノ日ヨリ一年以内ニ於テ行フ選舉ニ之ヲ用フ
確定名簿ニ登録セラレサル者及登録セラレタルモ選舉權ヲ有セサル者ハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ選舉人名簿ニ登録セラレヘキ確定決定書又ハ確定裁決書ヲ所持スル者ハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條 選舉ヲ行フトキハ町村長ハ選舉ノ日ヨリ少クトモ七日前ニ選舉ノ場所日時及議員ノ員數ヲ公告スヘシ

選舉場ノ開閉及選舉ノ取締ハ町村長之ニ任ス

選舉開場中ハ選舉人及選舉事務ニ從事スル者ヲ除クノ外選舉場ニ入ルコトヲ得ス

選舉ハ投票ヲ以テ之ヲ行フ投票ニハ被選舉人ノ氏名ヲ記シ封緘ノ上選舉人自ラ之ヲ町村長ニ差出スヘシ

選舉ハ代人ヲ以テ之ヲ行フコトヲ得代人ハ委任狀ヲ町村長ニ差出スヘシ

選舉人投票ヲ差出ストキハ自己ノ氏名及住所ヲ町村長ニ申立テ町村長ハ選舉人名簿ニ照シテ之ヲ受ケ封緘ノ儘投票函ニ投入スヘシ

投票ノ時間終リタルトキハ町村長ハ選舉場ニ於テ投票ヲ檢シ有效投票ノ多數ヲ得タル者ヲ當選トシ同數ナルトキハ年長者ヲ取り同年ナルトキハ町村長自ラ抽籤シテ之ヲ定ム

町村長ハ當選者ニ當選ヲ通知シ其ノ人名ヲ公告シ同時ニ之ヲ北海道廳支廳長ニ報告スヘシ
第二十六條 選舉人選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ノ日ヨリ七日以内ニ北海道廳支廳

長ニ申立テ其ノ決定ニ不服アル者ハ北海道廳長官ニ訴願スルコトヲ得

北海道廳支廳長ニ於テ選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ之ヲ取消スコトヲ得但シ北海道廳長官ノ認許ヲ受クルコトヲ要ス

第二十七條 左ノ投票ハ無効トス

- 一 投票中二人以上ノ氏名ヲ記載セルモノ
- 二 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
- 三 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 四 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ官位、職業、身分、住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入スルハ此ノ限ニ在ラス
- 五 投票用紙ヲ一定シタル場合ニ於テ其ノ用紙ヲ用キサルモノ

投票ノ受理及效力ニ關スル事項ハ町村長之ヲ決ス

第二十八條 町村會議員中被選舉權ヲ有セサル者アルトキハ其ノ職ヲ失フ

前項ニ該當スル者ハ北海道廳支廳長之ヲ決定ス其ノ決定ニ不服アル者ハ北海道廳長官ニ訴願スルコトヲ得

町村會議員ハ本條ノ決定確定シ又ハ裁決アル迄職務ヲ行フコトヲ妨ケス

第二十九條 町村會議員相當ノ理由ナクシテ其ノ當選ヲ辭シ又ハ任期中退職スルトキハ町村長ハ町村會ノ議決ニ依リ北海道廳長官ノ許可ヲ經二年以内選舉權被選舉權ヲ停止シ場合ニ依リ同年期間町村稅率四分ノ一以下ヲ増加スルコトヲ得

第二款 職務權限及處務規程